

(昭和三年十一月十日奉呈)

衆議院議長 臣元田 謹誠款誠并頓首頓首謹ミテ奏ス伏シテ惟ミルニ

皇祖 神勅ヲ垂レサセラレ 寶祚無窮ノ隆運天壤ト與ニ愈昌ニ

皇宗 丕業ヲ恢メタマヒ萬世一系ノ 大統奕葉ヲ累ネテ彌尊シ恭シク以フニ

天皇陛下 天縱 叡明 峻德日ニ伴シク夙ニ萬機ヲ 攝政ニ總ヘ尋テ 惟神ノ 皇祚ヲ踐ミ

明治ノ 宏謨ヲ承ケ

大正ノ 前緒ヲ繼キ 天行至健ニシテ宵旰治ヲ圖ラセラレ内ハ衆庶ノ慶福ヲ進メ外ハ列國ノ親

誼ヲ敦ウシテ政化覃及シ仁澤洽霑ス今乃テ

祖宗ノ 神器ヲ不安ノ 魏闕ニ奉シテ 大禮ノ本儀ヲ菊花ノ昌辰ニ行ヒ

皇祖ニ話ケ 紫宸ニ御シテ 明詔ヲ降サセラレ新穀ヲ進メ 齋殿ニ祭リテ 大孝ヲ申ヘサセタマ

フ 神人感孚率溥踊躍瑞祥四海ニ溢レ休徵八紘ニ充チ中外華祝シ寰宇嵩呼ス臣等衆議院議員

此ノ盛典ニ陪シ悃歎屏營ノ至ニ任フルナシ臣輩茲ニ全院ヲ代表シ度ミテ

聖壽ノ無疆ヲ祝シ 寶祚ノ邳隆ヲ祈リ葵藿ノ至忱ヲ傾ケテ表ヲ上リ奉賀以聞ス臣輩誠款誠并

頓首頓首謹ミテ奏ス

(二) 天皇皇后兩陛下御結婚滿二十五年ニ付賀表

(大正十四年五月十日奉呈)

衆議院議長 臣粕谷義三衆議院ヲ代表シ恭ク

天皇

皇后 兩陛下御結婚滿二十五年ヲ奉賀シ併テ萬壽無疆ヲ奉祝ス臣義三誠歡誠喜謹ミテ奉ス

(三) 皇太子殿下御結婚御成約ニ付賀表及賀牋

嘉仁親王殿下御結婚御成約ノ際

第十四回議會 (明治三十三年二月十二日議決、賀表ハ同日奉呈、賀牋ハ翌十三日奉呈)

(兩陛下ニ奉呈シタルモノ)

衆議院議長 臣片岡健吉本院ノ決議ヲ具シ誠恐誠惶頓首上表ス今般

皇太子殿下御結婚御成約被爲在臣等恭賀ノ至ニ堪ヘス謹テ奉祝ス

(皇太子殿下ニ奉呈シタルモノ)

附錄 三 皇室ニ對スル賀表、賀牋及言上 (一一三)

臣衆議院議員等誠恐誠惶頓首上表ス爰ニ

殿下御結婚御成約被爲在臣等恭賀ノ至ニ堪ヘス謹テ奉祝ス

裕仁親王殿下御結婚御成約ノ際

(大正十一年九月二十八日奉呈)

(兩陛下ニ奉呈シタルモノ)

衆議院議長 臣奥繁三郎誠恐誠惶頓首上表ス今般

皇太子殿下御結婚御成約在ラセラレ臣等恭賀ノ至ニ勝ヘス謹テ奉祝ス

(皇太子殿下ニ奉呈シタルモノ)

衆議院議長 臣奥繁三郎誠恐誠惶頓首謹言今般

殿下御結婚御成約在ラセラレ臣等恭賀ノ至ニ勝ヘス謹テ奉祝ス

(四) 皇太子殿下御結婚ニ付賀表及賀牋

嘉仁親王殿下御結婚ノ際

(明治三十三年五月十日奉呈)

(兩陛下ニ奉呈シタルモノ)

衆議院議長 臣片岡健吉誠恐誠惶頓首

皇太子殿下御結婚ノ大典ヲ奉賀ス

(兩殿下ニ奉呈シタルモノ)

衆議院議長 臣片岡健吉誠恐誠惶頓首

御結婚ノ大典ヲ肅賀シ

殿下無量ノ高壽ヲ奉頌ス

裕仁親王殿下御結婚ノ際

第四十八回議會 (大正十三年一月二十二日議決、同月二十六日奉呈)

(兩陛下ニ奉呈シタルモノ)

衆議院議長 臣粕谷義三誠恐誠惶頓首

皇太子殿下御結婚ノ大典ヲ奉賀ス

(兩殿下ニ奉呈シタルモノ)

衆議院議長 臣粕谷義三誠恐誠惶頓首

附錄 三 皇室ニ對スル賀表、賀牋及言上 (四)

御結婚ノ大典ヲ肅賀シ  
殿下無量ノ高壽ヲ奉頌ス

(五) 皇太子殿下(裕仁親王)立太子式ニ付賀表及賀牋

(大正五年十一月三日奉呈)

(陛下ニ奉呈シタルモノ)

衆議院議長 臣島田三郎誠惶誠恐謹ミテ奏ス

天皇陛下文經武緯茲ニ千載ノ休曆ニ膺リ不磨ノ舜ニ則リ

立太子ノ式ヲ舉ケサセ給フ伏シテ惟ルニ

皇太子殿下天資英邁至仁至孝今ヤ斯ノ盛儀ニ由リテ 儲位正ニ定リ國礎愈々鞏ク 寶祚益々隆ナ  
リ臣等親ク盛典ニ遭遇シ欣躍悅懽ノ至ニ任ヘス肅ミテ表ヲ獻シ以テ 天關ノ隆運ヲ頌ス臣三  
郎誠歡誠喜頓首頓首

(皇太子殿下ニ奉呈シタルモノ)

衆議院議長 臣島田三郎頓首頓首謹ミテ言ス

皇太子殿下英明仁孝盛德夙ニ高シ今ヤ立儲ノ禮ヲ行ハセラレ中外瞻仰シ四海謳歌ス臣等斯ノ盛

事ニ遭ヒ感喜措ク所ヲ知ラス恭ク牋ヲ奉シ賀ヲ稱ス臣三郎誠歡誠喜頓首頓首

(六) 皇太子殿下(裕仁親王)御成年式ニ付賀表及賀牋

(大正八年五月七日奉呈)

(陛下ニ奉呈シタルモノ)

衆議院議長 臣大岡育造誠懼誠忭謹テ奏ス

欽ミ惟ニ

陛下乾健維レ昌ニシテ盛徳天ノ如ク尙武崇文 皇圖四表ニ光被シ重熙累洽 聖澤八紘ニ布濩ス茲  
ニ良辰ニ方リ

皇太子殿下成年ノ式ヲ舉ケサセタマフ和氣藹如朝野咸ナ歡ヒ祥光油然中外畢ク賀ス臣等仰テ  
盛典ヲ拜シ忻懽已ムナシ恭テ賀表ヲ上リ

寶祥ノ無疆ヲ祝シ奉ル臣育造誠懼誠忭謹テ奏ス

(皇太子殿下ニ奉呈シタルモノ)

衆議院議長 臣大岡育造誠懼誠忭謹テ言ス

欽ミ惟ニ

附錄 三 皇室ニ對スル賀表、賀牋及言上 (五、六)

殿下聰明睿達孝慈並至リ懿度淵深文武兼ネ脩メタマヒ往キニ宸極ニ貳ヒテ繼體ノ統ヲ正シ今冠儀ニ膺リ成年ノ式ヲ享ケサセタマフ雅頌洋溢海宇咸ナ慶ヒ謳歌紛郁萬姓畢ク賀ス臣等休明ノ昌期ニ際シ欣躍ノ至ニ任フルナシ恭テ賀牋ヲ上リ  
鶴算ノ無疆ヲ祈リ奉ル臣育造誠懽懽謹テ言ス

(七) 皇太子殿下(裕仁親王)海外御巡遊ニ付言上

第四十四回議會 (大正十年二月十六日言上)  
本院決議ノ次第ヲ言上シタルニ殿下ヨリ左ノ御詞ヲ賜リタリ  
深ク衆議院ノ厚意ヲ謝ス

(八) 皇太子殿下(裕仁親王)攝政御就任ニ付言上

(大正十年十一月二十六日言上)  
(天皇陛下へ言上詞)  
昨日詔書ヲ宣布アラセラレタル儀ハ誠ニ恐懼ニ勝ヘマセヌ本職ハ茲ニ衆議院ヲ代表シ謹ミテ天機ヲ奉伺致シマス

右宜敷御執奏ヲ乞フ

(皇后陛下へ言上詞)

昨日詔書ヲ宣布アラセラレタル儀ハ誠ニ恐懼ニ勝ヘマセヌ本職ハ茲ニ衆議院ヲ代表シテ謹ミテ御機嫌ヲ奉伺致シマス

右宜敷御執奏ヲ乞フ

(皇太子殿下へ言上詞)

殿下攝政ニ御就任アラセラレタル儀ニ付衆議院ヲ代表シ謹ミテ御機嫌ヲ奉伺致シマス  
右宜敷御執奏ヲ乞フ

(九) 皇太子殿下(明仁親王)御誕生ニ付賀表

第六十五回議會 (昭和八年十二月二十六日議決、同月二十九日奉呈)

衆議院議長 臣秋田清誠歡歡喜頓首上表ス茲ニ

親王殿下御誕生アラセラル寶祚順ニ應シ國礎彌固シ臣等恭賀ノ至ニ勝ヘス謹ミテ奉祝ス

(一〇) 皇孫殿下(照宮成子内親王)御誕生ニ付賀表及賀牋

(大正十四年十二月十二日奉呈)

(兩陛下ニ奉呈シタルモノ)

衆議院議長 臣 粕谷義三 誠恐誠惶頓首上表ス今般

皇孫殿下御誕生在ラセラル 臣等恭賀ノ至ニ勝ヘス謹テ奉祝ス

(兩殿下ニ奉呈シタルモノ)

衆議院議長 臣 粕谷義三 誠恐誠惶頓首上牋ス今般

内親王殿下御誕生在ラセラル 臣等恭賀ノ至ニ勝ヘス謹テ奉祝ス

### 四 憲法發布記念祝賀會ニ於ケル兩院議長ノ式辭及 兩院ヨリノ上奏

第二十四回議會 (明治四十一年三月二十二日憲法發布二十年記念祝賀會ニ於テ)

衆議院議長(杉田定一君)ノ式辭

憲法發布第二十週年ニ當リ本員等幸ニ議會ニ位列シ茲ニ兩院相會シテ其記念祝典ヲ舉クルヲ得タルハ最モ光榮トスル所ナリ

惟フニ始メテ憲政ヲ布クヤ我帝國ノ如ク和氣霽々國民ノ歡呼ノ裡ニ行ハレタルモノ宇内曾テ其比ヲ見ス是レ洵ニ聖德ノ致ス所ニシテ臣民ノ慶福焉ヨリ大ナルハ莫シ爾來帝國議會ハ回ヲ重ヌルニ十四大憲ノ運用亦見ルヘキモノナシトセス特ニ彼ニ大戦役ニ於テ舉國一致ノ實ヲ舉ケタルカ如キ其ノ顯著ナルモノトス然レトモ我憲政ノ前途尙遠遠ナリ本員等滿堂ノ諸公ト共ニ宏謨ニ遵ヒ輿論ニ亟ヘ切瑛勵精能ク其有終ノ美果ヲ收メムコトヲ期ス之ヲ式辭ニ代フ

貴族院議長(徳川家達君)ノ式辭

附錄 四 憲法發布記念祝賀會ニ於ケル兩院議長ノ式辭及兩院ヨリノ上奏

維時明治四十一年三月二十二日兩院議員會同シテ憲法發布記念ノ祝典ヲ舉ク恭シク惟ミルニ叙聖文武天皇陛下中興ノ偉業ヲ開キ經國宏圖ヲ立テタマヒ大憲宣布以來茲ニ二十年屢外事ノ艱難ヲ經ト雖モ内政ノ基礎益固ク列國競進ノ日ニ當リ武威寰宇ニ輝キ國運隆昌ニシテ臣民慶福ヲ蒙ル家達等員ニ議政ノ職ニ備ハリ恩榮ヲ叨リニシ郵隆ノ治化ヲ贊翼ス豈ニ盛世ノ餘澤ニアラスヤ今日此ノ祝典ニ當リ立制ノ深意ヲ思ヒ聖謨ノ宏遠ナルヲ仰キ欣幸感奮ノ至ニ任ヘス願フニ方今文明日ニ進ミ施政多端ニシテ皇猷贊襄ノ任亦將ニ益重キヲ加ヘントス豈ニ黽勉努力ヲ以テ憲政有終ノ美ヲ成シ聖化ノ萬一ニ裨補センコトヲ期セサル可ケンヤ謹テ祝意ヲ表ス

第四十一回議會（大正八年二月十一日憲法發布記念祝賀會場ニ於テ奉呈）

衆議院（大正八年二月十日議決）ヨリ上奏

衆議院議長 臣大岡育造誠恐誠懼謹テ言ス

伏シテ惟ニ

皇世萬朝一系列聖承續德化洋溢百姓其澤ニ浹洽シテ新附欣戴セサルナシ面シテ維新ノ始首トシテ宏謨ヲ萬機公論ニ決スルニ定メ漸次立憲政治ノ基ヲ立テ竟ニ帝國憲法ヲ發布シタマヘリ是ニ於テ臣民大政ニ獻替スルコトヲ得ス 皇國ノ丕基更ニ隆固ヲ加フ洵ニ是レ萬代ノ徽範タリ爾來茲

ニ三十年 皇威四表ニ廣被シ國運八紘ニ遐暢ス而シテ今ヤ歐洲戰亂ノ慘禍方ニ殄熄シテ世界平和ノ休祥將ニ光熙セムトシ帝國ノ光榮益宣揚ス臣等幸ニ此昭代ニ遭逢シ欣歡已ナシ茲ニ嘉辰ヲトシ憲法發布三十年記念祝賀ノ典ヲ舉ケ上ハ以テ

聖德ノ日ニ躋ルヲ頌シ下ハ以テ奉祝ノ微忱ヲ摠フ誠ニ歡抃欣躍ノ至ニ任ルナシ乃チ虔ミテ表ヲ捧ケ恭ク 寶祚ノ無疆ヲ祝シ 皇威ノ益寰表ニ耀カムコトヲ禱リ奉ル 臣育造誠恐誠懼謹テ言ス

貴族院（大正八年二月十日議決）ヨリ上奏

貴族院議長 臣德川家達誠恐誠懼謹テ

叙聖文武天皇陛下ニ奏ス伏シテ惟ルニ

先帝仁聖ノ德ヲ以テ世局ノ進運ニ鑑ミタマヒ我カ臣民ノ康福ヲ増進シ其ノ懿德良能ヲ發達セシメ又其ノ翼贊ニ依リ帝國ノ丕基ヲ永久ニ鞏固ニスルノ 叙旨ヲ以テ帝國憲法ヲ制定シ朝野和氣藹藹ノ中ニ之ヲ發布シタマヘリ

謹テ案スルニ我カ

皇祖

皇宗國ヲ肇メ基ヲ建テタマヒシ以降

附錄 四 憲法發布記念祝賀會ニ於ケル兩院議長ノ式辭及兩院ヨリノ上奏

列聖其ノ緒ヲ繼キ國家統治ノ天職ヲ盡サセラレ王道ヲ本トシ霸術ヲ斥ケ君民ノ關係常ニ親密ニシテ美ハ則チ君臣情ハ則チ父子ノ如ク以テ萬國無比ノ國體ヲ成ス其ノ由來スル所誠ニ久遠ナリ憲法ノ條章ハ歐洲諸國ノ成例ニ參酌セラルル所アリト雖其ノ理義ニ於テハ前烈ヲ追ヒ懿訓ヲ弘メ臣民遵由ノ道ヲ示シタマヒシモノナリ古來ノ美風良俗ハ是ニ由リテ益々宣明セラレ大ニ其ノ光華ヲ發スルニ至レリ

陛下

先帝ノ遺範ヲ紹述シタマヒ前後三十年其ノ間屢々國家内外ノ多艱ニ遭遇セシモ憲法ノ運用順調ニ進ミ其ノ效果煥然シテ觀ルヘキモノアリ綱紀益々張り庶績維レ熙マル臣等益々奮勵努力各其ノ本分ヲ盡シテ以テ隆治ノ萬一ニ裨補セムコトヲ期ス茲ニ恭ク皇恩ノ優渥ヲ謝シ

寶祚ノ無窮

聖壽ノ萬歲ヲ祈リ奉ル

## 五 外國ニ對スル祝電、慰問、感謝及意思表明

### (一) 外國ニ對スル祝電

#### (イ) 土耳其帝國議會ノ開設ニ付祝電

第二十五回議會 (明治四十一年十二月二十六日議決、同日土耳其帝國議會議長宛發)

大日本帝國衆議院議長長谷場純孝ハ第二十五回議會開會ノ劈頭ニ於テ全會一致ノ決議ニ依リ貴帝國議會ノ開設ヲ祝シ併セテ光輝アル發展ヲ希望スルノ光榮ヲ有ス

#### (ロ) 日滿議定書調印ニ付祝電

(昭和七年九月十五日秋田議長ヨリ滿洲國鄭國務總理大臣宛發)

日滿議定書ノ調印成ル茲ニ貴國永遠ノ隆昌ヲ祈リ本院ヲ代表シテ謹テ祝意ヲ表ス  
右ニ對スル謝電 (九月十八日著)  
貴電拜謝ス御同慶ニ勝ヘス

(ハ) 熱河ノ兵匪掃蕩ニ付祝電

第六十四回議會 (昭和八年三月七日秋田議長ヨリ滿洲國鄭國務總理大臣宛發)

熱河方面ノ禍亂鎮定シ貴國ノ治安寧靜ニ歸シタルヲ喜ヒ茲ニ本院ヲ代表シテ同慶ノ意ヲ表ス

右ニ對スル謝電 (三月七日著)

貴電拜承ス熱河平定ノ大業成リ同慶ノ至ニ堪ヘス茲ニ政府ヲ代表シテ貴院ニ對シ深厚ナル謝意ヲ表ス

(ニ) 滿洲國帝制實施ニ付祝電

第六十五回議會 (昭和九年三月一日議決、同日鄭國務總理大臣宛發)

滿洲國肇造ニ閱年制度著々整備シ國礎彌々牢ク今ヤ天意ニ順ヒ民望ニ應シ茲ニ帝制ヲ布キ建國ノ吉辰ヲトシテ即位ノ式ヲ行フ洵ニ慶賀ノ至ニ勝ヘス冀クハ益々健全ナル發達ヲ遂ケ日滿兩國相頼リ相携ヘ與ニ偕ニ東洋ノ平和ト國際ノ進運ニ寄與セムコトヲ茲ニ本院ノ決議ヲ以テ滿腔ノ祝意ヲ表ス

右ニ對スル謝電 (三月二日著)

弊國皇帝陛下登極ノ佳辰ニ方リ貴院ノ御決議ヲ以テ御懇篤ナル祝賀ノ貴電ヲ賜ハリ感謝ニ堪ヘス

茲ニ政府ヲ代表シテ謝意ヲ表ス

(ホ) 比律賓獨立式舉行ニ付祝電

(昭和十年十一月十五日濱田議長ヨリ比律賓大統領宛發)

光輝アル新國家ノ誕生竝大統領御就任ヲ祝ス

右ニ對スル謝電 (十一月二十五日著)

フィリッピン聯邦ヲ代表シ貴國立法議會ヨリノ親厚ナル祝電ニ對シ衷心謝意ヲ表ス

(二) 外國ニ對スル慰問

(イ) 伊國大震災ニ付慰問並挨拶

第二十五回議會 (明治四十二年一月七日發電)

日本帝國衆議院ハ貴帝國「シシリ」及「カラブリア」ニ於ケル悲慘ナル震災ノ報ニ接シ痛歎ノ至ニ堪ヘス茲ニ本院ヲ代表シテ同情ノ誠ヲ致ス

衆議院議長 長谷場純孝

右ニ對スル在伊太利林大使ヨリ外務省ヘノ電報 (一月十五日附)



我衆議院ノ弔辭ハ直ニ外務大臣ヲ經テ伊國代議院議長ニ轉達方ヲ依頼シタルニ外務大臣ヨリ相違  
ナク送達セル旨回答アリ尙念ノ爲代議院ニ問合ハセタルニ右ノ弔辭ニ接セルト共ニ議長ヨリ謝電  
ヲ我衆議院議長ニ發送セル由ナリ

石井外務次官ヨリ林田書記官長宛通牒 (三月三日受領)

貴院議長ヨリ伊國代議院議長宛同國震災ニ關スル弔詞ハ本年一月七日林大使ヨリ伊國外務大臣ヲ  
經テ同議長へ轉達相成候處今般別紙寫之通回答有之候旨同大使ヨリ通知有之候間可然御取計相成  
度此段申進候也

(別紙)

一九〇九年二月九日羅馬府ニ於テ

大使閣下

本月七日付ヲ以テ閣下ヨリ御送達相成候通知書第五號領掌候段回答申上候  
予ハ閣下ニ貴國衆議院議長殿ヨリ過般當國「カラブル」及「シシール」ニ起リタル震災ニ對シ御慰弔  
ニ預リ候電報ノ儀ハ早速其寫ヲ當國下院議長殿ニ回送致候儀右御報知申上候  
閣下ノ御懇篤ナル御通告ヲ感謝スルト共ニ閣下ハ予カ閣下ニ對スル最高ノ敬意ヲ嘉納セラレン事  
ヲ希望致候

チトニ一(自署)

羅馬府ニテ

日本國大使林男爵閣下

(口) 聯合軍ニ對スル慰問

第三十八回議會 (大正六年一月二十三日議決)

歐洲ノ戰亂勃發已來年ヲ閱スルコト既ニ三歲我カ聯合諸國ハ正義ト人道トノ爲ニ不屈不撓以テ終  
局ノ目的ヲ達セスムハ已マサラムトス帝國衆議院ハ茲ニ聯合國民ノ剛健ナル意氣ト壯烈ナル犠牲  
ニ對シ滿腔ノ敬意ト同情ヲ表ス

(ハ) 北米合衆國南加州ニ於ケル震火災ニ付慰問並挨拶

第六十四回議會 (昭和八年三月十四日秋田議長ヨリ北米合衆國下院議長宛發電)

貴國南加州ニ於ケル悲慘ナル震災ノ報ニ接シ寔ニ痛恨ノ至ニ堪ヘス茲ニ日本衆議院ヲ代表シテ深  
厚ナル同情ノ誠意ヲ表ス

右ニ對スル謝狀 (四月十日受領)

附錄 五 外國ニ對スル祝電、慰問、感謝及意思表明 (二)

昭和八年三月二十日

百二

米國下院議長　ヘンリー・トーマス・レーニー

衆議院議長　秋　田　清殿

拜啓余ハ貴下カ衆議院議長トシテ貴院ニ諮リ加州ニ於ケル悲慘ナル震災ノ報ニ接シ寔ニ痛恨ノ至リニ堪ヘストノ御見舞電報ヲ寄セラレ正ニ接受仕候余ハ下院ヲ代表シテ衷心貴下ノ御同情ニ感謝ノ意ヲ表スルト共ニ最近ノ機會ニ於テ之ヲ下院ニ報告仕ル可ク候　敬具

第六十四回議會　（昭和八年三月十四日秋田議長ヨリロスアンゼルス駐劄佐藤敏人領事宛發電）

今回貴地方震災ニ因ル慘禍ノ報ニ接シ誠ニ痛心ニ堪ヘス茲ニ本院ヲ代表シ慰問ノ辭ヲ呈ス同胞諸君ニ御傳達ヲ乞フ

右ニ對スル謝電　（二月十七日佐藤領事ヨリ東郷外務省歐米局長ヲ經テ秋田議長宛謝電）

貴電ハ邦字新聞ヲ通シ同胞ニ傳達シタリ邦人死傷ハ「ロングビーチ」ニ於テ死者一名負傷者數名ヲ出シタルノミナリ

(二) 佛國首相遭難ニ付慰問竝挨拶

第四十一回議會　（大正八年二月二十五日議決、寺田書記官長ヨリ外務次官宛通牒）

日本帝國衆議院ハ講和會議々長佛國首相クレマンソー閣下カ兇漢ノ爲負傷セラレタル報ニ接シ憂慮ニ堪ヘス特ニ院議ヲ以テ深甚ナル同情ヲ表シ併テ平癒ノ速ナラムコトヲ祈ル

右ニ對スル謝電　（三月四日著）譯文

余ハ深ク閣下カ日本衆議院ヲ代表シテ表明セラレタル感念ヲ感荷シ余ノ誠實ナル謝辭ヲ議會ニ傳ヘラレンコトヲ悃請ス

巴黎千九百十九年三月四日午後八時十分

佛蘭西共和國內閣議長

ヂエ、クレマンソー

東京衆議院議長　大岡育造閣下

(三) 外國ニ對スル感謝

(1) 天皇崩御ノ際列國議會ノ表明セル弔意ニ對スル感謝

第三十回議會　（大正二年二月五日議決、大岡議長ヨリ内閣總理大臣宛通牒）

本日本院ハ明治天皇崩御ノ際列國議會ノ表明セシ同情アル弔意ニ對シ謝意ヲ表スルノ動議ヲ全會

附錄　五　外國ニ對スル祝電、慰問、感謝及意思表明　(三)

百三

一致ヲ以テ可決致候間此段及通牒候也

第五十二回議會 (昭和二年三月一日議決、中村書記官長ヨリ外務大臣宛通牒)

本日本院ハ大正天皇崩御ニ付白耳義國及英國ノ上下兩院カ表明セラレタル深厚ナル弔意ニ對シ院議ヲ以テ感謝ノ意ヲ表スルノ決議ヲ全會一致ヲ以テ可決致候間此段及通牒候也

(口) 大震災ニ際シ列國ノ同情ニ對スル感謝

第四十七回(臨時)議會 (大正十二年十二月十二日議決)

衆議院ハ振古未曾有ノ震災ニ際シ列國ヨリ寄セラレタル深甚ナル同情ニ對シ茲ニ院議ヲ以テ感謝ノ意ヲ表ス

(ハ) 講和條約成立ニ關スル祝辭及感謝

(大正八年七月九日受領) (外務省經由)

日本帝國外務大臣子爵内田康哉閣下

余ハ我政府ノ命ニ依リ左ノ事項ヲ閣下ニ轉報ス西班牙國元老院及ヒ代議院ハ「ヴエルサイユ」ニ於ケル講和條約ノ調印ト共ニ戰爭終熄ノ爲メ西班牙國カ感得セル欣悅及ヒ此感念カ敦厚誠實ナル祝

意ヲ伴フテ聯合諸國ニ通表セラレンコトノ冀望ヲ提ケテ之ヲ日程書中ニ登載スヘキコトヲ以テ大多數ヲ以テ可決シタリ

西班牙國元老院及代議院ハ日本天皇陛下ノ政府ヲ經テ在東京上下兩院各議長ニ上掲事項ヲ通告セシコトヲ望ム余ハ此任務ノ完行ヲ以テ自ラ幸福ノ事ト認メ此機ヲ捉ヘテ閣下ニ最高ノ敬意ヲ表ス

橫濱 千九百十九年七月六日

在東京西班牙國公使 チョージ、カコ(手署)

右ニ對シ貴衆兩院議長ヨリ外務大臣ヲ經テ西班牙國兩院議長へ表謝(七月十日)

講和條約締結ニ至リタルハ世界平和ノ爲誠ニ歡喜不堪所ナリ右ニ付早速上下兩院議長閣下ヨリ熱誠ナル祝意ヲ表セラレタルヲ深謝ス

(二) 東郷元帥薨去ノ弔意ニ對スル感謝

(昭和九年六月九日受領) (伯刺西爾國憲法會議議長アントニオ・カルロス君ヨリ秋田議長宛)

伯刺西爾憲法議會ハ貴國上下ヲ感動セシメタル今回ノ服喪ニ對シ謹テ深厚ナル哀悼ノ意ヲ表ス右ニ對スル謝電 (六月十一日發)

貴國憲法議會ノ表明セラレタル深厚ナル弔意ニ對シ謹テ感謝ノ意ヲ表ス

附錄 五 外國ニ對スル祝電、慰問、感謝及意思表明 (三)

(四) 外國ニ對スル意思表明

(イ) 米國新移民法ニ關スル決議

第四十九回(特別)議會 (大正十三年七月一日議決)

衆議院ハ米國新移民法中ニ於テ日本國民ニ對シ差別的條項ヲ設定セルハ當ニ國際間ニ於ケル正義公平ノ原則ニ背反スルノミナラス日米兩國七十年間ノ親交ヲ阻碍スルモノトシテ強硬ナル反對ノ意思ヲ表明ス  
帝國政府ハ之ニ對シテ速ニ適當ナル措置ヲ執ラムコトヲ望ム

(ロ) 日露國交ノ恢復ヲ祝スル決議

第五十回議會 (大正十四年三月四日議決)

衆議院ハ日露兩國カ其ノ親善友好ノ關係ヲ恢復セシコトヲ祝ス

(ハ) 滿洲國ノ承認ニ關スル決議

第六十二回(臨時)議會 (昭和七年六月十四日議決)

政府ハ速ニ滿洲國ヲ承認ス可シ

## 六 帝國軍隊ニ對スル感謝、慰問、表祝並挨拶

(附 陸海軍慰問ニ對スル御下賜品)

### (一) 明治二十七、八年事件

第七回(臨時)議會 (明治二十七年十月二十一日議決)

我帝國ノ忠勇ナル陸海軍隊ノ備サニ遠征ノ艱苦ヲ嘗メ平壤ニ黃海ニ大捷ヲ奏シ帝國ノ威武ヲ宣揚セルハ國民ノ深ク感激スル所ナリ衆議院ハ爰ニ誠實ニ國民ノ意思ヲ表彰ス

第八回議會 (明治二十八年二月一日議決)

本院ハ征清ノ

大詔ヲ遵奉シ交戦ノ目的ヲ達シ帝國ノ光榮ヲ全フスルハ前途尙遠キヲ信ス故ニ之ニ伴フ軍資ノ支出ハ更ニ幾許ヲ要スルモ進テ之ヲ協賛スヘシ特ニ茲ニ決議シテ本院ノ意思ヲ明ニス

第八回議會 (明治二十八年三月二十日議決)

本院ハ嚮キニ臨時帝國議會ニ於テ國民ヲ代表シ遠征軍隊ノ功勞ヲ感謝セリ爾來我軍隊ハ雪嶺ヲ踰ヘ凍海ヲ凌キ奮戰勇闘幾十回盛京ヲ風靡シ山東ヲ席卷シ北洋艦隊ヲ殄滅シ日章ノ光輝ヲシテ山海

ニ照耀セシム抑、忠誠義烈國ニ報シ愾ニ敵スルニアラスムハ焉ソ絶大ノ偉功ヲ奏スル此ノ如キヲ得ムヤ今ヤ戰局愈々張り已ニ第二期ノ作戰ヲ開始スルノ機會ニ際ス進ムテ全局ノ大捷ヲ收ムルニ於テ其勞苦愈々大ナルモノアラム是レ國民ノ深ク感謝スル所ナリ特ニ茲ニ議決シテ誠實ニ國民ノ意志ヲ表彰ス

### (二) 明治三十三年事變

第十五回議會 (明治三十四年一月二十九日議決)

曩ニ北清ノ擾亂ニ方リ我カ出征軍隊カ嚴肅ナル軍紀ノ下ニ在リテ克ク列國軍ト戮力シ備サニ辛苦ヲ嘗メ其ノ職任ヲ全ウシ以テ大ニ國光ヲ中外ニ發揚シタルハ國民ノ深ク感謝スル所ナリ衆議院ハ特ニ院議ヲ以テ其ノ忠勇勤勞ヲ表彰ス

### (三) 明治三十七、八年事件

第二十回(臨時)議會 (明治三十七年三月二十五日議決)

我忠勇猛銳ナル帝國艦隊ハ連戰連捷敵國ヲシテ震懾セシメ以テ皇武ヲ輝揚シ方ニ海上ヲ掃蕩シ偉大ノ勳功ヲ樹ツ是レ國民ノ深ク感謝スル所ナリ衆議院ハ茲ニ之

ヲ言明シテ誠意ヲ表ス

右ニ對スル挨拶

山本海軍大臣ノ通牒 (三月二十六日受領)

帝國艦隊ノ行動ニ關スル貴院ノ決議相添艦隊へ通報方御申越之趣了承感銘ニ堪ヘス則チ直ニ聯合艦隊へ通報取計置候此段御挨拶及御回答候也

東郷聯合艦隊司令長官ノ謝電 (三月二十八日海軍省著、同日山本海軍大臣ヨリ受領)

聯合艦隊ハ本月二十五日ノ決議ニ依ル衆議院ノ鄭重ナル頌詞ヲ辱ウシ一同感佩ノ至ニ堪ヘス尙ホ益々奮勵事ニ從ヒ其ノ目的ヲ達セムコトヲ期ス

右謹テ答謝ス

同議會 (明治三十七年三月二十九日議決)

征露ノ 聖詔ハ公明正大專ラ東洋ノ平和ヲ軫念シ給フニ出ツ我帝國ノ臣民タルモノ執カ鞠躬盡瘁以テ

盛旨ニ獎順セサラムヤ本院ハ乃チ國民報國ノ誠意ヲ體シ政府求ムル所ノ軍資ヲ辨給シ以テ戰費ニ缺クル所ナカラムコトヲ圖レリ惟フニ今ヤ戰端僅ニ開ケ我艦隊ノ奏功偉大ナルモノアリト雖全局

ノ大捷ヲ改メ東洋ノ平和ヲ克復スルハ前途猶遠ニ屬ス其ノ必要ノ戰費ノ如キハ本院ノ固ヨリ吝マサル所ナリ本院ハ切ニ望ム内閣大臣ハ宏謨ヲ翼贊シ運籌畫策能ク機宜ニ適シ速ニ戡定ノ功ヲ致サムコトヲ茲ニ特ニ決議シテ國民意志ノ在ル所ヲ表明ス

(明治三十七年九月四日送付)

我カ忠勇ナル滿洲軍ハ備サニ艱苦ヲ嘗メ露軍ノ據守セル防備堅固ノ諸要地ヲ攻略シ遂ニ遼陽ヲ占領シテ戰局面ニ一進轉ヲ見ルニ至ル是レ國民ノ欣躍止マサル所ナリ衆議院ハ茲ニ至誠以テ祝意ヲ表シ將校士卒ノ功勞ヲ感謝ス

右ニ對スル挨拶

大山滿洲軍總司令官ノ謝電 (九月七日陸軍省著、同日寺内陸軍大臣ヨリ受領)

鄭重ナル祝辭ヲ辱ウシ感謝ニ堪ヘス

第二十一回議會 (明治三十七年十二月三日議決)

滿洲軍ニ對スル慰問狀

我カ滿洲軍ハ遠征萬里懸軍十月銳ヲ摧キ堅ヲ拔キ激戰奮闘茲ニ數十回兵氣益々旺ニシテ我カ武維

レ揚レリ是レ國民ノ感激シテ措カサル所ナリ時祁寒ニ際シテ勞勦更ニ大ナラム衆議院ハ特ニ院議ヲ以テ熱誠ノ忱ヲ彰ハシ將校士卒ノ勇健ヲ祈ル

右ニ對スル挨拶

大山滿洲軍總司令官ノ謝電 (十二月四日陸軍省著、同日寺内陸軍大臣ヨリ受領)

熱誠ナル謝辭ヲ辱フシ感激ニ堪ヘス本職ハ全軍ヲ代表シ衆議院ノ誠意ヲ感謝ス

同議會 (明治三十七年十二月三日議決)

帝國聯合艦隊ニ對スル慰問狀

我カ帝國聯合艦隊ハ遠征以來茲ニ十閱月常ニ風濤ノ間ニ立チ萬死ヲ冒シ百難ヲ排シテ旅順ノ封鎖ヲ全フシ今ヤ敵艦ヲシテ殄滅ニ瀕セシム其ノ功洵ニ偉ナリ是レ國民ノ感激シテ措カサル所ナリ時祁寒ニ際シテ勞勦更ニ大ナラム衆議院ハ特ニ院議ヲ以テ熱誠ノ忱ヲ彰ハシ將校士卒ノ勇健ヲ祈ル

右ニ對スル挨拶

山本海軍大臣ノ通牒 (十二月三日受領)

帝國聯合艦隊ノ行動ニ對スル貴院ノ決議同艦隊へ傳送方御申越相成承了感謝ニ堪ヘス則早速同

附錄

六 帝國軍隊ニ對スル感謝、慰問、表祝並挨拶

(三)

艦隊司令官へ通達取計候間此段御回答旁不取敢御挨拶申進候也

東郷聯合艦隊司令長官ノ謝電 (十二月四日海軍省著、五日山本海軍大臣ヨリ受領)

聯合艦隊ハ本月三日ノ決議ニ依ル衆議院ノ頌詞ヲ辱フシ一同感佩ノ至ニ堪ヘス尙ホ愈勵精最  
終ノ目的ヲ達センコトヲ期ス

右謹テ答謝ス

第二十一回議會 (明治三十七年十二月二十八日議決)

帝國聯合艦隊ハ今ヤ旅順敵艦隊ヲ殲滅シ其封鎖ノ一部ヲ撤スルニ至ル是レ將校士卒ノ終始克ク其  
任務ヲ遂行セシニ由ルト雖モ東郷聯合艦隊司令長官ノ籌略機ニ中リ指揮宜キヲ得タルニ非スンハ  
焉ソ克ク今日ノ大勳ヲ樹ツルヲ得ンヤ衆議院ハ東郷聯合艦隊司令長官ノ凱旋ニ際シ茲ニ院議ヲ以  
テ特ニ歡迎ノ意ヲ表ス

同議會 (明治三十八年一月六日議決)

旅順ノ要塞タル天險ヲ利シ人工ヲ極メ防備ノ堅世界無比ト稱ス而シテ勁敵ノ全力ヲ竭シテ死守ス  
ル所タリ我カ旅順攻圍軍ハ帝國聯合艦隊ト相待テ奮戦力闘茲ニ數閱月陸ニ堅壘ヲ拔キ海ニ巨艦ヲ  
滅シ今ヤ敵ヲシテ策盡キ力窮マリ城ヲ開キテ降ヲ乞ハシムルニ至レリ是レ我カ將校士卒ノ忠勇堅

忍克ク其ノ任務ヲ完クセシニ由ラスムハアラス衆議院ハ茲ニ院議ヲ以テ攻圍軍ノ功勞ヲ感謝ス

(明治三十八年三月十四日) 寺内陸軍大臣宛送付

我カ滿洲軍カ奉天附近ノ會戰ニ於テ敵軍ヲ破摧シ大捷ヲ奏シタルハ國民ノ感激措カサル所ナリ茲  
ニ衆議院ハ將校士卒ノ偉勳ニ對シ深ク感謝ノ意ヲ表ス

右ニ對スル挨拶

大山滿洲軍總司令官ノ謝電 (三月十六日陸軍省著、同日寺内陸軍大臣ヨリ受領)

奉天附近ノ戰勝ニ對シ祝詞ヲ辱フシ感謝ノ至リニ堪ヘス

(明治三十八年六月一日) 山本海軍大臣宛送付

我帝國聯合艦隊ハ籌畫遺算ナク克ク敵艦隊ヲ殲滅シテ其ノ將帥ヲ生擒ス其ノ效果ノ繫ル所豈現下  
ノ戰局ノミナラムヤ衆議院ハ茲ニ振古未曾有ノ大捷ヲ祝シ深ク將校士卒ノ功勞ヲ感謝ス  
右ニ對スル挨拶

山本海軍大臣ノ通牒 (六月一日受領)

聯合艦隊ニ對スル貴院ノ感謝文同司令長官へ傳達方本日御申越ノ趣了承深ク感銘ニ堪ヘス候早



速同司令長官へ傳達取計候間此段御回答旁不取敢御挨拶申進候也

東郷聯合艦隊司令長官ノ謝電 (六月三日海軍省著、同日山本海軍大臣ヨリ受領)

日本海ノ戰捷ニ關シ貴院ヨリ鄭重ナル頌詞ヲ蒙リ一同感佩ノ至リニ堪ヘス尙ホ益々勵精厚志ヲ空フセサラムコトヲ期ス艦隊ヲ代表シ茲ニ敬ミテ謝辭ヲ呈ス

陸海軍慰問ニ對スル御下賜品

日露戰役ノ際陸海軍傷病兵慰問ノ爲物品ヲ寄贈シ又其ノ餘金ノ過剩ヲ陸軍恤兵部へ寄贈シタルニ對シ左ノ通り金杯及木杯ヲ下賜セラレタリ

衆議院議員總代

正三位 松田正久

明治三十七八年戰役ノ際報國ノ旨意ヲ以テ恤兵用品寄附候段奇特ニ候條其賞トシテ金杯壹箇下賜候事

明治三十八年六月二十七日

賞勳局總裁 從二位勳一等 子爵 大 給 恆

衆議院議員總代

松田正久

明治三十七八年戰役ノ際報國ノ旨意ヲ以テ恤兵費ノ内へ金貳百六拾圓寄附候段奇特ニ候條其賞トシテ木杯壹組下賜候事

明治三十八年十月一日

東京府知事 正三位勳三等 男爵 千家尊福

(金杯及木杯ハ會計課ニ於テ保管ス)

#### (四) 大正三、四年事件

(大正三年十一月七日) 奧議長ヨリ獨立第十八師團長陸軍中將神尾光臣君宛電報

青島ノ諸砲壘占領ノ報ヲ悉フシ欣喜ニ堪ヘス是閣下ノ籌畫遠算ナキト將校士卒ノ堅忍能ク其ノ任務ヲ完フシタルニ依ル本職ハ茲ニ本院ヲ代表シテ恭シク祝詞ヲ呈ス

右ニ對スル挨拶

神尾司令官ノ謝電 (十一月九日著)

深厚ナル御慰問ヲ感謝シ併セテ 陛下ノ御稜威ニ依リ青島堡壘砲壘ノ占領ヲ報知スルノ光榮ヲ

附錄 六 帝國軍隊ニ對スル感謝、慰問、表祝並挨拶 (四)

有ス

(大正三年十一月七日) 奥議長ヨリ第二艦隊司令長官加藤定吉君宛電報

貴艦隊ハ陸軍ト協同シ青島ヲ占領セラレタルノ報ニ接シ欣喜ニ堪ヘス出征以來數旬ノ勞劬洵ニ感佩ニ勝ヘス本職ハ茲ニ本院ヲ代表シ謹テ祝詞ヲ呈ス

右ニ對スル挨拶

加藤司令長官ノ謝電 (十一月九日著)

青島陥落ニ對シ早速祝電ヲ辱フシ感謝ニ堪ヘス謹ミテ謝意ヲ表ス

第三十五回議會 (大正三年十二月八日議決)

我カ陸海軍ハ備サニ艱苦ヲ嘗メ東洋ニ於ケル敵ノ根據ヲ掃蕩ス

衆議院ハ茲ニ院議ヲ以テ其ノ功勞ヲ感謝ス

右ニ對スル挨拶

岡陸軍大臣ノ謝辭

唯今ハ陸海軍ノ作戰行動ニ關シ感謝ノ意ヲ表セラレマシタ私ハ陸軍ノコトニ關係シテ御挨拶ヲ

申上ゲマス鄭重ナル御感謝ノ意ヲ表セラレマシタノハ青島攻圍ニ從軍致シテ參リマヌル將卒ノ光榮トスルノミナラズ延イテ陸軍全般ノ名譽トスルトコロゴザイマス陸軍ヲ代表致シマシテ厚ク御禮申上ゲマス

八代海軍大臣ノ謝辭

衆議院ハ院議ヲ以テ海軍ノ策戰行動ニ對シ御鄭重ナル謝意ヲ表セラレマシタ洵ニ感謝ノ至リデゴザイマス吾人海軍々人ハ將來ニ於テモ益々拮据精勵大命ニ奉答スルコト勿論デアリマス此院議ヲ承ハリマシテハ忠勇ナル戰死者竝ニ其遺族ハ定メテ喜ビ大満足デアラウト思ヒマス謹ンデ海軍ヲ代表シテ厚ク御禮ヲ申上ゲマス

神尾前獨立第十八師團長ノ謝狀 (十二月十一日陸軍省著、同日岡陸軍大臣ヨリ受領)

陛下ノ御稜威ト海軍ノ協同竝國民ノ後援トニ依リ青島ヲ攻略セル獨立ノ第十八師團ノ微功ニ對シ特ニ衆議院ノ決議ヲ以テ鄭重ナル感謝ノ辭ヲ寄セラレタル師團將卒ノ深ク光榮トスル所ニシテ感謝ノ至リニ堪ヘス茲ニ團下一同ヲ代表シ滿腔ノ謝意ヲ表ス

## (五) 大正四年乃至九年事件

第四十回議會 (大正六年十二月二十八日議決)

附錄 六 帝國軍隊ニ對スル感謝、慰問、表祝並挨拶 (五)

戦局ノ擴大スルニ伴ヒ我カ艦隊ハ既ニ太平洋印度兩洋ニ敵艦ヲ擊攘シ更ニ歐洲ノ海上ニ遠征シ備サニ艱苦ヲ嘗メ屢々壯烈ナル行動ヲ以テ共同ノ作戰ヲ完ウス衆議院ハ特ニ院議ヲ以テ忠勇ナル海軍將卒ノ勳勞ニ對シ滿腔ノ敬意ヲ表ス

右ニ對スル挨拶

枋内海軍次官ノ謝辭

海軍大臣ガ宮中ニ召サレマシテ御不在ノ故ヲ以チマシテ、唯今ノ御決議ニ對シマシテ、私ヨリ海軍ヲ代表シマシテ感謝ノ意ヲ申上ゲマス

加藤海軍大臣ノ通牒 (十二月二十八日受領)

十二月二十八日衆議院ニ於テ我カ出征艦隊ニ對シ鄭重ナル決議相成候次第ハ當日直ニ各出征艦隊指揮官ヘ電報通達致置候右申進ム

小栗海軍中將ノ謝電 (十二月三十日海軍省著、同日枋内海軍次官ヨリ受領)

登録セル以外ノ宛名ニ英文以外ノ發電出來難キニ付左記電文貴省ヨリ衆議院議長ヘ御傳ヘヲ乞フ、尙ホ同院決議ノ件ハ今二十日新嘉坡入港後受領セリ

衆議院ノ町重ナル決議ニ對シ麾下一同ヲ代表シ深厚ナル謝意ヲ表ス尙ホ益々奮勵與望ニ副ハン事ヲ期ス

右可然御披露ヲ乞フ

右ノ外森本常盤艦長ノ謝電(十二月二十九日著)並佐藤司令官ノ謝電(十二月三十日著)ハ略同意味ニ付略ス

第四十回議會閉會後 各派協議會ノ議ヲ經テ浦潮並西伯利派遣軍隊慰問ノ爲議員望月圭介君外四名、書記官、屬各一名ヲ慰問使トシテ派遣(大正七年九月二十一日東京發十月三十日歸京)セリ右ニ

付派遣軍ヨリ議長宛謝電ヲ受領セリ

大谷軍司令官ノ謝電 (大正七年十一月一日陸軍省著、同日山梨陸軍次官ヨリ受領)

海外遠路ノ處特ニ代表者ヲ差遣シ且慰問品ヲ贈與セラレ一同感謝ノ至リニ堪ヘス茲ニ部下一同ヲ代表シ謝辭ヲ述フ

第四十一回議會 (大正七年十二月二十八日議決)

本院ハ曩ニ決議ヲ以テ我カ出征軍ノ功勞ヲ感謝セリ爾來我カ軍ハ聯合各國ト協同シ艦隊ハ遠ク世界ノ各方面ニ策動シ以テ與國ノ作戰ニ資シ陸軍ハ兵ヲ西伯利ニ進メ以テ西隣ノ秩序ヲ保チ大ニ帝國ノ威武ヲ中外ニ宣揚ス衆議院ハ其ノ壯烈ナル行動ト偉大ナル功績トニ對シ特ニ院議ヲ以テ滿腔

ノ敬意ヲ表ス

右ニ對スル挨拶

田中陸軍大臣ノ謝辭

唯今國外ニ出動致シマシタ陸軍ニ對スル御決議ニ對シマシテハ、本大臣ハ全陸軍ヲ代表シテ、深甚ナル感謝ノ意ヲ表シマス、尙此ノ御決議ノ次第ハ、直チニ之ヲ國外ニ出動シテ居リマスル部隊ニ傳達シ、尙全軍ニ之ヲ傳ヘルト云フコトノ手續ヲ致シマス

加藤海軍大臣ノ謝辭

唯今滿場一致ヲ以テ御決議ニナリマシタ決議文ニ付キマシテハ、海軍ヲ代表致シマシテ、滿腔ノ謝意ヲ表シマス、尙御決議ノ次第ハ、最モ迅速ナル方法ヲ執リマシテ、各方面ニ於ケル艦隊指揮官ニ傳達方ヲ取計ラフ考デゴザイマス、茲ニ御禮ヲ述ベテ一言御挨拶ヲ申上ゲマス

浦潮派遣軍司令官ノ謝電 (大正八年一月十日陸軍省著、同日田中陸軍大臣ヨリ受領)

我軍將士ニ對シ懇篤ナル謝電ヲ辱フシ感佩ノ至ニ堪ヘス茲ニ麾下一同ヲ代表シ深甚ナル謝意ヲ表ス

右ノ外第三、第七、第十二師團長及關東都督ヨリノ謝電ハ略同意味ニ付略ス

千坂第一特務艦隊司令官ノ謝電 (大正七年十二月三十日海軍省著、同日小林海軍省副官ヨリ受

領)

大岡衆議院議長ヘ

衆議院ノ町重ナル決議ニ接シ感銘ノ至ニ堪ヘス茲ニ麾下一同ヲ代表シ深厚ナル謝意ヲ表ス

右可然御披露ヲ請フ

右ノ外第二特務艦隊司令官ノ謝電 (大正八年一月二日著) 黒井第三艦隊司令長官ノ謝電 (大正七年十二月二十九日著) 古川淺間艦長ノ謝電 (大正七年十二月二十九日著) ハ略同意味ニ付略ス

第四十一回議會閉會後 各派協議會ノ議ヲ經テ再ヒ浦潮並西伯利派遣軍隊慰問ノ爲議員東武君外七名書記官屬各一名ヲ慰問使トシテ派遣 (大正八年六月十日東京發七月十六日歸京) セリ右ニ付派遣

軍ヨリ議長宛謝電ヲ受領シ議長ヨリ答電ヲ發セリ

在浦潮川原第五戰隊司令官ノ謝電 (大正八年六月十四日海軍省著、六月十六日小林海軍省副官ヨ

リ受領)

衆議院ハ特ニ慰問使ヲ當隊ニ派遣セラレ鄭重ナル慰問品ヲ忝ウシ誠ニ感謝ノ至ニ堪エス益報公ノ誠ヲ效シ輿望ニ副ハムコトヲ期ス茲ニ麾下一同ヲ代表シ深厚ナル謝意ヲ表ス

在西伯利第三師團長ノ謝電 (七月五日著)

附錄

六 帝國軍隊ニ對スル感謝、慰問、表祝並挨拶

(五)

暑中遠路代表議員ヲ派遣セラレ親シク各部隊ノ慰問ヲ辱フシ感謝ニ堪ヘス一行ハ本三日無事當師團守備管區ヲ辭去セラレタルニ際シ茲ニ謹テ謝意ヲ表ス

右ニ對スル大岡議長ヨリ陸軍次官ヲ經テ第三師團長ヘノ答電 (同日發)

慰問議員團貴管區滯留中種々御優遇ヲ受ケ今其ノ離去ニ際シ却テ鄭重ナル謝辭ヲ辱フシ感佩ニ堪ヘス茲ニ一行ニ代リテ深厚ナル謝意ヲ表シ併セテ閣下及將校士卒ノ健康ヲ祈ル

在西伯利第十四師團長ノ謝電 (七月九日著)

貴院ヨリ特ニ其ノ代表者ヲ遠ク此地ニ派遣シ我師團ノ各隊ヲ親シク慰問シ其ノ實況ヲ視察セシメラレタルニ對シ隸下一同ヲ代表シ滿腔ノ謝意ヲ表スルト同時ニ益奮勵努力以テ國民ノ期待ニ添ハンコトヲ期ス

右ニ對スル大岡議長ヨリ陸軍次官ヲ經テ第十四師團長ヘノ答電 (七月十日發)

我議員團貴師團訪問ノ際ハ種々御優遇ヲ受ケ今又鄭重ナル謝辭ヲ辱フシ感佩ノ至ニ勝ヘス茲ニ貴師團ニ對シ深甚ナル敬意ヲ表シ併セテ閣下及將校士卒ノ健康ヲ祈ル

在浦潮大谷軍司令官ノ謝電 (七月十六日著)

貴院西伯利派遣議員團ハ艱難ナル長途ノ旅行ヲ意トセス甚大ナル精勵ヲ以テ北滿並西伯利派遣軍全部ニ對シ一々懇篤ナル慰問ヲ與ヘラレ感謝ニ堪ヘス茲ニ麾下一同ヲ代表シ衷心ヨリ深厚ナル謝意ヲ表ス

ル謝意ヲ表ス

(同日發)

右ニ對スル大岡議長ヨリ陸軍次官ヲ經テ在浦潮大谷軍司令官ヘノ答電 (同日發)  
我議員團西伯利及北滿派遣軍訪問ノ際ハ種々御優待ヲ受ケ今又鄭重ナル謝辭ヲ辱フシ感佩ノ至ニ堪ヘス茲ニ閣下及御麾下一同ニ對シ深甚ナル敬意ヲ表シ併セテ閣下及將校士卒ノ健康ヲ祈ル

大井第十二師團長ノ謝電 (七月四日著)

無事歸還ニ際シ出征中ハ深厚ナル御同情ト御援助ヲ深謝ス

第四十二回議會 (大正九年一月二十二日議決)

歐洲ノ戰亂勃發スルヤ我カ陸海軍ハ聯合與國ト協力シテ海陸ニ策動シ交戦五箇年備サニ艱苦ヲ嘗メ報效ノ誠ヲ致シ皇國ノ威武中外ニ發揚セリ衆議院ハ茲ニ院議ヲ以テ陸海軍將卒ノ功勞ヲ感謝ス  
右ニ對スル挨拶

加藤海軍大臣ノ謝辭

唯今今回ノ戰役ニ出征致シマシタコトニ付キマシテ、此平和克復ノ機會ニ於テ、感謝ノ意ヲ表セラレル決議文ヲ、滿場一致ヲ以テ御可決ニナリマシタ、誠ニ感謝ニ堪ヘナイ次第デゴザイマス、茲ニ海軍ヲ代表致シマシテ、深厚ナル謝意ヲ表シマス、尙御趣意ノ在リマス所ハ、速ニ各指揮官

ニ傳達ヲ致シマス心得デゴザイマス、御禮ヲ申上ゲマス

田中陸軍大臣ノ謝辭

唯今ノ深厚ナル御決議ニ對シマシテ、私ハ茲ニ陸軍ヲ代表シテ、深ク感謝ノ意ヲ表シマス、此同情アル決議ハ、直チニ之ヲ在外ノ各部隊ニ傳ヘマス考デゴザイマス、之ヲ聞キマシタ各部隊ハ之ガタメニ一層ノ士氣ヲ旺盛ナラシメルコトト存ジマス、茲ニ御禮ヲ申上ゲマス  
尙右決議ニ對シ各駐在地司令官及師團長ヨリ議長宛ニ謝電三十七通ヲ受領セリ

第五十回議會 (大正十四年三月十八日議決)

薩哈噠州派遣軍、臨時海軍防備隊及北樺太方面派遣艦船ハ派遣以來五閱年備サニ辛酸ヲ嘗メ其ノ任務ヲ完ウシタリ衆議院ハ忠勇ナル將卒ノ勞勩ヲ多トシ茲ニ撤兵ニ際シ特ニ院議ヲ以テ感謝ノ意ヲ表ス

右ニ對スル挨拶

宇垣陸軍大將ノ謝辭

諸君、只今滿場一致ヲ以テ御決定ニナリマシタル所ノ院議ニ對シ、茲ニ私ハ薩哈噠州派遣軍ニ關係致シテ居リマシタ所ノ將卒一同ヲ代表シテ、深甚ナル感謝ノ意ヲ表シマス、願レバ大正九年七

月、同軍ガ派遣セラレテ以來五閱年、之ニ參加致シマシタ所ノ將卒ハ通計致シマシテ、無慮二萬有餘デアリマス、而シテ骨ヲ朔北ノ野ニ埋メタル者モ亦尠カラザル次第デアリマス、今ヤ將ニ軍ハ任ヲ終ヘテ歸還セントスルニ當リマシテ、斯ノ如キ同情アル御決議ヲ得マシタコトハ彼等將卒ガ國家ノ爲メニ盡シマシタ所ノ努力ニ一段ノ光彩ヲ副ヘル次第デアリマス當ニ現在任務ニ就テ居ル者ノミナラズ、其長ヘニ氷雪ノ下ニ眠レル所ノ僚友モ、又既ニ戎衣ヲ解イテ歸ツテ郷閭ニアル者トヲ問ハズ等シク其ノ御厚情ニ對シテ深ク感謝ヲ致ス事ト信ジテ疑ヒマセヌ、私ハ本院ノ此深厚ナル御意思ノ存スル所ヲ普ク傳達徹底致スヤウニ直ニ取計ヒマスガ、茲ニ取敢ヘズ滿腔ノ謝意ヲ表明シテ置キマス

財部海軍大臣ノ謝辭

唯今滿場一致ヲ以テ可決ニナリマシタル懇ロナル此決議ニ對シマシテ、私ハ帝國海軍ヲ代表シテ、深厚ナル謝意ヲ表スルモノデゴザイマス、尙ホ此決議ノ趣ハ直ニ關係ノ各指揮官ヘ傳達ノ手續ヲ致ス積リデゴザイマス、茲ニ謹ンデ御禮申上ゲマス

尙右決議ニ對シ三矢臨時海軍防備隊司令、大湊要港部司令官、横須賀、佐世保、吳各鎮守府司令長官及亞港軍司令官ヨリ謝電ヲ受領セリ

## (六) 昭和六年乃至九年事變

第六十回議會 (昭和六年十二月二十七日議決)

我カ陸海軍ハ近時頻發スル滿洲北支諸方面ノ禍亂ヲ掃蕩シ以テ帝國ノ權益ヲ保全シ居留臣民ノ掩護ニ盡瘁ス是レ國民ノ感激措ク能ハサル所ナリ時祢寒ニ際シ將士ノ勞勩更ニ大ナルモノアラム衆議院ハ爰ニ院議ヲ以テ感謝ノ誠意ヲ表ス

右ニ對スル挨拶

大角海軍大臣ノ謝辭

只今衆議院ハ滿場一致院議ヲ以テ支那方面ノ警備任務ニ從事致シテ居リマスル帝國海軍將士一同ニ對シ、御鄭重ナル慰問ヲ辱ウ致シマシタル事ハ、洵ニ感激ニ堪ヘマセヌ、直ニ之ヲ全軍ニ傳達致シマス、嘸カシ將士一同ハ感激ニ噎ブコトデアラウト信ジマス、爰ニ帝國海軍ヲ代表シ、謹デ感謝ノ意ヲ表シマス

荒木陸軍大臣ノ謝辭

滿洲ノ事態ガ急ヲ告ゲマシテカラ以來茲ニ四閱月、我ガ關東軍及支那駐屯軍並兩軍司令官ノ隸下ニ配屬セラレテ居リマスル陸軍ノ諸部隊ハ、大命ヲ畏ミマシテ、且熱烈ナル國民各位ノ御後援

御同情ニ感奮シ、一死報國ヲ誓ヒ、海行カバ水漬ク屍、山行カバ草蒸ス屍、大君ノ邊ニコソ死スル忠誠ノ精神ヲ以チマシテ、皇國生命線ノ確保ニ邁進シテ居リマス、然ル所今又茲ニ國民意思ノ代表ト見ルベキ全院一致ノ此決議ヲ承リマスルニ於テハ、在滿在支ノ將兵ハ、一層其感激ヲ新ニ致シマシテ、益々報效ノ志ヲ鞏ウシ、酷寒兵匪ヲ掃蕩スルニ其勇氣ヲ倍加セラル、モノアルヲ信ジテ疑ヒマセヌ、不幸已ニ骨ヲ曠野ニ埋メ、或ハ癘瘡トナリマシタ將兵モ、此溫カキ院議ニ對シマシテハ、以テ瞑シテ護國ノ鬼トナリ、以テ慰メテ更ニ銃後ノ干城トナルヲ期スルニ相違ナイト信ズルノデアリマス、併ナガラ時局ノ前程ハ尙ホ頗ル遠遠デアリマシテ、舉國一致ノ實ヲ完全ニ發揮スルノ必要ナルハ、寧ロ繫ツテ今後ニ在ルト申サネバナラヌノデアリマスルガ故ニ、在滿在支ノ將兵ニ對シマシテハ、愈々稜威ノ高キヲ仰グト共ニ、益々股肱ノ分ヲ盡シマシテ、堅忍持重、更ニ功ヲ異日ニ期シ、以テ御期待ニ背カザル様、一層ノ覺悟ヲ促サウト考ヘテ居リマス、私ハ茲ニ陸軍ヲ代表致シマシテ、深厚ナル感謝ノ誠意ヲ披瀝致シマスルト同時ニ、此決議ノ奧ニ流ル、國民後援ノ熱意ト御覺悟トヲ、漏レナク傳達スルニ最善ノ方法ヲ採リマシテ、以テ舉國一致ノ決意ヲ中外ニ明ニスルニ十分ノ努力ヲ拂フコトヲ期スル次第デアリマス

第六十一回(臨時)議會 (昭和七年三月二十日議決)

附錄 六 帝國軍隊ニ對スル感謝、慰問、表祝並挨拶

(六)

我カ帝國陸海軍ハ滿洲事變勃發以來銳意兵匪ヲ掃蕩シ更ニ上海方面ノ紛局ニ當リ寡以テ衆ヲ破リ内外人ノ生命財産ヲ保護シ克ク其ノ功績ヲ收ム是レ國民ノ感激措ク能ハサル所ナリ茲ニ衆議院ハ忠勇ナル派遣軍將兵ノ功勞ニ對シ院議ヲ以テ感謝ノ意ヲ表ス

右ニ對スル挨拶

大角海軍大臣ノ謝辭

衆議院ハ、只今滿場一致、院議ヲ以テ今次事變ニ於ケル我が出征將士一同ニ對シ、御懇篤ナル慰問ト、激勵ノ辭ヲ賜リマシタルコトハ、實ニ國民ノ總意ヲ如實ニ表示セラレタモノデアリマシテ、誠ニ感激ノ至リニ堪ヘマセヌ、前回同様此御決議ヲ全軍ニ傳達致シマス、事變突發以來、皇軍ハ各種ノ困難ナル狀況ノ下ニ勇戰奮闘、所期ノ戰果ヲ擧ゲ得マシタルコトハ、畏クモ 至尊ノ御稜威ニ依リマスルコトハ固ヨリデアリマス、ソレト同時ニ熱烈ナル舉國一致ノ後援ニ俟ツ所ナルモノアルハ、又申ス迄モナキ次第デアリマス、今ヤ軍事行動ハ大體一段落ヲ告ゲマシタケレドモ、時局ノ前途ハ尙ホ遼遠ナルモノアルヲ感ズルモノデアリマス、吾々ハ愈々責任ノ重大ナルヲ思ヒ、一層協心戮力、誓ッテ其本分ヲ盡シ、聖慮ヲ安ンジ奉ルト共ニ、國民ノ期待ニ背カザランコトヲ期シテ居ル者デアリマス、茲ニ帝國海軍ヲ代表シ、重ねテ深厚ナル感謝ノ誠意ヲ表シマス  
荒木陸軍大臣ノ謝辭

舊臘十二月、第六十議會ノ劈頭ニ於キマシテ、我が陸軍ノ在外部隊ニ對シマシテ、全院一致ノ御決議ヲ戴キマシタルコトニ付キマシテハ、當時私ヨリ親シク御禮ヲ申述べルト共ニ、其旨ヲ漏レナク在外ノ將兵ニ對シマシテ傳達ヲ致シマシタル所、其感激ノ状態ハ、爾後ニ於ケル是等將兵ノ行動ニ依ッテ、各位ニ於カレテハ夙ニ御承知ノコト、存ズルノデアリマス、而シテ今亦茲ニ全院一致ノ御決議ニ對シマシテ、私カラ更ニ御禮ヲ申上ゲマスルコトハ、單ニ光榮デアルバカリデナク、陸軍一同ヲ代表致シマシテ、洵ニ感激ニ堪ヘザル衷情ヲ、茲ニ謹ンデ申上ゲマス、由來、戰ハ機ト氣ノモノデアリマシテ、此戰機ヲ捉ヘ、士氣ヲ振作スルコトガ、其要諦デゴザイマス、戰機ヲ適當ニ捕捉致シマスルコトハ、統帥ノ妙ニ屬シ、士氣ヲ振興致シマスルコトハ、一ニ陛下ニ對シ奉ル御奉公ノ信念ト、一ニハ同胞一致ノ後援アリトノ信念ニ立ツ、此一點ニ歸スルコト、存ジマス、今回上海ニ派兵ヲ致サレマスルヤ、我が陸軍ハ、海軍ノ極メテ熱烈ナル御協同ヲ戴キマシテ、聲ヲ潛メテ七了江ニ上陸ヲ致シマシタ、敵ヲシテ不意ニ出デタル我が此部隊ニ對シテ、心膽ヲ寒カラシメマシタ、同時ニ正面ニ在リマスル所ノ第九師團ハ、此戰機ヲ捉ヘテ、直チニ攻勢ニ轉ジマシタルコトガ、是レ統帥方面ノ妙諦ヲ發揮致シマシタルコトデアリマシテ、又一面ニハ、皆樣既ニ御承知ノ如クニ、彼ノ三勇士始メ幾多ノ吾々戰友ガ、一死君國ニ奉ズル熱意ニ燃エマシテ、其本分ニ斃レマシタルコトハ、一ニ忠誠ノ信念ト、更ニ國民一般ノ御後援アリトノ、此安心ニ



立チマシテ、此天晴ナル、世界ヲ驚異スベキ行動ニ出デタコト、存ジマス、此兩者ノ調和吻合、之ニ依リマシテ、御承知ノ如ク月餘ニシテ遂ニアノ見事ナル解決ヲ付ケマシタノデアリマシテ、願ミマスレバ、曩ニ院議ニ於テ御決議ニナリマシタ激勵ノ、其精神ノ賜モノガ、大イニ之ニ作用シタモノデアルト深く感謝スル次第ゴザイマス、今ヤ内外極メテ多難ナ折デアリマスルガ、吾々ハ一ニハ聖明ナル陛下ヲ仰ギ奉リ、一ニハ斯ノ如キ熱烈ナル國民ノ後援ヲ受ケマシテ、及バズナガラ輔弼ノ大任ヲ致シマスルト共ニ、一同ヲ督勵致シマシテ、其本分ニ邁進ヲ致シマシテ、動モスレバ東洋ノ正義ヲ認識スルニ不足ナル世界ニ對シマシテ、覺醒ノ第一聲ヲ揚ゲ、内ニ對シマシテハ、生活ノ安康ヲ期スルコトニ、吾々ノ本分ヲ盡シタイト存ズル次第デアリマス、今後ニ於キマシテ、只今ノ御決議ニ對シマシテハ、篤ト漏ナク一同ニ傳達ヲ致シマシテ、此御期待ニ副フヤウニ、吾々始メ奮勵ヲ致ス次第ゴザイマス、茲ニ茲ンデ御禮ヲ申上ゲマス

#### 第六十三回(臨時)議會 (昭和七年九月二日議決)

衆議院ハ我カ陸海派遣軍將兵カ滿洲ノ治安維持及在支居留民ノ保護ニ付引續キ刻苦精勵其ノ任務ヲ盡シ報效ノ誠ヲ致セル勞苦ニ對シ院議ヲ以テ重ネテ感謝ノ意ヲ表ス  
右ニ對スル挨拶

#### 荒木陸軍大臣ノ謝辭

只今ノ院議ヲ以チマシテ、滿場御一致ノ決議ト致シマシテ、滿洲支那方面ニ出動ヲ致シテ居リマスル將兵ニ對シマシテ、極テ御懇切ニシテ、熱意ノアル慰問ト激勵ノ辭ヲ戴キマシテ、洵ニ感激ニ堪ヘヌコトデアリマス、漏ナク出動ノ軍司令官以下將兵ニ、御決議ノ程ヲ私ヨリモ傳達致シマシテ、今後一層奮勵努力 陛下ノ御思召ニ副ヒマスルヤウニ、又國民一同ノ御期待ニ副ヒマスルヤウニ、本務ヲ盡スコトヲ一層努力致シマスルヤウニ、期待ヲ致サセマス、茲ニ陸軍ヲ代表致シマシテ、深く感謝ノ意ヲ表シマス

#### 岡田海軍大臣ノ謝辭

只今滿場一致ノ院議ヲ以テ、滿洲及支那派遣軍將兵一同ニ對シ、御懇篤ナル慰問ト激勵ノ辭ヲ賜リマシタコトハ、洵ニ感激ニ堪ヘマセヌ、此決議ハ速ニ海軍全般ニ傳達致シマス、吾々ハ上下協力致シマシテ、益々奮勵努力萬遺憾ナキコトヲ期シマス、私ハ海軍ヲ代表シマシテ、厚ク感謝ノ意ヲ表シマス

#### 第六十四回議會 (昭和八年一月二十五日議決)

衆議院ハ我カ陸海軍派遣將兵カ久シキニ互リ滿洲ノ治安維持及在支居留民ノ保護ニ任シ刻苦精勵

克ク其ノ職務ニ盡瘁スルノ努力ヲ多トシ茲ニ院議ヲ以テ重ネテ感謝ノ意ヲ表ス

右ニ對スル挨拶

荒木陸軍大臣ノ謝辭

只今ハ重ネテ院議ヲ以チマシテ、在滿竝ニ在支出動ノ將兵ニ對シテ、極メテ懇切ニシテ熱意ノアル御慰問ト、激勵ノ辭ヲ戴キマシテ、洵ニ感謝ニ堪ヘマセヌ、陸軍殊ニ出動ノ將兵ニ代リマシテ、茲ニ深甚ノ謝意ヲ致シマス、昨年滿洲國承認セラレマシテ、日滿兩國ノ國交ガ新ニ樹テラレマシタ以來、在滿ノ將兵ハ此精神ヲ體シマシテ、極東ノ平和確立、殊ニ滿洲ノ治安促進ニ對シマシテ、寡兵ヲ以テ飢寒ニ耐ヘ、今日其任務ニ專念ヲ致シテ居リマス、北滿方面ハ幸ニ致シマシテ、茲ニ略々其平定ヲ見マシテ、熱河ヲ除クノ外、各方面共ニ只今集團兵匪ヲ悉ク平定ヲ致シマシタコトヲ、茲ニ御報告ヲ申上ゲマス、又在支方面ノ各將兵ハ、ソレノ任務ニ從ヒマシテ、各奉公ニ專念ヲ致シテ居リマス、只今戴キマシタ決議ハ、漏レナク各方面ノ出動部隊竝ニ一般ニ傳達ヲ致シマシテ、茲ニ我が國民總決意ノアル御後援ノ下ニ、舉國一致ノ意思ヲ十分ニ天下ニ表明ヲ致シマシテ、以テ今後益々奮勵努力、上 陛下ニ對シ奉ル御奉公ニ遺算ナク、尙ホ一般國民ノ御期待ニ副フヤウニ努力奮勵ヲ致サセマス、茲ニ謹ンデ御禮ヲ申上ゲマス

大角海軍大臣ノ謝辭

衆議院ハ只今滿場一致、院議ヲ以テ、重ネテ滿洲竝ニ支那方面ノ警備任務ニ任ジテ居リマスル海軍將兵一同ニ對シ、御鄭重ナル御慰問ノ御言葉ヲ賜ハリマシテ、洵ニ感激ニ堪ヘマセヌ、速ニ是ガ傳達ノ手續ヲ致シマス、茲ニ帝國海軍ヲ代表シ、謹ンデ感謝ノ誠意ヲ表シマス

柳川陸軍次官ノ通牒 (一月二十六日受領)

昨二十五日ノ衆議院ニ於ケル派遣陸海軍將兵ニ對スル感謝ノ院議ニ對シ關東軍司令官、朝鮮軍司令官、支那駐屯軍司令官及上海派遣陸軍武官ヨリ夫々院議ニ對シ重ネテ深ク感謝ノ意ヲ表スルト共ニ愈々勵精以テ國民ノ負託ニ副ハムコトヲ期スル旨ノ謝電有之タルニ付可然取計ハレ度通牒ス

關東軍司令官ノ謝電 (一月二十六日著)

一月二十五日衆議院ノ決議ヲ以テ關東軍將兵ニ對シ深厚ナル感謝ノ辭ヲ致サレ感激ニ堪ヘス將兵一同益々奮勵御期待ニ副ハムコトヲ期ス

第三艦隊司令官ノ謝電 (一月三十一日海軍省著、二月一日海軍省副官ヨリ受領)

院議ニ依ル鄭重ナル感謝ノ電ニ接シ感激ニ堪ヘス部下一同ヲ代表シ謹ミテ深厚ナル謝意ヲ表ス尙當隊將士一同益々奮勵努力以テ國民ノ期待ニ添ハムコトヲ期シツ、アリ

第二遣外艦隊司令官ノ謝電 (一月三十一日海軍省著、二月一日海軍省副官ヨリ受領)

御懇篤ナル決議ヲ辱クシ感謝ノ至ニ堪ヘス茲ニ麾下一同ヲ代表シ御禮申上ク

滿洲海軍特設機關小林首席職員ノ謝電 (一月三十一日海軍省著、二月一日海軍省副官ヨリ受領)

衆議院ノ熱誠アル感謝決議ニ對シ在滿海軍將兵一同ニ代リ厚ク謝意ヲ表ス今後益々奮勵努力職

責ヲ全フセムコトヲ期ス

滿洲國新京ニ於テ 滿洲海軍特設機關首席職員 小林省三郎

馬公要港部司令官ノ謝電 (二月一日著)

御懇電ヲ拜シ感激ニ堪ヘズ一同元氣旺盛益々士氣ヲ鼓舞シ以テ御期待ニ背カザラムコトヲ期

ス

第六十四回議會 (昭和八年三月七日秋田議長ヨリ武藤關東軍司令官宛電報)

帝國ノ忠勇ナル派遣軍ハ滿洲國軍ト戮力シテ熱河ノ兵匪ヲ掃蕩シ以テ滿洲國ノ寧靜ニ貢獻セリ茲

ニ本院ヲ代表シテ祝詞ヲ呈シ併セテ其ノ勞勩ヲ感謝ス

右ニ對スル挨拶

武藤關東軍司令官ノ謝電 (三月十四日著)

衆議院ヲ代表シ當軍ニ寄セラレタル深甚ナル感謝電ニ接シ將兵一同感激ニ堪ヘス益奮勵御期待

ニ副ハムコトヲ期ス本次作戰ノ成功ハ國民一致ノ後援ニ依ルモノ極メテ多シ茲ニ謹テ謝意ヲ表  
ス

荒木陸軍大臣ノ謝辭 (三月十六日)

熱河省ノ平定ニ付キマシテ、過般衆議院ヲ代表シテ議長ヨリ關東軍ニ對シ、感謝激勵ノ祝電ヲ戴

キマシタコトハ、洵ニ感激ニ堪ヘマセヌ、此機會ニ於キマシテ、軍部當局ト致シマシテ改メテ御

禮ヲ申上ゲテ置キマス

(昭和八年六月二日) 秋田議長ヨリ武藤關東軍司令官宛電報

(日支停戰協定成立ニ付感謝)

停戰協定ノ成立ヲ祝シ派遣軍將兵ノ勞苦ニ對シ深く感謝ノ意ヲ表ス

右ニ對スル挨拶

武藤關東軍司令官ノ謝電 (六月三日著)

御懇電ヲ謝ス

## 七 御見舞、歡迎、感謝、慰問及挨拶（帝國軍隊ニ對スル分ヲ除ク）

### (一) 御見舞（皇族並王族殿下ニ對スルモノ）

#### (イ) 伏見宮博恭王殿下御負傷ノ際御見舞書並御挨拶

（明治三十七年八月十七日奉呈）

衆議院ハ海軍少佐勳一等博恭王殿下本月十日旅順口沖ニ於テ御勇戰中御負傷アラセラレタル報ニ接シ恐懼ノ至ニ堪ヘズ茲ニ謹テ御容體ヲ奉伺シ併テ御平癒ノ速ナランヲ奉祈ス  
右ニ對スル御挨拶（八月二十九日）

衆議院ノ鄭重ナル御見舞ヲ受ケ満足ニ思召サル

#### (ロ) 北白川宮成久王殿下同妃殿下、朝香宮鳩彦王殿下御奇禍ニ罹ラセラレタル際御見舞電報並御謝電

（大正十二年四月四日發）

衆議院ヲ代表シ謹テ成久王殿下ノ薨去ヲ哀悼シ奉リ妃殿下並鳩彦王殿下ノ御快癒ヲ祈リ奉ル右夫

々言上ヲ乞フ

右ニ對スル御謝電 (五月五日著)

奇禍ニ際シ貴院ヨリ鄭重ナル御見舞ヲ受ケタルモ當時症狀許ササリシ處昨今逐次快方ニ向フニ及ヒ遅延ナカラ御厚意ヲ深謝ス

(ハ) 秩父宮殿下御不例ニ付御見舞電報竝御謝電

第五十一回議會 (大正十五年二月十七日發)

秩父宮殿下御不例ノ趣拜承心痛ノ至ニ堪ヘス速ニ御快癒ヲ祈リ奉ル

右ニ對スル御謝電 (二月十九日著)

貴電ノ趣言上満足ニ思召サル

(ニ) 李王殿下御重患ニ付御見舞電報竝御謝電

(大正十五年四月七日發)

李王殿下御不例ノ趣拜承心痛ノ至ニ堪ヘス速ニ御快癒ヲ祈リ奉ル

右ニ對スル御謝電 (四月八日著)

御懇篤ナル御見舞ヲ深謝セラル

(大正十五年四月二十六日發)

李王殿下御重患ノ趣拜承心痛ノ至ニ堪ヘス謹テ御見舞申上ク

(ホ) 久邇宮邦彦王殿下御不例ニ付御見舞電報

第五十六回議會 (昭和四年一月二十六日發)

久邇大將宮殿下御病氣ニ罹ラセラレタル趣新聞紙上ニテ拜承驚入り速ニ御快方祈リ奉ル右言上ヲ

乞フ

右ニ對シ山田事務官ヨリ電報 (一月二十七日著)

貴電言上ス

(ハ) 關西地方ニ於ケル暴風雨ニ付東久邇宮邸竝久邇宮(多嘉王殿下)邸ニ御見舞電報

(昭和九年九月二十二日發)

御地方暴風雨被害甚大ノ報ヲ接シ心痛ノ至リニ堪ヘス謹テ御見舞申上ク右言上ヲ乞フ

(二) 歡迎

(1) 暹羅國皇帝皇后兩陛下御來朝ノ際ニ於ケル歡迎ノ辭

(昭和六年四月七日言上)

皇帝陛下並皇后陛下ノ御來朝ニ際シ衆議院ヲ代表シ謹テ歡迎ノ誠意ヲ表シマス

(口) 滿洲國皇帝陛下御來訪ノ際ニ於ケル歡迎文

(昭和十年四月七日奉呈)

衆議院議長濱田國松恭シク惟フニ

滿洲國皇帝陛下夙ニ衆望ヲ負ウテ執政ノ重任ニ膺ラセラレ尋テ帝制ノ施行ニ際シ 天命ヲ承ケテ

帝位ニ即カセ給フ盛徳洽ク五族ニ光被シ宇内具ニ治化ノ隆ナルヲ瞻ル吾

皇乃チ曩ニ 秩父宮殿下ヲ差遣シテ敬意ヲ表セラル聞ク今次

陛下ハ之カ答禮トシテ親シク我 皇室ヲ訪問セララルト願フニ盟邦

元首ノ來訪ハ我邦未曾有ノ盛事ニ屬シ舉國齊シク欣慶措ク所ヲ知ラス因テ按スルニ兩 朝廷ノ

交驩ハ洵ニ是レ兩國國民ノ親誼ヲ深カラシメ東洋永遠ノ平和ヲ固クシ延キテ世界ノ康寧人類ノ福

社ニ裨補スル所至大ナルヘシ庶幾クハ神人曠宇シテ長ヘニ

陛下ノ 萬壽無疆ニアラセラレ 滿洲帝國ノ隆運愈々顯著ナルモノアラムコトヲ乃チ衆議院ノ決

議ニ依リ表ヲ捧ケ謹テ奉迎ノ至衷ヲ致ス

昭和十年四月七日

衆議院議長正五位勳二等濱田國松敬白

(ハ) 英國皇太子並皇子殿下御來朝ノ際ニ於ケル歡迎文並御挨拶

(大正十一年四月十三日奉呈)

(英國皇太子殿下ニ奉呈シタルモノ)(譯文ハ之ヲ略ス)

我國賓タル英國皇太子殿下

我衆議院ハ客月其ノ閉會ニ先タチ全院一致ノ決議ヲ以テ余ニ 殿下奉迎ノコトヲ託セリ故ニ余ハ

衆議院ノ名ニ於テ謹テ歡迎ノ辭ヲ呈スルノ光榮ヲ有ス

貴國ト我國トノ交際ハ夙ニ親善特ニ最近二十餘年間同盟ノ關係ニ在リテ其ノ友好益緊密ヲ加ヘタ

リ我國民ハ將來亦永ク此ノ情誼ノ渝ルコトナキヲ冀フ

曩ニ我東宮ノ貴國ヲ訪ハルルヤ貴皇室並國民ノ熱誠ナル歡迎ヲ受ケラレタルハ我國上下ノ齊シク

感激シテ措カサル所ナリ今ヤ 殿下遠ク台駕ヲ勞シテ我國ヲ訪ハセタマフ我國民ノ歡喜何モイカ  
之ニ如カシ  
惟ニ 殿下今次ノ壯遊ハ兩國ノ國交ヲシテ更ニ敦厚ヲ加ヘシメ延テ世界ノ平和ニ貢獻スル所頗ル  
多大ナルヘキヲ疑ハス茲ニ恭ク歡迎ノ誠意ヲ表ス

大正十一年四月十三日

衆議院議長 奧 繁三郎

右ニ對スル御挨拶

諸君

予ハ本日茲ニ貴族院及衆議院ノ議員ニ依リ予ニ表セラレタル歡迎ヲ深く感謝シ且ツ此ノ機會ニ於  
テ帝國議會ノ有力ナル代表者ニ會見スルヲ得タルヲ欣フ  
昨日横濱ニ於テ予カ如何ニ強キ歡喜ノ情ヲ以テ日本ノ國土ニ上陸セシカハ此ニ敢テ言フヲ俟タサ  
ルヘク而シテ予カ至大ノ感興ヲ以テ期待スル所ノモノハ實ニ今後二三週日ノ日本滞在ニ在リ蓋シ  
其ノ間 天皇陛下及其ノ政府並國民ノ御歡待ニ依リ予カ一層深キ友情ヲ以テ貴國ヲ了解スルコト  
ヲ得ルノミナラス多數ノ貴國人ト好誼ヲ結フコトヲ得ヘシト信スレハナリ  
予カ日本訪問ヲ切望セル最大理由ハ昨年 攝政殿下ト倫敦ニ於テ交ヘタル友誼ヲ再ヒ茲ニ温メム  
トスルニ在リ此ノ友誼コソ日英兩國ヲ繋ク同情ノ絆ノ表徴ト認ムヘク此ノ友情ハ實ニ 攝政殿下

ト予トノ相互ノ親愛尊敬ニ堅ク基クモノナルヲ以テ何モノモ日英兩國間ニ存スル幸福ナル友誼關  
係ヲ傷フニ至ルコトナキヲ信シテ疑ハス  
諸君子ハ重ネテ帝國議會ノ予ニ致サレタル歡迎ノ辭ニ謝意ヲ表シ併セテ議員諸君ノ職責ヲ盡スニ  
成功セラレムコトヲ望ム

エドワード親王

(昭和四年五月四日奉呈)

(英國皇子殿下ニ奉呈シタルモノ)(譯文ハ之ヲ略ス)

謹テ我カ國寶タル グロスター公殿下ニ呈ス

我カ衆議院ハ去ル三月二十五日 殿下奉迎ノコトヲ全院一致ヲ以テ決議セリ仍テ衆議院ヲ代表シ  
テ茲ニ歡迎ノ辭ヲ呈スルノ光榮ヲ有ス

貴國ト我カ國トノ交際ハ會テ同盟ノ誼ヲ結ヒ期滿チテ尙其ノ友誼益々親善ヲ加ヘツツアルコトハ  
吾々國民ノ深ク喜フ所ナリ且ツ畏クモ我カ 今上陛下ニハ東宮ニ御座シマセシ時貴國ニ御渡航ア  
ラレ貴皇室ト貴國民トニ御親ミ深ク隨テ我々日本國民ハ貴國ノ皇室並國民ニ對シ一層敬愛ノ情ヲ  
厚クスルモノナリ

附錄

七 御見舞、歡迎、感謝、慰問及挨拶

(二)

今回 殿下ニハ貴國 皇帝陛下ノ御名代トシテ我カ 天皇陛下ニ貴國ノ最高貴ナル「ガーター」勳章御贈進ノ爲御來朝アラセラレタルコトハ我カ國上下ノ齊シク歡喜措ク能ハサル所ナリ惟フニ殿下今次ノ御來朝ハ兩國ノ國交ニ更ニ敦厚ヲ加ヘ延テ世界ノ平和ニ貢獻スル所頗ル多大ナルヘキヲ信シテ疑ハス茲ニ衆議院ヲ代表シ恭ク歡迎ノ誠意ヲ表ス

衆議院議長 勳二等 川原茂輔

右ニ對スル御挨拶

次ノ會期ニ於テ感謝ノ意ヲ傳ヘラレタシ

(二) 「ジヨツフル」元帥歡迎ノ決議

第四十五回議會 (大正十一年二月一日議決)

歐洲大戰ニ於ケル佛國々民ノ義勇ト「ジヨツフル」元帥ノ偉勳トハ世界ノ平和ヲ促進シ人類ノ福祉ニ貢獻スルモノ大ナリ今ヤ元帥至高ノ使命ヲ齎シテ我カ國ヲ訪ハル兩國ノ交際益親善ヲ加フルハ我カ國民ノ洵ニ慶幸トスル所ナリ衆議院ハ茲ニ元帥ニ對シ特ニ院議ヲ以テ歡迎ノ誠意ヲ表ス

(三) 感謝

(イ) 日滿議定書調印成リタル際帝國全權ニ對スル感謝電報

(昭和七年九月十五日秋田議長ヨリ武藤全權大使宛發)

日滿議定書ノ調印成ル茲ニ本院ヲ代表シテ兩國和親ノ爲メ祝意ヲ表スルト共ニ深く閣下ノ御心勞ヲ謝ス

(ロ) 國際聯盟會議帝國代表ニ對スル感謝、激勵電報並謝電

(昭和七年十二月三日秋田議長ヨリ松岡帝國首席代表宛發)

衆議院ヲ代表シテ帝國代表各位ノ御努力ニ對シ深甚ナル感謝ノ意ヲ表シ併セテ聯盟諸國ヲシテ帝國ノ主張ヲ理解セシメ以テ滿洲國ニ對スル方針ノ貫徹ニ御奮闘アラムコトヲ望ム  
右ニ對スル謝電 (十二月五日受領)

衆議院ヲ代表シテノ御懇電一同感佩、厚ク御禮申上ク、尙一層ノ御指導御鞭撻ヲ乞フ、仰セノ如ク我等一同協心戮力、帝國ノ主張貫徹ニ邁進シ東亞全局ノ平和ニ寄與センコトヲ期ス

松岡洋右

(ハ) 國際聯盟會議帝國代表ニ對スル感謝決議並謝辭

第六十四回議會 (昭和八年一月二十五日議決)

附錄

七 御見舞、歡迎、感謝、慰問及挨拶

(三)



衆議院ハ國際聯盟會議ニ於ケル帝國代表ノ努力ニ對シ深甚ナル謝意ヲ表シ併セテ東洋永遠ノ平和ヲ確立スル爲帝國ノ既定方針ヲ貫徹セラレムコトヲ望ム  
右ニ對スル挨拶

内田外務大臣ノ謝辭

國際聯盟會議ニ於ケル我が代表ニ對シマシテ、只今本院ニ於テ滿場一致ヲ以テ洵ニ鄭重ナル院議ヲ可決セラレマシタコトハ、政府ニ於キマシテモ實ニ感謝ノ至リニ堪ヘマセヌ、右ノ趣ハ直チニ電報ヲ以テ我が代表ニ通達致シマスデゴザリマス、御承知ノ如ク聯盟會議モ只今最モ重要ナル時機ニ際會シテ居リマス折柄デモゴザリマスルカラ、我が代表ハ此院議ニ接シテ必ず感激措ク能ハザルモノガアリマスト存ジマスル必ズヤ十分ノ努力ヲ盡シテ、諸君ノ御期待ニ背カヌヤウニカメルデアラウト信ジマスル、以テ益、我が帝國方針ノ貫徹ニ邁進スルコトヲ私ハ信ジテ疑ヒマセヌ、茲ニ謹ンデ御禮旁御挨拶申上ゲマス

内田外務大臣ノ通牒 (一月二十六日受領)

衆議院ノ感謝決議ニ對スル國際聯盟會議帝國代表ノ答電送付ノ件

一月二十五日附貴信ヲ以テ國際聯盟會議帝國代表ニ對スル衆議院ノ感謝決議ヲ御送付越相成了承致候仍而右ハ早速在壽府帝國代表ヘ打電方取計置キタル處同代表ヨリ別紙ノ通答電接到致候

條右及送付候也

(別紙)

聯盟代表

内田外務大臣

貴電第一四號ニ關シ

左ノ通衆議院議長ニ御傳達ヲ請フ

貴院ノ決議ニ對シ感激ニ堪ヘス尙此ノ上共微力ヲ竭シテ御希望ニ副ハムコトヲ期ス

(二) 倫敦ニ於ケル海軍軍縮會議帝國全權ニ對スル感謝

第六十八回議會 (昭和十一年一月二十一日議決)

衆議院ハ倫敦ニ於ケル海軍軍縮會議ニ於テ帝國全權カ公正妥當ナル不脅威不侵略ノ根本精神ヲ中外ニ闡明シタル努力ニ對シ深甚ナル謝意ヲ表ス  
右ニ對スル挨拶

岡田内閣總理大臣ノ謝辭

只今ハ倫敦ニ於ケル海軍軍縮帝國全權ニ對シ、衆議院ノ院議ニ依リ御懇篤ナル謝辭ヲ寄セラレ

附錄 七 御見舞、歡迎、感謝、慰問及挨拶 (三)

洵ニ感謝ニ堪ヘマセヌ、御趣旨ハ早速全權ニ傳達致スコトニ取計ヒマス、右一言御禮申述ベマ  
ス

(四) 慰問

震災遭難者ニ對スル決議

第四十七回(臨時)議會 (大正十二年十二月十二日議決)

衆議院ハ振古未曾有ノ震災ニ因リ不測ノ慘禍ヲ被リタル内外國民ニ對シ茲ニ院議ヲ以テ滿腔ノ同情ヲ寄セ特ニ幾萬ノ歿死者ニ深甚ナル哀悼ノ意ヲ表ス

(五) 挨拶

伊藤内閣總理大臣負傷セラレタル際ノ慰問(明治二十五年十一月二十九日院議ニ依リ議長往訪)ニ對スル挨拶

第四回議會 (明治二十五年十一月二十九日)

此開院早々ノ時ニ方リ此不幸ニ逢ヒ諸君ニ見ユルヲ得サルハ誠ニ遺憾ノ至ニ候

右ニ付早速諸君ノ御見舞ヲ忝フシ不知所謝次第ニ候何レ快癒早々自身出院ノ折ヲ以テ親シク御禮可致候幸ニ此意ヲ諒セラレンコトヲ冀フ

## 八 弔詞及通牒

### (一) 皇族及王族薨去ノ場合

第八回議會 (明治二十八年一月二十四日)

衆議院ハ陸軍大將大勳位熾仁親王殿下ノ薨去ヲ追悼シ奉リ恭シク弔詞ヲ奉呈ス

(明治二十八年十一月五日)

衆議院ハ陸軍大將大勳位能久親王殿下ノ薨去ヲ追悼シ奉リ恭シク弔詞ヲ奉呈ス

(明治四十二年十二月十一日)

衆議院ハ陸軍大將大勳位能久親王殿下ノ薨去ヲ追悼シ奉リ恭シク弔詞ヲ奉呈ス

(大正二年七月十二日)

衆議院ハ議定官元帥海軍大將大勳位功三級威仁親王殿下ノ薨去ヲ哀悼シ奉リ恭ク弔詞ヲ奉呈ス

第四十一回議會 (大正八年一月二十五日)

衆議院ハ大勳位李太王殿下薨去ノ報ニ接シ哀悼ノ至ニ勝ヘス茲ニ本院ノ決議ヲ以テ恭ク弔意ヲ表

ス

(大正十一年七月三日)

衆議院ハ議定官元帥海軍大將大勳位功三級依仁親王殿下ノ薨去ヲ哀悼シ奉リ恭ク弔詞ヲ奉呈ス

第四十六回議會 (大正十二年二月六日)

衆議院ハ元帥陸軍大將大勳位功二級貞愛親王殿下ノ薨去ヲ哀悼シ奉リ恭ク弔詞ヲ奉呈ス

(大正十二年四月四日發電)

衆議院ヲ代表シ謹テ成久王殿下ノ薨去ヲ哀悼シ奉リ妃殿下竝鳩彦王殿下ノ御快癒ヲ祈リ奉ル右夫

夫言上ヲ乞フ(大正十二年六月八日御喪儀當日眞禰一對贈呈)(附錄七ノ(一)ノ(ロ)參看)

(大正十五年四月二十七日)

謹テ李王殿下ノ薨去ヲ哀悼シ奉ル

(大正十五年六月十日)

衆議院ハ大勳位李王殿下ノ薨去ヲ哀悼シ奉リ恭ク弔詞ヲ奉呈ス(國葬儀當日眞禰一對贈呈)

第五十六回議會 (昭和四年一月二十八日)

衆議院ハ元帥陸軍大將大勳位功四級邦彦王殿下ノ薨去ヲ哀悼シ奉リ恭ク弔詞ヲ奉呈ス(二月三日御

喪儀當日眞禰一對贈呈)

## (二) 外國皇帝崩御ノ場合

第十五回議會 (明治三十四年二月二日議決)

衆議院ハ深ク大不列顛國皇帝ヅキクトリヤ陛下ノ崩御ヲ哀悼シ特ニ本日休會ス

右ニ對スル加藤外務大臣ヨリノ通牒

(二月十四日附ノ分)

故英國皇帝陛下御大葬ノ日貴院ニ於テ哀悼ノ意ヲ表シ休會セラレタルコトハ當時駐劄林特命全權公使ニ電報シテ同國政府ニ通知ニ及ハシメ候處右ノ件ニ關シ英國新皇帝陛下ノ最モ深厚ナル謝意傳致方別紙譯文ノ通二月九日附ヲ以テ同國外務大臣ヨリ申越候趣林公使ヨリ電報有之候ニ付此段及御通知候也

(電信譯文)

日本國貴族院及衆議院ハ故皇帝ノ紀念ノ爲メ陛下ノ大葬日ニ於テ休會セラレ以テ同情及尊敬ヲ表セラレタルハ皇帝ニ於テ最モ深く感謝セラレタル所ナリ本大臣ハ此懇篤ナル感情及尊敬ノ自然的發動ニ對シ陛下ノ最モ深厚ナル謝意ヲ閣下ヨリ其筋へ傳致セラレンコトヲ冀望ス

(五月二十七日附ノ分)

在本邦英國公使ハ曩ニ故英國皇帝陛下御大葬ノ當日帝國議會カ兩院同時ニ痛悼ノ意ヲ表彰スルノ決議案ヲ通過シ尙同日特ニ休會シテ築地「トリニテイ」教會堂ニ於テ執行セラレタル弔祭式ニ代表者ヲ列席セシメタル次第ヲ本國政府ニ報告ニ及ヒタル處同國外務大臣ハ右報告ヲ新皇帝陛下ヘ奏上ニ及ヒタル趣ニテ陛下ハ之ニ就キ帝國議會カ故陛下ニ對シ表彰シタル深厚ナル敬意ヲ嘉納セラレ且ツ今帝竝ニ陛下ノ臣民ノ愁傷ニ對シ日本全國民カ一般痛惜ノ意ヲ表シタルコトヲ御承知相成リ深ク感動セラルルニ付其旨本邦英國公使ヲ經テ其向ヘ相通シ候様外務大臣ヘ勅命アリタル趣ニテ同公使ヨリ右ノ聖意ヲ閣下竝ニ貴院議員諸君ニ相通シ候様本大臣マテ依頼申出候間右御承知ノ上夫、通達方可然御取計相成度此段申進候敬具

第六十五回議會 (昭和九年三月一日議決)

衆議院ハ深ク白耳義國皇帝アルベル第一世陛下ノ崩御ヲ哀悼ス

右ニ對スル重光外務次官ヨリノ通牒 (四月十三日附)

白國皇帝「アルベル」第一世陛下崩御ニ付表弔決議ニ關スル件

曩ニ白國皇帝「アルベル」第一世陛下崩御ニ付弔意ヲ表セムカ爲貴院ニ於テ決議相成タル次第ハ當時直チニ在同國有田大使ヘ電報シ同國政府ヘ傳達方取計置キタル處今般同國外務大臣ヨリ右貴

院ノ弔意ニ對シ同國政府竝國民ノ深甚ナル謝意ヲ貴院ヘ傳達アリ度旨依頼越ノ次第有之タル趣同大使ヨリ報告アリタルニ付右様御承知相成度此段申進ス

(昭和九年十月十日) 秋田議長ヨリ「ユトゴースラヴィア」國クマヌデイ下院議長宛電報

謹テ貴國國王陛下ノ崩御ヲ哀悼ス

右ニ對スル謝電 (十月十三日著)

ユトゴースラヴィア國下院ハ閣下ヲ通シ友邦日本國民ニ對シ御弔電ニ謹テ謝意ヲ表ス

第六十八回議會 (昭和十一年一月二十一日議決)

衆議院ハ謹ミテ大不列顛國皇帝ジョージ第五世陛下ノ崩御ヲ哀悼ス

右ニ對スル重光外務次官ヨリノ通牒 (二月六日附)

英國皇帝陛下崩御ニ付貴衆兩院ノ弔意表彰ニ關スル件

本件ニ關シ客月二十一日附貴信ヲ以テ御申越ノ趣了承依テ右ノ次第ハ早速在英藤井臨時代理大使ヘ電報ノ上英國政府ヘ傳達方訓令致置キタル處今般同臨時代理大使ヨリ別紙寫ノ通電報アリタルニ付委細右ニ御承知相成度此段申進ス

(別紙)

藤井臨時代理大使

廣田外務大臣

當國皇帝陛下ヨリ貴衆兩院ノ懇切ナル弔意ニ對スル深甚ナル感謝ノ意ヲ傳達方御下命アリタル旨一月三十一日附ヲ以テ外務大臣ヨリ申越アリタリ

(三) 元勳其ノ他ノ逝去ノ場合

第一回議會 (明治二十四年二月十九日)

衆議院ハ明治ノ元勳國家ノ柱石タル内大臣正一位大勳位公爵三條實美公ノ訃音ニ接シ痛惜哀悼ノ至ニ耐ヘス恭ク茲ニ弔詞ヲ呈ス

第八回議會 (明治二十八年二月二十二日)

衆議院ハ忠勇ナル陸軍少將從四位勳三等大寺安純君戰死ノ訃音ニ接シ哀悼ノ至ニ耐ヘス茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

第十三回(特別)議會 (明治三十二年一月二十五日)

本院ハ國家ニ功勳アル樞密顧問官正二位勳一等伯爵勝安芳君ノ訃音ニ接シ哀悼ノ至ニ耐ヘス茲ニ

弔詞ヲ呈ス

第十五回議會 (明治三十四年二月七日)

衆議院ハ夙ニ開國ノ說ヲ唱ヘカヲ教育ニ致シタル福澤諭吉君ノ訃音ニ接シ茲ニ哀悼ノ意ヲ表ス

第二十一回議會 (明治三十八年二月四日)

衆議院ハ國家ニ勳功アル樞密顧問官正二位勳一等伯爵副島種臣君ノ薨去ヲ聞キ哀悼ノ至ニ堪ヘス茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

同議會 (明治三十八年二月十四日)

衆議院ハ戰功顯著ナル陸軍中將從三位勳一等功三級松村務本君ノ薨去ヲ追悼シ茲ニ弔意ヲ表ス (明治四十二年十一月四日)

樞密院議長從一位大勳位公爵伊藤博文君薨去セラル

公夙ニ皇政維新ノ大業ヲ贊襄シ開國進取ノ國是ヲ翼立シ入りテハ大鼎ヲ鹽梅シ出テテハ樽俎ニ折衝シ常ニ國運ノ興隆ヲ扶ケ文明ノ進歩ト平和ノ確保ニ心力ヲ注キ蹇々匪躬五十年殊ニ公カ千歳不磨ノ憲法ヲ起草シ其ノ濟美ヲ盡瘁セラレタルハ國民ノ齊シク仰視スル所ナリ今ヤ老軀遙カニ滿洲ニ入り更ニ大ニ貢獻スル所アラムトシ不幸韓人ノ凶手ニ殞ル衆議院ハ國家ノ柱石ヲ喪ヒ哀悼已ムナシ茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

第三十一回議會 (大正三年三月七日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ且本院議長ノ職務ニ執掌セラレタル司法大臣正二位勳一等男爵松田正久君ノ薨去ヲ哀悼シ特ニ院議ヲ以テ恭ク弔詞ヲ呈ス

(大正四年九月四日)

衆議院ハ國家ニ勤勞アル維新史料編纂會總裁臨時編修局顧問貴族院議員從一位大勳位侯爵井上馨君ノ薨去ヲ聞キ哀悼ノ至ニ堪ヘス茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

(大正五年十二月十日)

衆議院ハ國家ノ元勳タル議定官内大臣元帥陸軍大將從一位大勳位功一級公爵大山巖君ノ訃音ニ接シ哀悼ノ至ニ堪ヘス茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

(大正八年七月十九日)

衆議院ハ維新ノ鴻業ニ贊襄シ憲政ノ興隆ニ盡瘁セラレタル從一位勳一等伯爵板垣退助君ノ薨去ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

第四十五回議會 (大正十一年一月十七日)

衆議院ハ夙ニ維新ノ鴻業ニ參シ屢輔弼ノ重任ニ膺リ憲政ノ發達文化ノ進展ニ貢獻セラレタル國家ノ元勳從一位大勳位侯爵大隈重信君ノ薨去ヲ哀悼シ茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

同議會 (大正十一年二月七日)

議定官樞密院議長元帥陸軍大將從一位大勳位功一級公爵山縣有朋君薨去セラル  
君至誠純忠夙夜寒々心ヲ國事ニ勞シ文ニ武ニ勳績炳耀タリ衆議院ハ其ノ訃報ニ接シ哀悼ノ至ニ勝ヘス茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

(大正十二年八月二十七日)

衆議院ハ多年輔弼ノ重任ニ膺リ現ニ内閣ノ首班タル元帥海軍大將正二位大勳位功二級子爵加藤友三郎君ノ薨去ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

第四十九回(特別)議會 (大正十三年七月八日)

衆議院ハ屢輔弼ノ重任ニ膺リ殊ニ財政ニ貢獻セラレタル國家ノ元勳從一位大勳位公爵松方正義君ノ薨去ヲ哀悼シ茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

(大正十三年九月十二日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ再度本院議長ノ職務ニ執掌セラレタル從四位勳一等奧繁三郎君ノ長逝ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

第五十一回議會 (大正十五年二月一日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ屢輔弼ノ重任ニ膺リタル内閣總理大臣正二位大勳位伯爵加藤高

明君ノ薨去ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス(生花一對贈呈)

第五十六回議會 (昭和四年三月二十五日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ嘗テ本院議長ノ職務ニ執掌セラレタル貴族院議員正四位勳二等杉田定一君ノ長逝ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

(昭和四年十月三日)

衆議院ハ屢、輔弼ノ重任ニ膺リ前ニ内閣ノ首班タリシ立憲政友會總裁貴族院議員陸軍大將正二位勳一等功三級男爵田中義一君ノ薨去ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス(花環一箇贈呈)

第六十二回(臨時)議會 (昭和七年六月二日)

衆議院ハ戰功顯著ナル上海派遣軍司令官陸軍大將從二位勳一等功三級男爵白川義則君ノ不慮ノ慘禍ニ罹リ薨去セラレタルヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス(眞樺一對贈呈)

(昭和七年十二月六日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ嘗テ本院議長ノ職務ニ執掌セラレタル京都市長從四位勳二等森田茂君ノ長逝ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス(花環一箇贈呈)

(昭和八年八月七日)

衆議院ハ關東軍司令官兼特命全權大使關東長官元帥陸軍大將正二位勳一等功二級男爵武藤信義君

ノ薨去ヲ哀悼シ茲ニ恭シク弔意ヲ表ス(眞樺一對贈呈)

(昭和八年十一月十二日)

衆議院ハ多年輔弼ノ重任ニ膺リ再度内閣ノ首班タリシ海軍大將從一位大勳位功一級伯爵山本權兵衛君ノ薨去ヲ哀悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス(眞樺一對贈呈)

(昭和九年六月二日)

衆議院ハ赫赫タル武勳以テ皇國ノ興隆ニ貢獻シ偉大ナル人格以テ一世ノ儀表タル議定官元帥海軍大將從一位大勳位功一級侯爵東郷平八郎君ノ薨去ヲ哀悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス(眞樺一對贈呈)

第六十七回議會 (昭和十年三月二日)

衆議院ハ我カ國文化ノ發達ニ貢獻セラレタル文學博士坪内雄藏君ノ長逝ヲ哀悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス

(昭和十一年三月二十二日) 第十九(臨時)總選舉後、第六十九回(特別)議會召集前

衆議院ハ多年輔弼ノ重任ニ膺リ曩ニ内閣ノ首班タリシ内大臣海軍大將從一位大勳位功二級子爵齋藤實君ノ薨去ヲ哀悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス(花環一箇贈呈)

(昭和十一年三月二十六日) 第十九(臨時)總選舉後、第六十九回(特別)議會召集前

衆議院ハ元本院議員ニシテ屢、輔弼ノ重任ニ膺リ曩ニ内閣ノ首班タリシ大藏大臣正二位大勳位高



橋是清君ノ薨去ヲ哀悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス(花環一箇贈呈)

(昭和十二年五月二十五日) 第二十(臨時)總選舉後、第七十二回(特別)議會召集前

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ嘗テ本院議長ノ職務ニ執掌セラレタル正五位勳二等中村啓次郎君ノ長逝ヲ哀悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス(花環一箇贈呈)

#### (四) 議員ノ逝去ノ場合

第一回議會 (明治二十三年十二月二十三日)

衆議院議員ハ議員法貴發君ノ長逝ヲ追悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス

第二回議會ヨリハ前文中ノ「衆議院議員」ヲ「衆議院」ニ改メ位勳アレハ之ヲ記入シ第十八回議會ヨリハ「追悼」ヲ「哀悼」ニ「恭シク」ヲ「恭ク」ニ改メ又第六十二回議會ヨリハ第十八回議會ニ改メタル「恭ク」ヲ「恭シク」ト改ム爾來之ヲ以テ例トス依テ例文ニ依リタルモノハ之ヲ略ス

現在ノ文例ヲ示セハ左ノ如シ

衆議院ハ議員(官位勳)某君ノ長逝ヲ哀悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス

普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈リタル場合左ノ如シ

(明治三十四年六月二十一日)

衆議院ハ議員星亨君ノ不慮ノ慘禍ニ罹リ長逝セラレタルヲ追悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス

(明治三十六年十月三十一日)

衆議院ハ多年帝國議會ノ爲ニ盡瘁シ且本院議長ノ職務ニ執掌セラレタル衆議院議長正四位勳三等片岡健吉君ノ長逝ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

(明治四十四年十月四日)

衆議院ハ多年帝國議會ノ爲ニ盡瘁シ且本院議長ノ職務ニ執掌セラレタル議員正四位勳三等法學博士鳩山和夫君ノ長逝ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

第三十一回議會 (大正三年三月十七日)

衆議院ハ帝國議會開設以來常ニ議席ニ列シ再度議長ノ職ニ勤勞セラレタル衆議院議長從三位勳二等長谷場純孝君ノ薨去ヲ哀悼シ本院ノ決議ヲ以テ恭ク弔詞ヲ呈ス(生花一對、花環一箇贈呈)

(大正十年十一月六日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ屢、輔弼ノ重任ニ膺リ現ニ内閣ノ首班タル議員正二位大勳位原敬君ノ不幸兇手ニ罹リ薨去セラレタルヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

(大正十二年十一月十六日)

衆議院ハ帝國議會開設以來常ニ議席ニ列シ嘗テ本院議長ノ職務ニ執掌セラレタル議員從四位勳二

等島田三郎君ノ長逝ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス(花環一箇贈呈)

第四十八回議會 (大正十三年一月四日)

衆議院ハ帝國議會開設以來常ニ議席ニ列シ嘗テ本院議長タリシ議員從三位勳一等河野廣中君ノ薨去ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス(花環一箇贈呈)

第五十回議會 (大正十四年二月七日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁セラレタル議員司法大臣從三位勳一等横田千之助君ノ薨去ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス(生花一對贈呈)

(大正十五年九月十五日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁セラレタル議員大藏大臣從三位勳一等早速整爾君ノ薨去ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス(生花一對贈呈)

第五十二回議會 (昭和二年二月二十四日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ屢輔弼ノ重任ニ膺ラレタル議員正三位勳一等野田卯太郎君ノ薨去ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス(花環一箇贈呈)

第五十六回議會 (昭和四年三月六日)

衆議院ハ議員山本宣治君ノ不慮ノ慘禍ニ罹リ長逝セラレタルヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

(昭和四年五月二十日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁セラレタル衆議院議長從四位勳二等川原茂輔君ノ長逝ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス(五月二十二日告別式當日唐金常明燈籠臺附一對贈呈)

第五十八回議會 (昭和五年五月六日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ再度本院議長ノ職務ニ執掌セラレタル議員從四位勳一等柏谷義三君ノ長逝ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス(花環一箇贈呈)

(昭和六年八月二十九日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ屢輔弼ノ重任ニ膺リ前ニ内閣ノ首班タリシ議員正二位勳一等濱口雄幸君ノ薨去ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス(眞樺一對贈呈)

(昭和七年五月十九日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ帝國議會開設以來常ニ議席ニ列シ屢輔弼ノ重任ニ膺リ現ニ内閣ノ首班タル議員正二位勳一等犬養毅君ノ不幸兇手ニ罹リ薨去セラレタルヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス(花環一對贈呈)

第六十四回議會 (昭和八年二月七日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ屢輔弼ノ重任ニ膺ラレタル議員正三位勳二等秦豊助君ノ薨去ヲ

哀悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス(花環一箇贈呈)

第六十五回議會 (昭和八年三月二十五日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ屢、輔弼ノ重任ニ膺リタル議員正三位勳一等中橋徳五郎君ノ薨去ヲ哀悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス(花環一箇贈呈)

第六十七回議會 (昭和十年一月二十二日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁セラレタル議員正五位勳三等高木正年君ノ長逝ヲ哀悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス

(昭和十年九月十一日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ屢、輔弼ノ重任ニ膺ラレタル議員遞信大臣從二位勳一等床次竹二郎君ノ薨去ヲ哀悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス(眞幀一對贈呈)

(昭和十二年五月十一日) 第二十回(臨時)總選舉後、第七十一回(特別)議會召集前

多年憲政ノ爲ニ盡瘁セラレタル衆議院議員從四位勳二等菅原傳君ノ長逝ヲ哀悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス

## 九 議長、副議長、假議長ノ挨拶及議員ノ祝辭、謝辭

### (一) 議長、副議長、假議長就職ノ挨拶及年長議員ノ祝辭

第一回議會 (明治二十三年十一月二十七日)

議長中島信行君 諸君ノ推薦ヲ深ク感謝致シマス是ヨリ憲法及議院法ヲ確守シテ我職ヲ盡サウト思ヒマス

副議長津田眞道君 私ハ年ヲ取リマシテ甚ダ此ノ任ニ堪ヘナイカト考ヘマスケレドモ諸君ノ御推薦ヲ蒙リ且ツ 天皇陛下ノ重キ任命ヲ蒙リマシタカラ副議長ノ任ニ就キマスデ御座イマス極メテ賤劣ノ者デ御座イマスカラ何分諸君ノ御協賛ヲ得ナクテハナリマセヌ故ニどうか諸君ノ御協賛ヲ願ヒタイト思ヒマス

年長者増田繁幸君 最年長者遠藤君ハ事故アルニ依リ私ハ次ノ年長者デアリマスルカラ茲ニ議長副議長ノ御任命アリシニ際シ代リテ聊カ其ノ健康ヲ祝シ一言祝詞ヲ呈シマス——議長君副議長君——議長副議長ハ議院ヲ代表スル榮譽アル職デアリマスガ兩貴下ハ多數ノ推薦ニヨリ候補ノ投票ニ多數ヲ得ラレ而シテ 天皇陛下ハ我ミノ希望ヲ容レテ速ニ兩貴下ヲ勅選シ給ヒシハ我ミ

ノ太ダ満足スル所デアリマス茲ニ一同ニ代ッテ祝詞ヲ述ベマス

第三回(特別)議會 (明治二十五年五月四日)

議長星亨君 諸君私ハ諸君ノ推薦ニ依リ而シテ 陛下ノ勅裁ヲ得テ即チ茲ニ議長ノ重職ニ就キマシテ私ノ極メテ榮譽ト致ス所デゴザイマス而シテ私ハ自由黨員デゴザイマス然レドモ議長ノ職ハ——議長ハ即チ全院ノ推ス所デアリ全院ノ輿論ヲ代表スル所デアリマス左スレバ公平ヲ主トシナケレバナラヌコトデアリマス依テ私ハ議長ノ職ヲ執ルニ方ッテハ黨派ノ如何ニ關係セズ彼是ニ偏倚スルコトナク公平ニ事ヲ處スル積リデゴザイマス或ハサウ云フ心デゴザリマスケレドモ人ト云フモノハ隨分過チナシト言ハレナイモノデゴザリマスカラ萬一偏倚スル様ナコトガゴザリマシタナラバ即チ諸君ニ於テハ御遠慮ナク其處ハイカナイ斯ウシタラ宜カラウト云フコトヲ御遠慮ナク仰シヤッテ貫ヒタイト考ヘマスサウシテ此議長ノ職ヲ行フニ當ッテハ即チ諸君ノ協贊ヲ經ナケレバナラヌコトデゴザイマスカラシテ若シサウ云フコトガアッタナラバ私ハ即チ過ヲ改ムルニハ一向吝カナイ即チドシノヤル積リデアリマス因テ聊カ謝辭ヲ述ベマシタ譯デゴザリマス

副議長曾彌荒助君 諸君私ハ圖ラズモ副議長ノ任ヲ受クルニ至リマシタ何卒宜ク御願申シマス  
年長者安東九華君 本員ハ最高年者ノ故ヲ以チマシテ諸君一同ニ代リマシテ議長副議長ノ任命ニ

付キマシテ聊カ祝詞ヲ述ベマス議長副議長ノ榮職タルコトハ今更喋々ヲ要シマセヌ 天皇陛下ニ於キマシテ本院ノ多數ノ推薦ニ因リマシテ兩貴下ヲ議長及副議長ニ勅任シ給ヒマシタ誠ニ我々感謝ノ至リニ堪ヘザル所デアリマス仍テ兩貴下ノ榮任ヲ賀シマシテ聊カ祝詞ヲ呈シマス

第五回議會 (明治二十六年十一月二十七日)

副議長楠本正隆君 茲ニ謹デ皆サマニ御挨拶ヲ申上ゲマス今般衆議院副議長ノ勅任ノ宣下ヲ蒙リマシテゴザイマス是レ全ク諸君ガ御推薦ノ結果デゴザイマシテ一層光榮ニ存ジマスデゴザイマス茲ニ於テハ不肖ヲ願ミズ正ヲ履ミ情ニ泥マズ公平ヲ以テ諸君ノ御高德ニ應ヘ此ノ職ヲ保ツノ覺悟デゴザイマス諸君モ亦宜シク懇ニ御教授ヲ爲シ下サランコトヲ偏ニ冀上ゲ置キマス  
年長者安東九華君 私ハ一日諸君ニ長タルヲ以テ諸君一同ニ代ハリマシテ祝詞ヲ述ベヤウト存ジマス從三位勳二等楠本正隆君ハ本院多數ノ投票ヲ以チマシテ此ノ衆議院副議長ニ當選セラレマシタ素ヨリ副議長ノ榮職タルコトハ敢テ喋々ヲ俟チマセヌ 天皇陛下ニ於キマシテモ議院多數ノ推薦ニ依リマシテ早速ニ任命アラレマシテゴザリマス誠ニ満足ノ至リデゴザリマス依ッテ國家ノタメ楠本正隆君ノタメニ聊カ祝詞ヲ呈シマス

第五回議會 (明治二十六年十二月十五日)

議長楠本正隆君 諸君御挨拶ヲ申上グベキコトガゴザリマスケレドモ此席ヲ保ツベキ仁ガゴザリ

マセヌカラ此席ヨリ御挨拶ヲ申上ゲマスデゴザリマス本日ハ不肖正隆衆議院議長ノ勅任宣下ノ榮ヲ蒙リマシテゴザリマス就キマシテ將來益々勉勵以テ諸君推薦ノ御厚意ニ對フルノ外ハゴザリマセヌ宜シク御頼ミ申上ゲマス

年長者佐藤昌藏君 祝詞ヲ述ベマス本員ハ年長ノ故ヲ以テ三百議員ニ代リマシテ祝詞ヲ述ベマス楠本正隆君ハ衆ノ推ス所ニ依テ高點ヲ得ラレ 皇帝陛下ニ於テハ速ニ衆望ヲ御容レニナリマシテ今日ノ勅命デゴザリマシタハ誠ニ我々ノ満足ニ堪ヘマセヌ所デ楠本君ノ爲メニ祝詞ヲ述ベマス

#### 同議會 (明治二十六年十二月二十九日)

副議長安部井磐根君 不肖磐根去ル二十日ヲ以チマシテ衆議院副議長勅任ノ宣下ヲ蒙リマシタ此段御吹聴ニ及ビマス茲ニ端ヲ更メテ御挨拶ニ及ビマス當職ハ時トシ議長ノ職務ヲ代理スベキタメ院ニ備フルモノデゴザイマシテ不肖磐根ノ如キノ當ルベカラザルコトハ自ラモ信ジテ疑ヒマセヌ然レドモ衆望ヲ集ムル公選ノ重キ衆望ヲ容レサセラレシ 宣下ノ畏キ否ミ奉ルベキ様モゴザイマセヌ故ニ御受ヲ申上ゲマシテ退テ自ラ願ミマスルニ從來短才無識ノ上ニ老衰日ニ加ハリ氣力モ亦日ニ乏シウゴザイマスカラ此上ハ一層奮發一層勉勵而カモ勉メテ嚴格ニ事ニ從フ覺悟デハゴザイマスケレドモ其間豈ニ過ナキヲ得ンヤ多々過モアラント心苦シキ次第デゴザイ

マス從テ特ニ切ニ諸君ニ望ム諸君ハ磐根ガ職務ヲ行フニ當リ指揮ニ論ナク號令ニ異議ナク苟モ其ノ當宜シキヲ失スルアラバ温顔假サズ之ヲ責メ之ヲ矯メテ成ルベク正ニ復シ以テ甚シキ失體ナカラヌ様ニ御注意アランコトヲ是レ磐根一己ノタメニ望ムデハゴザイマセヌ實ニ我衆議院ノ體面ノタメニ望ムノデゴザイマス各位諸君願クバ此愚言ヲ容レラレンコトヲ敢テ豫メ懇請シマス

#### 第六回(特別)議會 (明治二十七年五月十四日)

議長楠本正隆君 諸君不肖正隆ハ一昨十二日衆議院議長 勅任ノ宣下ヲ蒙リマシテゴザイマス是ハ全ク諸君ガ推薦ノ御厚意ニ依リマシタル結果ナルコトハ申上ゲルマデモゴザイマセヌ抑モ第六期ノ議會ハ解散後ノ議會デゴザイマシテ最モ大切ナル議會デゴザイマス此議會ヨリシテ不肖正隆ガ議場整理ノ大任ヲ荷ヒマスルノハ諸君ニ謝スルト共ニ無上ノ光榮デゴザイマス就テハ益々注意精勵致シテ本職ノ事實ヲ舉ゲマシテ諸君ノ御厚意ニ應ヘマスル覺悟デゴザイマス謹デ此ニ謝辭ヲ申シマス

副議長片岡健吉君 諸君不肖健吉ハ諸君ノ御推薦ニ依リマシテ一昨十二日衆議院副議長ノ勅任ノ宣下ヲ蒙リマシタルノハ誠ニ光榮ニ存ジマス併シ不學短才ノ身此ノ榮譽アル重職ニ堪ヘザラシコトヲ恐レマス何卒諸君ハ健吉ノ至ラザル所ハ御注意下サレマシテ切ニ諸君ノ御幫助ヲ冀望

致シマスノデアリマス聊カ謝辭ヲ呈シマス

年長者安東九華君 私ハ年長タル故ニ祝詞ヲ述ベヤウト思ヒマス楠本正隆君片岡健吉君ハ本院多數ノ推薦ニ依リマシテ正副議長ノ任命ヲ蒙リマシテ誠ニ本院一同満足ノ至リデゴザイマス因テ楠本正隆君片岡健吉君兩君ノタメニ祝詞ヲ呈シマス

第七回(臨時)議會 (明治二十七年十月十六日)

議長楠本正隆君 諸君昨十五日ニ於テ衆議院議長勅任ノ恩命ヲ蒙リマシタ今ヤ懸軍征清ノ秋ニ當リ又總選舉後初メテノ議會ニ際シ極メテ大切ナル時ニ於キマシテ議場整理ノ任ヲ擔ヒマスルノハ一層光榮ニ存ジマスル就キマシテハ不行届ナガラ誠心誠意ヲ注ギ職務ヲ勵ミ法律規則ニ依ツテ公平ヲ期シ以テ諸君ガ御推薦ノ厚意ニ對ヘマスル覺悟ヲ致シマシテゴザイマス茲ニ議長ノ職ニ就キマスルノ披露ニ併セテ謹デ諸君ニ御禮ヲ申上ゲマス

副議長島田三郎君 諸君ノ御推薦ニ依リマシテ副議長ノ任命ヲ辱ウ致シマシタ甚ダ不行届デゴザイマスカラ萬事御助成ヲ願ヒマス御挨拶ヲ……

年長者寺田彦太郎君 私ハ年長ニ依リマシテ祝詞ヲ述ベヤウト思ヒマス楠本正隆君島田三郎君ハ本院多數ノ推薦ニ依リマシテ正副議長ノ任命ヲ蒙ラレマシタ誠ニ本院一同満足ノ至リデゴザイマス依ツテ楠本正隆君島田三郎君兩君ノタメ祝詞ヲ呈シマスル

第十回議會 (明治二十九年十二月二十三日)

議長鳩山和夫君 前例ニ依リマスルト副議長ノ紹介ノ後ニ議席ニ著ク譯ニナツテ居リマスルガ副議長ハ少シク差障リガアリマスルデ始メカラ議席ニ著イテ自分デ紹介致シマス諸君ノ御推薦ニ依リマシテ昨日此ノ辭令書ヲ受ケマシテゴザイマス即チ

從五位法學博士 鳩山 和夫

議院法第三條ニ依リ衆議院議長ニ任ス

明治二十九年十二月二十二日

内閣總理大臣從二位勳一等

伯爵 松方 正義奉

茲ニ御報告ヲ申上ゲマス尙ホ申スマデモナイコトデゴザリマスガ就職中ハ法律規則ノ命ズル所ニ依リマシテ誠實ニ其職務ヲ盡ス積リデアリマス

年長者寺田彦太郎君 私ハ年長デゴザイマスルノデ祝詞ヲ述ベヤウト思ヒマス鳩山和夫君ハ本院多數ノ推薦ニ依リマシテ衆議院議長ノ任命ヲ得ラレマシテ誠ニ本院ノ満足スル所デゴザイマスル因テ鳩山和夫君ニ祝詞ヲ呈シマス

第十二回(特別)議會 (明治三十一年五月十七日)

附錄 九 議長副議長假議長ノ挨拶及議員ノ祝辭、謝辭 (一)

議長片岡健吉君 諸君不肖健吉ハ諸君ノ御推薦ニ依リマシテ昨十六日衆議院議長ノ宣下ヲ蒙リマシテゴザイマス誠ニ私ノ光榮ニ存ジマス然ルニ不肖ノ身ヲ以テ此重職ヲ瀆シマスノハ其職務ニ堪エザルコトヲ深ク恐レルノデアリマス私ハ誠實ニ其職務ヲ努メマスルノ心得デアリマスルガ私ノ至ラザル所ハ何卒諸君ノ御補助アランコトヲ希望致シマス

副議長元田肇君 私ハ諸君ノ御推薦ヲ辱ウ致シマシテ昨日衆議院副議長ニ勅任ノ命ヲ賜ハリマシタ御好意ニ對シマシテ感謝致シマス御承知ノ通りノ私デゴザリマスルカラシテ議長片岡君ニ副トナリマシテ自分ノ出來ル限リハ公平ニ致シマスル考デアリマス宜シク

年長者寺田彦太郎君 私ハ年長デゴザイマスルデ祝詞ヲ述ベヤウト思ヒマス帝國議會モ歲月ヲ重ネマシテ既ニ十二議會トナリマシタ稍々經驗ノ度ヲ重ネマシタ今ヤ國家内外多事ニゴザイマス施政ノ整理スベキモノ國家ノ經綸ノ立ツベキモノ多々益有望ナル本議會ニ當リマシテ本院多數ノ推薦ヲ以テ議長片岡健吉君副議長元田肇兩君ノ任命アラレマシタルハ誠ニ本院ノ満足スル所デアリマス因テ祝詞ヲ呈シマス

### 第十三回(特別)議會 (明治三十一年十一月十日)

議長片岡健吉君 諸君不肖健吉ハ諸君ノ御推薦ニ依リ衆議院議長 宣下ノ榮ヲ辱ウスルニ至リマシタルノハ深ク感激スル所デゴザイマス就キマシテハ不學短才ヲモ願ミマセズ偏ニ諸君ノ御補

助ニ依リマシテ其職務ヲ盡サウト思ヒマス諸君幸ニ此意ヲ諒セラレンコトヲ願ヒマスル

副議長元田肇君 諸君私モ圖ラズ諸君ノ御推薦ヲ辱ウ致シマシテ昨日衆議院副議長ニ勅任セララルノ光榮ヲ荷ヒマシテゴザイマス就キマシテハ御承知ノ通りノ不肖ナ者デゴザイマスルガ謹デ法律規則ヲ恪守致シマシテ職責ヲ完ウセンコトヲ期シマス爰ニ謝辭ヲ述ベマス

年長者寺田彦太郎君 私ハ年長デゴザイマスルデ祝詞ヲ述ベヤウト思ヒマス議長片岡健吉君副議長元田肇君兩君ニ本院多數ノ推薦ヲ以テ任命アラレマシタルハ誠ニ本院議員ノ満足スル所デアリマス之ヲ祝シマスル

### 第十七回議會 (明治二十五年十二月八日)

議長片岡健吉君 諸君不肖健吉ハ昨七日衆議院議長ノ 宣下ヲ蒙リマシタ再度議長ノ職ニ就キマスルノハ誠ニ私ノ光榮デアリマシテ深ク諸君ニ謝シマス然ルニ非才ノ身ヲ以テマシテ此重任ニ當リマスルノハ其職責ヲ盡ス上ニ於テ竊ニ私ノ憂惧スル處デアリマス唯私ハ誠心誠意以テ此職務ヲ行フ考デアリマス幸ニシテ諸君ノ御補助ヲ得マシテ其職務ヲ全ウスルコトヲ得マスルナラバ私ノ幸甚デアリマスル此一言ヲ以テ諸君ニ謝辭ヲ述ベマス

副議長元田肇君 私モ諸君ノ御推薦ニ依リマシテ昨日衆議院副議長ノ任命ヲ辱ウ致シマシタ御承知ノ通り甚ダ不肖ノ者デアリマスルガ諸君ノ御贊助ニ依リマシテ自分ノ職責ヲ盡シマスル考デア

アリマスル何分共ニ宜シク願ヒマス

年長者富永發叔君 議長片岡健吉君副議長元田肇君私ハ本議院ノ年長者デアリマスル故ニ諸君ニ代リマシテ議長副議長ノ御任命ニナリマシタル祝詞ヲ一言致サント欲シマスル議長副議長ハ本院ヲ代表セラレマスル最モ榮譽アル重大ノ職務デアルト申スコトハ私ノ喋々ヲ待タヌ所デゴザイマスル兩君ニハ從前議長副議長ノ椅子ヲ占メラレマシテ老練熟達ニシテ公平ニ議事ヲ整理ナサレマスルコトハ吾々ガ明カニ承知シテ居ル次第デゴザイマス而シテ此度ハ總選舉後初メテノ議會殊ニ國家經綸ノ上ニ於キマシテ重要ナル問題モ將ニ現ハレントスル時ニ方リマシテ兩君ニハ本議院ノ最多數ノ推薦ニ依リマシテ昨日議長副議長ノ御任命ニナリマシタルノハ吾々ノ深く満足致ス所デゴザイマスル茲ニ兩君ニ對シマシテ一言ノ祝詞ヲ呈シマスル

第十八回(特別)議會 (明治三十六年五月十一日)

(議長片岡健吉君ハ病氣闕席ノ爲就職ノ辭ナシ)

副議長杉田定一君 私ハ今般諸君ノ御推薦ニ依リマシテ一昨日副議長ノ任命ヲ辱ウ致シマシタル誠ニ光榮ノ至リデゴザイマス誠ニ不肖ノ身ヲ以テ此重任ニ當リマスルコトハ恐懼ノ至リデゴザイマスル何卒諸君ノ御補助ニ依リマシテ職責ヲ盡シタイト考ヘマスル次第デゴザイマスルデ何分宜ク御願ヲ致シマス茲ニ一言御挨拶ヲ致シマス

年長者本晴之君 議長片岡健吉君副議長杉田定一君私ハ本院出席議員中年長者デアリマスルカラ先例ニ依リマシテ一同ニ代リマシテ兩君ガ本院最多數ノ推薦ニ依リ議長副議長ノ御任命ニナリ

マシタル祝詞ヲ呈シマス惟フニ本期議會ニ於キマシテハ前議會ニ現ハレタルト同様ノ國家重要ノ問題ヲ討議スルコトト信ジマス兩君ノ老練ナル手腕ハ此間ニ於ケル職責ヲ全ウセラルベキハ吾々ノ深く信任スル所デアリマス兩君ガ議長副議長ノ御任命ニナリマシタルニ付キマシテハ吾々一同ノ欣喜ニ堪ヘザル所デアリマス茲ニ兩君ニ對シテ一言ノ祝詞ヲ呈シマス

第十九回議會 (明治三十六年十二月七日)

議長河野廣中君 諸君謹ンデ諸君ニ御挨拶ヲ致シマス不肖廣中一昨日衆議院議長任命ノ 宣下ヲ蒙リマシタル次第デゴザイマス是ハ洽ク御一同ノ御推選下サイマシタル結果デゴザイマシテ感謝ニ堪ヘザル次第デゴザイマス固ヨリ不肖ノ身デゴザイマシテ誠ニ缺漏ノ多キコトデゴザイマスガ十分注意ヲ致シマシテ公正至誠議長ノ職ヲ勤メマス心得デゴザイマス尙ホ其至ラザル所ニ至リマシテハ諸君宜シク御扶助アランコトヲ希望スル次第デゴザイマス茲ニ御挨拶ヲ致シマス

年長者對馬嘉三郎君 私ハ例ニ依ッテ年長者ノ廉ヲ以テ新任議長ニ一言呈シマス河野君ハ衆望ノ歸スル所大多數ヲ以テ當院議長ノ榮職ニ當選セラレ續イテ御裁可ヲ蒙リマシタル次第御光榮ノ至リト存ジマス就イテハ我が國家ノタメ當院ノタメ偏セズ黨セズ嚴肅方正ノ態度ヲ執ラレマシ



テ當議場ノ整理ニ盡瘁セラレンコトヲ望ミマス一言ヲ呈シマシテ祝詞ニ代ヘマス

第二十回(臨時)議會 (明治三十七年三月十九日)

議長松田正久君 議員諸君不肖正久ハ昨日午後四時十分ヲ以テ參内致スベキトノ通知ニ接シマシテ議院法第三條ニ依リ衆議院議長ニ任ズトノ辭令ヲ拜受致シマシタ畢竟議員諸君ノ御推薦ノ結果ニ出デタルコトデゴザイマシテ我が短才微力此重任ヲ全ウシ能フヤ否ヤニ至ツテハ衷心甚ダ懼ルル所デゴザイマス唯諸君ノ御助ケニ依ツテ過チ少カラシコトヲ期スルノミデゴザイマス又私ハ一個人トシテハ政黨所屬ノ一議員デゴザイマスルガ議長ノ職務ヲ取扱フニ於テハ尙更最モ公平無私ヲ要スルコトハ承知致シテ居リマスル故ニ一毫モ偏頗心ノ無キコトニ至ツテハ私ハ神明ニ誓ツテ茲ニ言明ヲ致スノデゴザイマス私ハ元來議院ノ慣例ナドニ就イテハ甚ダ無頓著デゴザイマシテ一向通曉致シテ居ナイノデゴザイマスルニ必ズ時アツテ慣例ニ違フコトガアルカモ知レマセヌ或ハ又自ラ信ズル處ガゴザイマシテ議院ノ神聖ヲ保チ又議院ノ威嚴ヲ持スルタメニ斯ク致シタナラバ宜カラウト云フコトガアルカモ知レマセヌ而シテソレ等ノ所ヨリシテ又從來ノ慣例ニ聊カ違フコトガナイトハ計ラレマセヌガ併シ是ハ決シテ惡意ヲ以テスルノデハナイノデアリマス故ニ諸君ノ理由アル御批難ニ至ツテハ甘ジテ之ヲ受ケマスルカラ御遠慮ナク十分ノ御忠告ヲ請ケタイノデゴザイマス御挨拶旁々茲ニ一言ヲ呈シタ次第デゴザイマス

副議長箕浦勝人君 諸君諸君ノ御推薦ニ基キマシテ昨日衆議院副議長ノ任命ノ榮ヲ得マシタ就キマシテハ諸君ノ御幫助ニ依ツテ職務ヲ全ウセンコトヲ希望致シテ居リマス謹デ謝辭ヲ呈シマス年長者岩本晴之君 議長松田正久君副議長箕浦勝人君私ハ本院議員中ノ年長者タルヲ以テ茲ニ望外ノ光榮ヲ得テ今回ノ御任命ニ對シ祝詞ヲ呈シマス議院ニ於ケル正副議長ノ任務ハ固ヨリ輕カラザルコトハ申スマデモナイコトナガラ今日ノ時局ハ更ニ一層其重大ナルヲ示スモノニシテ我帝國ガ未曾有ナル國際上非常ノ行動ヲ取ルノ時ニ當リ國民ノ輿論ヲ代表シ參政ノ責任ヲ完カラシメ議會ノ經過ト其結果ヲシテ遺憾ナキコトヲ期スルハ兩君ノ聲望ト其手腕ニ俟ツベキハ勿論ノ事デアリマス本院ハ既ニ多大ノ推薦ニヨリ兩君ニ信賴ノ實ヲ舉ゲ兩君ハ勅命ニ依リテ茲ニ此重任ヲ荷ハルルニ至リマシタルハ誠ニ本院ノ光榮トスル所デアリマス私ハ一同ニ代リ祝詞ヲ呈シマス

第二十二回議會 (明治三十九年一月二十五日)

議長杉田定一君 不肖今般衆議院議長ノ御任命ヲ一昨日辱ウ致シマシタ、是レ全ク諸君御推薦ノ然ラシムルトコロト感謝ヲ致シマス次第デゴザリマス、退イテ願ミマスルニ、不肖ノ身ヲ以テ此重任ニ堪ユルヤ否ヤト云フコトニ付イテハ、甚ダ恐懼ノ至リニ堪ヘナイ次第デゴザリマス、併ナガラ誠實ニ公平ニ職務ヲ執ルノ考デゴザイマス、何卒諸君ノ御補助ニ依リマシテ、此職務ヲ全ウ

致サンコトヲ希望致シマスル次第ゴザイマス、茲ニ一言以テ就任ノ御挨拶ヲ致シマス  
 年長者岩本晴之君 私ハ先例ニ從ヒマシテ年長者タルノ故ヲ以テ議員一同ヲ代表シテ議長杉田定  
 一君ニ御挨拶ヲ申上ゲマス君ハ本院ノ衆望ニ依リ今般前議長松田正久君ノ後任トシテ補闕ニ本  
 院議長ニ御當選ニナリマシテ去ル二十三日本院議長ニ御任命ニナリマシタル段ハ吾々一同ノ敬  
 祝スルコロデアリマス本期議會ハ戰後ノ經營ト豫算ニ法律案ニ重要ナル問題ガ極メテ多ク且  
 ツ世界ノ大勢ト我國ノ發展トニ伴ヒ益立法部ノ任務ニ至ツテモ亦重キヲ加ヘマスルガ此時ニ當  
 ラレマスル君ノ御勤勞ハ實ニ察スルニ餘リアルコトト存ジマス希クハ慎重御自愛御勉勵御盡力  
 下サルコトヲ希望シマス

## 第二十五回議會 (明治四十一年十二月二十四日)

議長長谷場純孝君 諸君一昨日常院ニ於テ議長選舉ノ結果殆ド滿場一致トモ申スベキ最大多數ヲ  
 以テ不肖私ニ同情ヲ寄與セラレ昨日午前十時議院法ノ第三條ニ據リ衆議院議長ニ任ズトノ大命  
 ヲ蒙リマシタ實ニ私身上ニ取リマシテハ無上ノ光榮トスルコロデオザイマス全ク諸君最大多  
 數御同情ノ結果ノ然ラシムルコト信ジマスカラ茲ニ慎ンデ諸君ノ御厚誼ヲ感謝致シマス元  
 來私ハ短才淺識ニシテ此重大ナル責任ヲ竭シ了フスルヤ否ヤニ想到スレバ甚ダ恐懼ニ堪ヘナイ  
 次第デオザイマスサリナガラ既ニ大命ヲ拜シマシタ以上ハ最モ忠實最モ公平ニ心身ヲ職務ノタ

メニ捧ゲテサウシテ努力センコトヲ諸君ノ前ニ誓ヒマス勿論私ノ及バザルコロニ懇切ナル御  
 注意ト御遠慮ナキ御忠告ヲ垂レラレンコトヲ希望致シマス終リニ臨ミ諸君ノ此御同情ノ深カラ  
 ンコトト且ツ長カランコトヲ祈ルト同時ニ重ネテ茲ニ諸君ノ御厚誼ヲ感謝致シマス

副議長肥塚龍君 諸君、諸君多數ノ御贊同ニ依リマシテ昨日ハ衆議院副議長ニ任ズルノ大命ヲ受  
 ケマシテゴザイマス微力ニシテ慣列ニ不慣レナル拙者ガ此大任ニ當リマシテ何分ニモ諸君ノ御  
 補翼ヲ願ヒマス一言御挨拶ヲ致シマス

年長者岩本晴之君 此度ハ議長長谷場純孝君副議長肥塚龍君此兩君ハ本院ノ輿望ニ依リ大多數ヲ  
 以テ長谷場君ハ衆議院議長ニ肥塚龍君ハ衆議院副議長ニ御當選ニナリマシタ尙昨日ハ宮中ニ於  
 テ御任命ニソレ々ナラレマシタニ付キマシテ一應御挨拶ヲ申上ゲマス思フニ兩君ハ博學宏才  
 ニシテ清廉潔白實ニ申分ナイ適任者ヲ得マシタコトデアリマス吾々一同ニ於キマシテ非常ニ大  
 慶ニ存ジマス且ツ蓋シ上一般ニ於キマシテモ定メシ満足ヲ致スコトト信ジテ疑ヒマセヌソレ  
 デ茲ニ議員一同ヲ代表致シマシテ——年長者ノ故ヲ以テ議員一同ヲ代表致シマシテ謹ンデ兩君  
 ノ御當選ヲ祝シ茲ニ御健康ヲ祈リマス

## 第二十八回議會 (明治四十四年十二月二十五日)

議長大岡育造君 不肖育造ハ昨日議院法第三條ニ依リ、衆議院議長ニ任ズルノ榮ヲ拜シマシテゴ

ザイマス、是ハ偏ニ一昨日諸君大多數ノ投票ノ結果ニ依ルコトデゴザイマシテ、深ク諸君ニ對シテ陳謝致シマス、唯今ヨリ職ニ就キマスルニ當リマシテハ、議院ノ法律規則ニ從ヒ典例ニ依リマシテ、公平無私諸君ノ議權ヲ尊重致シマシテ、我立法機關ノ穩健ナル發達ニ向ッテ裨補アラシトヲ期スルノガ衷心ノ願デゴザイマス、併ナガラ御承知ノ如ク微力短才且不徳ノ身デゴザイマス、諸君ノ寛大ナル雅量ニ依ツテ、且議場ニ老練ナル御方、デゴザイマスカラ、十二分ノ御援助ヲ深ク仰ギマスル次第デアリマス、終リニ臨ミマシテ一昨日ノ議場ニ於テ、大多數ヲ以テ當選ノ榮ヲ得ルニ至リマシタ段ヲ深ク感謝致シマス

年長者大井ト新君 私ハ年長者トシテ新任ノ議長大岡育造君ニ祝詞ヲ呈シマス今回本院最大多數ノ推薦ニ依リ長谷場前議長ノ後任トシテ議長ニ任命ニナリマシタノハ吾々一同ノ欣喜ニ堪ヘザルトコロデゴザイマス惟フニ本期議會ハ内外多事ニ際シ幾多ノ國家重要問題ヲ審議スルコトト存ジマス、立法府ノ任務益々其重キヲ加フル今日大岡君ノ達識老練ナル能ク議長ノ重職ヲ完ウシ與望ニ副ヘラルベキハ吾々ノ深ク信ジテ疑ハザルトコロデゴザイマス茲ニ一言御挨拶ヲ申シ上ゲ議長ノ御兼任ヲ祝シマス

第二十九回(臨時)議會 (大正元年八月二十二日)

議長大岡育造君 不肖育造ハ微力短才且不徳ニシテ、再ビ諸君大多數ノ御推薦ニ依リマシテ、昨日

議院法第三條ニ依ッテ衆議院議長ニ任ズルノ恩命ヲ拜シマシテゴザイマス、偏ニ諸君寛大ノ雅量、深厚ナル御同情ノ結果ニ外ナラヌ次第デアリマシテ、深ク感謝ヲ表シマス、職ニ當リマシテハ法律規則ヲ守リ、典故ニ從ヒマシテ、公平無私、諸君ノ議權ヲ尊重シマシテ、我ガ憲政ノ穩健ナル發達ニ向ッテ、微力ヲ致シタイト考ヘマス、前任中ニ於キマシテ、往々不手際ナルコトモアリタルニ拘ラズ、茲ニ再ビ重職ヲ忝ウ致シマシタノハ、誠ニ恐懼ノ至リニ堪ヘマセヌ、我ガ衆議院ニ於キマシテハ、再選ノ榮ヲ荷ハレタル先賢ニハ、片岡楠本兩君アルノミデアリマス、私ガ此度再任ヲ得マシタルコトハ、謝スルニ言葉ヲ知ラザルトコロデゴザイマス、尙昨日ノ投票ハ稀ニ見ル程ノ大多數ヲ與ヘラレマシテ重ネ、諸君ノ御厚意ニ對シマシテ、感謝スル次第デゴザイマス

副議長關直彦君 諸君、私ハ短才不徳ナルニモ拘ハリマセズ昨日ハ諸君ノ御推薦ニ預リマシテ、午後直ニ副議長ノ恩命ヲ戴キマシタ、誠ニ不慣デゴザイマシテ、此重職ヲ完クスルヤ否ヤト云フコトハ、自ラモ信ズルコトハ出來マセヌ位デゴザイマスガ、ドウカ將來ハ諸君ノ御誘掖ニ依リマシテ、議長ヲ補任スルノ責ヲ完ウスルコトヲ得マシタナラバ、幸甚ト存ジマスル次第デアリマス、一應御禮ヲ申上ゲマス

年長者藏内次郎作君 諸君、私ハ本日御出席ノ議員諸君ノ年長者ト致シマシテ例ニ依リマシテ、一言申上ゲマス、今回本院ノ議長副議長候補者選舉ニ於キマシテ、大岡育造君關直彦君ハ衆望ニ

依り、最大多數ヲ以テソレノ當選ノ榮ヲ得ラレ、大岡君ハ議長ニ重任、關君ハ副議長ニ御任命ニナリマシタルハ、吾々一同ノ満足スルトコロデアリマス、國家重大ノ任務ヲ荷ヘル立法府ニ於テ、老練博識ナル御兩君ガ、此重職ニ任セラレタルニ付テハ、必ズヤ其任務ヲ完ワセラレ益々憲政ノ發展ニ資セラルベキコトヲ深ク信ズルノデアリマス……

### 第三十一回議會 (大正三年三月七日)

議長長谷場純孝君 諸君私ハ唯今議院法ノ第三條ニ依リ衆議院議長ヲ拜命致シマシタ私ハ曩ニ第二十五回ヨリ第二十七回議會ノ間此重職ヲ漬シタノデゴザリマスガ再ビ諸君ノ御推薦ニ依リ本職ニ就キマスノハ洵ニ光榮トスル所デゴザリマス私ハ公平ニ誠實ニ其職務ニ從事致シマシテ諸君ノ御厚意ニ對スル考デゴザリマス諸君ニ於テモ一層ノ御同情ト御援助トヲ與ヘラレンコトヲ希ヒマス茲ニ一言ヲ述ベテ御挨拶ヲ申上ゲマス

年長者長谷川敬一郎君 諸君私ハ年長者ノ故ヲ以テ再ビ此演壇ニ登リマスルノハ如何ニモ恐縮ニ堪ヘマセスケレドモ暫時拜借ヲ致シマス議長長谷場純孝閣下ノ御挨拶ニ對シテ一言申上ゲマスル此度閣下ハ絶對多數ノ推薦ニ依ッテ大岡君ノ後任トシテ議長ニ御任命ニナリマシタ吾々一同ノ欣幸トスル所デゴザイマス閣下ニハ既ニ前年來御經驗モアラセラレマスルコトデゴザイマスルカラ議長ノ職責ヲ全ウシ憲政ノ發展ニ付テ一層ノ光彩ヲ添ヘラルルコトハ一點ノ疑ヲ容レ

ザル所デゴザイマス茲ニ私ハ御當選ヲ祝シ御挨拶トシテ一言述ベマス

### 同議會 (大正三年三月十七日)

議長奥繁三郎君 諸君、私ハ唯今議院法第三條ニ依リマシテ衆議院議長ノ大命ヲ拜シマシテゴザリマス御承知ノ如ク徳無ク才無ク殊ニ議院ノ典例ニ暗イ私ガ此大任ヲ拜シマシタノデ洵ニ恐懼ニ堪ヘマセヌ次第デゴザリマス私ハ議院法竝ニ規則等ニ遵ヒマシテ最モ公平ニ其職責ヲ竭シタイ考デゴザリマス願クハ諸君ノ御同情ト御援助ニ依リマシテ其職責ヲ竭スコトヲ希ヒマスデゴザリマス茲ニ諸君ノ御厚意ヲ感謝致シマシテ御挨拶ヲ申上ゲマス

年長者長谷川敬一郎君 是ヨリ私ハ諸君ニ代ッテ議長ニ御挨拶ヲ申上ゲマス奥繁三郎君ハ此度多數ノ推薦ニ依リマシテ議長ニ御任命ヲセラレマシタ洵ニ吾々一同ノ満足スル所デゴザイマス閣下ハ多年本院ノ議員トシテ盡瘁セラレ今又議長トナラレマシタニ付キマシテハ勿論此職責ヲ竭サルル上ニ於テ最モ公平無私ニシテ議場ニ臨マレルニハ一視同仁ナルコトハ吾々信ジテ疑ヲ容レヌ所デゴザイマス茲ニ一言御挨拶ヲ申上ゲテ置キマス

### 第三十六回(特別)議會 (大正四年五月十八日)

議長島田三郎君 不肖ナル私、諸君ノ御推薦ニ依リマシテ、昨日午後ニ議長ノ職任ヲ命セラレマシタ、甚ダ議院ノ慣例ニ疎イ不才ノ私デゴザイマス、唯心ヲ盡シテ公平ヲ維持スルノ精神ヲ御認メ

下スツテ、諸君ノ御援助ヲ俟ツテ幸ニ過少キヲ得マスレバ、私ニ取ツテ甚ダ希望ニ副ウタ譯デゴザイマス、要スルニ法律規則ニ遵ヒマシテ、又慣例ヲ重ンズル心得デアリス、慣例ノ事ニ就テ諸君ガ斯ノ如キ事ハ改メタイト云フコトハ大抵ハ御協議ヲ俟ツテ左様ニ致ス心得デアリマス、總テノ事ニ就テ諸君ノ御援助ヲ俟タナケレバナラヌコトハ申スマデモナイコトデアリマス、何分ノ御心添ヲ切ニ願フノデアリマス

副議長花井卓藏君 諸君、私ハ昨十七日ヲ以チマシテ衆議院副議長タルノ勅命ヲ拜シマシタ、洵ニ光榮ニ存ジマス、而シテ是レ全ク諸君ノ御推薦ニ基クモノト存ジテ居リマス、任重クシテ力足ラズ、法令ニ通ゼズ、典故ニ熟セズ、就中禮節ニ嫻ハズ、職責ヲ完クスル上ニ於テ甚ダ憂慮致シテ居リマス、諸君ノ御指導ニ依リ庶幾クバ過ヲ少ナウ致シタイト存ジテ居リマス、謹ンデ諸君ニ敬意ヲ表シマス

年長者大村和吉郎君 諸君、私ハ年長ト致シマシテ議員一同ヲ代表シテ、正副議長ノ御任命ニ付キマシテ茲ニ祝辭ヲ述ベマスル光榮ヲ有シマス、尊敬致シマスル、正六位勳三等島田三郎君ハ衆望ノ榮ヲ荷ハレ議長ノ重職ニ、同ジク勳三等法學博士花井卓藏君ハ副議長ノ重職ニ、各勅任ノ大命宣下ニ對シマシテ、謹ンデ祝辭ヲ致シマス、而シテ現下有史以來未曾有ノ時局内外國事多端ニ際シ、立法部ノ責任モ亦其重キヲ増シ來リマスルノ今日、老練博識ナル兩君ノ御任命ニ接シマシタ

ノハ、本院ノ深ク光榮ト致シマスル所デゴザイマス、國家ノ爲メ正副議長ノ御健康ヲ祝シマス

### 第三十七回議會 (大正四年十二月二十六日)

副議長早速整爾君 諸君、私ハ諸君ノ御推薦ニ依リマシテ、先刻衆議院副議長ニ任セララルルノ光榮ヲ荷ヒマシタ、固ヨリ淺學短才ノ者デゴザイマシテ其任ヲ竭シ能ハザランコトヲ恐ルルノデゴザイマスルガ、幸ニ諸君ノ御援助ニ依リマシテ、其職責ヲ竭サンコトヲ期シテ居リマス、茲ニ謹ンデ御挨拶ヲ申上ゲマス

年長者市原又次郎君 私ハ年長者ノ故ヲ以チマシテ一言祝詞ヲ呈シマス、早速整爾君ハ本院多數ノ推薦ニ依リ、花井君ノ後任トシテ副議長ニ御任命ニナリマシタノハ、吾々一同ノ欣喜ニ堪ヘザルトコロデゴザイマス、茲ニ一言祝詞ヲ呈シマス

### 第三十九回(特別)議會 (大正六年六月二十二日)

議長大岡育造君 諸君私ハ昨二十一日參内致シマシタ、議院法第三條ニ依リ衆議院議長ニ任命スルノ辭令ヲ拜シマシタ、顧ミマスレバ私ノ如キ不肖ヲ以テ、曩ニ既ニ二回此重職ヲ拜シマシタ、何等貢獻スル所モナク慚愧ノ至リニ堪ヘマセヌ、然ルニ今ヤ宇内ノ變局ニ際シテ、昨日諸君ノ御推薦ヲ蒙リマシテ三度此榮職ヲ汚シマス、洵ニ恐懼ノ至リニ堪ヘマセヌ、唯職ニ當リマシテハ、法規典例ニ從ヒマシテ、公平無私努メテ諸君ノ議權ヲ尊重致シマシテ、國利民福ノ増進ヲ期シ憲

政ノ穩健ナル發達ヲ希望シテ已マヌノミデアリマス、唯今職ニ就キマスルニ當リマシテ、諸君ノ御推薦ヲ謝シマシテ、併セテ將來ノ御援助ヲ願ヒマス

副議長濱田國松君 諸君、私ハ諸君ノ御推薦ニ基キマシテ、今回本院副議長タルノ任命ヲ得タルコトヲ光榮ト致シマス、御承知ノ如ク不徳短才、素ヨリ其器デアリマセヌガ、唯此任務ニ服スルニ就キマシテハ、特ニ誠意ヲ以チマシテ憲法議院法竝ニ本院規則ノ趣旨ニ對シマシテ、特ニ忠實ナルコトヲ諸君ノ前ニ宣誓ヲ致シマス、今後諸君ノ御庇護ニ依リマシテ、議長輔佐ノ職責ヲ完ウスルコトヲ得マシタナラバ幸甚ノミ、一言御挨拶ヲ申上ゲマス

年長者藏内次郎作君 諸君、私ハ年長者タル故ヲ以チマシテ先例ニ依リマシテ議員全體ヲ代表致シマシテ、議長副議長ニ對シ祝詞ヲ申上ゲマス、大岡君濱田君ハ今回ハ本院多數ノ推薦ニ依リ、議長副議長ニ御任命ニナリマシタルハ、洵ニ吾々一同ノ満足スル所デアリマス殊ニ大岡君ハ三度本院議長ニ重任セラレテ、十分ノ御經驗アラセラレ、又濱田君ハ多年本院議員トシテ盡瘁セラレ、孰レモ老練達識ノ御方ミデアリマスカラ、其職ヲ行フニ當ツテ、間然スル所ナク憲政ノ穩健ナル發達ニ貢獻スル所多カルベキハ、信ジテ疑ハザル所デアリマス、茲ニ謹ンデ祝詞ヲ呈シマス

#### 第四十三回(特別)議會 (大正九年六月三十日)

議長奥繁三郎君 諸君、私ハ昨日議院法第三條ノ規定ニ依リマシテ、衆議院議長ニ任セラレマシ

タ、就キマシテハ嚴正ト公平ヲ旨ト致シマシテ、此重任ヲ完ウセンコトヲ期シテ居リマス、何卒諸君ノ御援助ヲ希望致シマス、一言御挨拶ヲ致シマス

副議長柏谷義三君 私ハ昨日諸君ノ御推薦ニ依リマシテ、圖ラズモ本院副議長ニ任命セラルルノ光榮ヲ忝ウ致シマシタ、御承知ノ通り微力短才ノ者デゴザイマスルガ、幸ニ諸君ノ御同情ト御援助トニ依リマシテ、此重職ヲ盡シタイト考ヘマスル、何分宜シク御願致シマス

年長者藏内次郎作君 諸君、私ハ年長者タルノ故ヲ以チマシテ議員一同ヲ代表シテ、正副議長御任命ニ就キマシテ、一言祝詞ヲ述ベマス、昨日本院ノ多數ヲ以テ選舉セラレタル議長候補者奥繁三郎君ハ議長ニ、同ジク副議長候補者柏谷義三君ハ副議長ニ各々勅任セラレマシタノハ、吾々一同ノ満足スル所デアリマス、兩君ガ老練達識ノ御方デアリマスコトハ更メテ申スマデモゴザイマセヌ、吾々ハ兩君ノ手腕力量ニ信賴シテ相俱ニ憲政ヲ運用シ目下ノ時局ニ處シテ、帝國ノ國策ニ貢獻セラレンコトヲ期スル者デアリマス、茲ニ一言ヲ述ベテ兩君ノ勅任ヲ祝賀致シマス

#### 第四十六回議會 (大正十二年二月十七日)

議長柏谷義三君 諸君、私ハ此場合一言御挨拶ヲ申述ベタイト思フノデアリマスルガ、只今當席ヲ保チマス其人ガゴザイマセヌカラ甚ダ失禮デハゴザイマスルガ、此席ヨリ申述ベルコトノ御許ヲ得タイト思ヒマス、諸君私ハ曩ニ諸君ノ御推薦ヲ辱ウ致シマシテ、本院ノ副議長ニ就任致シマ

シテヨリ以來茲ニ二年有半、此間幸ニモ諸君ノ御同情ト御援助トニ依リマシテ、甚シキ過失モ無ク今日ニ至リマスルコトヲ得マシタノハ、洵ニ私ノ感謝措ク能ハザル所デゴザイマス、今ヤ奥前議長ハ御病氣ノ爲ニ其職ヲ辭セラレマシテ、其結果トシテ本日ハ私ノ不肖ヲ以チマシテ、更ニ諸君ヨリ議長ノ候補者トシテ御推薦ヲ辱ウ致シマシテ、唯今議院法第三條ニ依リマシテ「衆議院議長ニ任ス」トノ恩命ヲ拜受致シマシタノデアリマス、洵ニ私ノ身ニ取リマシテハ光榮之ニ過グルモノハゴザイマセヌ、私ハ既ニ諸君ノ御承知下サレマスル如ク、微力短才デゴザイマシテ、且ツ議院ノ法規、典例等ニモ慣熟致サヌノデゴザイマス、今此大任ヲ拜スルニ方リマシテ、實ニ恐懼措ク所ヲ知ラヌノデゴザイマス、サリナガラ既ニ大命ヲ拜シマシタ以上ハ、唯々誠實ト公平トヲ信條ト致シマシテ、私ノ此眇タル心身ハ此重要ナル職務ノ爲ニ捧ゲマシテ、敢テ粉骨碎身、其職ニ膺リタイト考ヘル次第デアリマス、願クハ今後ハ諸君ノ一層ノ御同情ト、厚キ御援助ヲ與ヘラレンコトヲ、私ハ偏ニ希望ニ堪ヘナイノデアリマス、茲ニ一言就任ノ御挨拶ヲ申上ゲマスルト同時ニ、謹デ諸君ノ御厚誼ヲ感謝致シマス

年長者齋藤壽雄君 諸君私ハ年長者ノ故ヲ以テ、議員一同ヲ代表シテ祝辭ヲ述ベヤウト存ジマス、閣下ハ從前副議長ノ職ニ在リテ公平無私ニ議事ヲ整理セラレマシタコトハ、吾ミノ深ク感謝スル所デゴザイマス、然ルニ今日新ニ全會一致ヲ以テ議長ノ候補者ニ當選セラレ、續テ任命セラレ

タルコトハ、吾ミ一同欣幸トスル所デゴザイマス、閣下ノ人格高潔ニシテ熟練達識ナル、皆人ノ知ル所デアリマス、憲政ノ發展ニ一層ノ光彩ヲ添ユルコトハ、深ク信ジテ疑ハザル所デゴザイマス、茲ニ謹デ祝辭ヲ呈シマス

議長粕谷義三君 唯今ハ年長者ヨリ本院ヲ代表サレマシテ、御懇篤ナル御挨拶ヲ辱ウ致シマシテ洵ニ感激ノ至リニ堪ヘマセヌ、茲ニ謹デ重ネテ謝意ヲ表シ上ゲマス

#### 第四十六回議會 (大正十二年二月十九日)

副議長松田源治君 諸君、私ハ一日諸君ノ御推薦ニ基キマシテ衆議院副議長タルノ勅命ヲ拜シマシタ、誠ニ光榮ニ存ジマス、諸君モ御承知ノ通り不徳短才、任重クシテ力足ラズ、其職責ヲ完ウスルコトニ付テ憂慮致シテ居リマス、唯諸君ノ御援助ニ依リマシテ、過ノ少キ事ヲ期シテ居ルノデアリマス、茲ニ謹デ御挨拶ヲ申上ゲマス

年長者齋藤壽雄君 諸君、私ハ年長者ノ故ヲ以テ茲ニ議員一同ヲ代表シテ、副議長松田源治君ニ祝辭ヲ述ベマス、松田君ハ今回大多數ヲ以テ副議長ノ候補者ニ當選セラレ、引續キ御任命セラレ、誠ニ吾ミノ深ク満足スル所デゴザイマス、君ハ多年衆議院議員トシテ國政ニ參與セラレ、此最適任者ヲ得タルコトハ吾ミノ大慶ニ存ズル次第デアリマス、茲ニ一言祝辭ヲ申上ゲマス

副議長松田源治君 只今ノ祝辭ニ對シマシテハ謹デ感謝ヲ致シマス

## 第四十九回(特別)議會 (大正十三年六月二十七日)

議長粕谷義三君 諸君、一昨日本院議長候補者選舉ニ於キマシテ、不肖私ハ圖ラズモ諸君ノ御推薦ヲ忝ウ致シマシタ結果、昨日議院法第三條ニ依リ衆議院議長ニ任ズトノ恩命ヲ拜シマシタ、寔ニ感激ノ至リニ堪ヘナイノデゴザイマス、願ミマスレバ私ハ前任期中或ハ副議長トシ、或ハ議長ト致シマシテ其職ニ在リマシタ、私ノ微力ナル何等憲政ノ上ニ貢獻スル所モゴザイマセヌ、屢々過ヲ重ネタノデアリマスガ、ソレニモ拘ラズ今回諸君ノ御推薦ヲ忝ウ致シマシテ、此重職ニ就クコトヲ得マシテ、誠ニ感謝ノ至リニ堪ヘナイノデアリマス、今ヤ時局ハ極メテ重大デアリマシテ國民ノ議政府ニ期待スル所モ亦頗ル多大ナルモノガアルト存ジマス、此時ニ當リマシテ私ノ如キ微力短才ナル、果シテ能ク此重責ヲ盡スコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトヲ危ブンデ居リマスル次第デアリマス、私ハ一意専心、公正ト誠實トヲ信條ト致シマシテ、敢テ微力ヲ盡シマスル考デゴザリマスルガ、ドウゾ今後トモ諸君ノ一層ノ御同情ト御援助トヲ賜ランコトヲ偏ニ御願ヲ致ス次第デゴザリマス、茲ニ一言就任ノ御挨拶ヲ申上ゲ、且ツ諸君ノ御厚意ヲ感謝致シマス

副議長小泉又次郎君 私ハ茲ニ謹ンデ御挨拶ヲ致シマス、不肖又次郎今回圖ラズモ諸君ノ御推薦ニ依リマシテ、衆議院副議長ノ任命ヲ忝ウスルノ光榮ヲ荷ヒマシタ、固ヨリ淺學菲才其器デナイノミナラズ、法規ニ暗ク典令ニ通ゼズ、加フルニ野人禮ニ嫻ハズ、此不肖ノ身ヲ以チマシテ、果シ

テ重任ヲ全ウシ得ラル、ヤ否ヤト云フコトニ想ヒ到リマスルト、心中寔ニ恐懼ニ堪ヘヌ次第デアリマスル、唯諸君ノ御同情ト御指導トヲ唯一ノカト頼ミマシテ、誠心誠意其職ニ當リタイト考ヘテ居リマス、何卒十二分ノ御援助アランコトヲ切ニ御願スル次第デアリマス

年長者竹原樸一君 諸君、私ハ年長者ノ故ヲ以チマシテ、議員一同ヲ代表シ、正副議長御任命ニ付キマシテ一言祝辭ヲ述べマス、一昨日本院ノ大多數ヲ以テ選舉セラレタル、議長候補者粕谷義三君ハ議長ニ、副議長候補者小泉又次郎君ハ副議長ニ、各、勅任セラレマシタルハ、寔ニ吾々ノ満足スル所デアリマス、殊ニ粕谷君ハ曩ニ全院一致ノ推薦ニ依リ議長ノ任ニ就カレ今回亦全院ノ總得票ヲ以テ重任セラレタルハ、單リ御本人ノ名譽ノミナラズ、實ニ一ノ好慣例ヲ本院ニ開イタト云フモノデアリマス、吾々一同ノ欣快トスル所デアリマス、兩君ハ執レモ多年憲政ノ爲ニ盡瘁セラレ、老練達識ノ御方デアリマス、其職責ヲ全ウシ、憲政ノ發達ニ貢獻スル所多カルベキハ信ジテ疑ハザル所デアリマス、茲ニ謹ンデ議員一同ヲ代表シ祝辭ヲ呈シマス

## 第五十二回議會 (昭和二年三月二十五日)

假議長森田茂君 御選舉ニ依リマシテ暫ク此席ヲ汚スコトニ致シマス

## 第五十三回(臨時)議會 (昭和二年五月三日)

議長森田茂君 私ハ第五十二議會ノ終リニ於キマシテ議長候補者ニ當選致シ其翌二十六日議長ニ



勅任セラレマシタ隨テ御挨拶ヲ申上ゲルベキ機會無クシテ閉院式ニ臨ミマシタヤウナ次第デア  
 リマス諸君私ハ此重任ヲ拜シマシタルコトヲ深ク光榮トシ且ツ諸君ニ感謝スル次第デアリマス  
 諸君私ハ唯誠心誠意法規慣例ニ從ヒ嚴正公平ヲ旨トシテ其職責ヲ全ウセンコトヲ期シテ居リ  
 マス何卒諸君ノ厚キ御同情ト御援助トヲ希望シテ已マザル次第デアリマス一言御挨拶申上ゲマ  
 ス

副議長松浦五兵衛君 諸君私ハ諸君ノ御推薦ニ依リ去ル三月二十六日衆議院副議長ニ勅任ノ光榮  
 ヲ辱ウ致シマシタ私ハ洵ニ法規ニ通ゼズ又先例モ詳ニセズ其職責ヲ全ウスル上ニ於テ甚ダ憂慮  
 致シテ居ル次第デアリマス唯諸君ノ御同情ト指導ニ依リマシテ議長輔佐ノ職責ヲ盡サンコト  
 ヲ期シテ居リマス茲ニ謹ンデ御挨拶ヲ申上ゲマス

年長者竹原樸一君 諸君自分ハ年長者ノ故ヲ以チマシテ前例ヲ追ヒ議員一同ヲ代表シ正副議長御  
 任命ニ付キマシテ一言祝辭ヲ申述べマス第五十二議會ノ最終日ニ於テ多數ヲ以テ選舉セラレタ  
 ル議長候補者森田茂君ハ議長ニ副議長候補者松浦五兵衛君ハ副議長ニ各々勅任セラレタルコト  
 ハ洵ニ吾々ノ満足スル所デアリマス兩君ハ何レモ多年憲政ノ爲ニ盡瘁セラレ老練達識ノ御方デ  
 アリマス其職責ヲ全ウシ憲政ノ發達ニ貢獻スル所多カルベキハ信ジテ疑ハザル所デアリマス茲  
 ニ謹ンデ議員一同ヲ代表シ祝辭ヲ申述べマス

### 第五十五回(特別)議會 (昭和三年四月二十一日)

議長元田肇君 私ハ昨日諸君ノ御推薦ニ依リマシテ衆議院議長ノ重職ニ拜命ヲ致シマシタ洵ニ光  
 榮ニ存ジマス全ク諸君御高庇ノ致ス所ト感激致シテ居リマス就キマシテハ至誠ヲ注ギマシテ公  
 正事ニ從ヒ職責ヲ盡ス考デゴザイマス御承知ノ通りニ不肖ノ私デゴザイマスカラ萬事不行届モ  
 アラウト存ジマス何卒諸君ノ深甚ナル御同情ト御後援ニ依リマシテ此職責ヲ全ウセンコトヲ切  
 望シテ止マスノデアリマス何分ニモ宜シウ御願ヒ致シマス

副議長清瀬一郎君 諸君圖ラズモ諸君ノ御推舉ニ依リマシテ昨日副議長ニ勅任ヲ蒙リマシタ御承  
 知ノ如ク淺學且ツ短才ノ者デアリマス此重責ヲ全ウシ得ルヤ否ヤ實ニ心配ニ堪ヘマセヌドウカ  
 諸君ノ御援助ニ依リマシテ何卒此職務ヲ全ウ致シタイト存ジテ居リマス何卒宜シク御願ヒ致シ  
 マス

年長者高木正年君 本日第一ノ年長者デアラレル犬養君ノ御差支ニ依リマシテ不肖私ハ皆様ヲ代  
 表シテ新任セラレタル正副議長ニ對シテ祝辭ヲ述ブルノ光榮ヲ擔ヒマス元田肇君ハ初期以來  
 永ク議席ヲ續ケラレテ居リマシテ時ニハ臺閣ニ列セラレテ憲政上多大ノ貢獻ヲ帝國ノ憲法史上  
 ニ貽サレタコトハ洵ニ敬愛ニ堪ヘナイ所デアリマス又副議長ノ清瀬君ハ潑刺タル意氣ヲ以テ新  
 時代ニ適應スル學識ヲ捧ゲテ我ガ議會ノ爲ニ努力セラレタコトモ亦忘ルベカラザル憲政上ノ功

續者ノ一人タルコトハ疑ハナイノデアリマス昨日共ニ正副議長ニ勅任セラレタルコトハ深く吾ミガ敬意ヲ捧グル所デゴザイマス茲ニ皆様ヲ代表シテ謹ンデ祝辭ヲ申上ゲマス

#### 第五十六回議會 (昭和四年三月十五日)

議長川原茂輔君 諸君、私ハ本日議院法第三條ニ依リ衆議院議長ニ任ズトノ勅命ヲ拜シマシタ、是レ諸君ノ御推薦ニ基クノデゴザイマシテ、深く感謝致ス所デアリマス、唯微力短才、此重任ヲ全クスルヤ衷心甚ダ懼ル、所デゴザイマスガ、議院ノ法律規則並典例ニ從ヒ、公平無私ヲ以テ職ニ當ルコトハ、神明ニ誓ツテ言明致スノデゴザイマス又議院ノ秩序ヲ保持シ、且ツ議院ノ神聖ヲ保チ、權威ヲ高カラシムルコトニ關シマシテハ、私ノ宿志デゴザイマス、此點ニ付キマシテハ、固ヨリ議長ニ於テ最善ノ努力ヲ致シマスガ、獨リ議長ノミヲ以テ此目的ヲ達成スベキモノデハアリマセヌカラ、議員各位ニ於カセラレテモ此旨ヲ諒トセラレ、相共ニ協力シ、以テ憲政ノ發達ニ裨益シタイト存ズルノデアリマス、幸ニ諸君ノ御助力ヲ仰ギマス、茲ニ就任ノ御挨拶ヲ致シマス

年長者犬養毅君 私ハ年長ノ故ヲ以テ、諸君ヲ代表致シテ議長ニ御挨拶申上ゲマス、此度川原君ガ大多數ヲ以テ議長ニ御當選ナサレマシタコトハ、私共最モ欣幸ニ存ジマス、只今川原君ノ御述ベニナツタ通り、最モ重大ナル職務、殊ニ近來ノ議會ノ有様ヲ見マスルト、非常ナル互ノ熱心討論ノ末ガ、動モスルト大紛擾ヲ起ス、此大紛擾ハ或ハ議院ノ品位、國ノ品位ニ關係スルコトハナイ

カト云フコトハ、御互ニ非常ニ憂慮シテ居ル所デアリマス、此際ニ立タレテ此秩序ヲ保タレルト云フコトハ、實ニ議長トシテ重大ナル責任ト存ジマスル、吾ミニ於テモ勿論及ブダケノ力ヲ以テ嚴肅ニ靜肅ニ、秩序ヲ保ツト云フコトヲ致シタイト存ジマス、此意味ヲ以テ謹ンデ議長ノ御當選ニ對シ、厚ク御挨拶ヲ申上ゲマス

#### 第五十七回議會 (昭和四年十二月二十四日)

議長堀切善兵衛君 諸君、私ハ昨日諸君ノ御推薦ニ依リマシテ議長候補者ニ當選、次イデ議院法第三條ニ依リ、衆議院議長ニ任ズトノ勅命ヲ拜シマシタ、洵ニ光榮ニ存ジマス、全ク諸君御高庇ノ致ス所ト感激致シテ居リマス、就キマシテハ至誠ヲ捧ゲマシテ、公正事ニ從ヒ、職責ヲ盡ス考デゴザイマスルガ、萬事不行届モアラウト存ジマス、何卒諸君ノ深甚ナル御同情ト御後援ニ依リマシテ、此職責ヲ完ウセンコトヲ切望シテ已マヌノデアリマス、茲ニ謹ンデ就任ノ御挨拶ヲ申上ゲマス

年長者高木正年君 私ハ慣例ニ依リマシテ、年長者トシテ議長御當選ノ祝辭ヲ申シマスコトナリマシタガ、實ハ第一ノ年長者ノ犬養先生ガ今日御闕席デアツタサウデ、已ムナク第二ノ年長者ノ私ガ此席ヲ汚シテ、甚ダ行届キマセヌガ、諸君ヲ代表シテ祝辭ヲ申スコトニナリマシタ、堀切君ハ極メテ私ト親交アル人デアリマシテ、心カラ敬意ヲ表スル一人デアルト豫テ思ウテ居ルノ

デアリマス、幸ニ同君ハ今回御當選ニナリマシタガ、強ヒテ私ガ此際同君ノ御經歷ヲ繰返ス必要ハナイト思ヒマスガ、兎ニモ角ニモ早クヨリ極メテ高イ教育ヲ御受ケニナリマシテ、屢々海外ニモ御留學ニナリ、又帝國ニ於ケル一大學府ノ教化ニモ御從事ニナリマシテ、文化ノ上ニ於キマシテ極メテ多大ノ功績ヲ捧ゲラレタ人デアルト信ジテ居ルノデアリマス、嘗テハ大藏省又ハ農林省等ノ政務官ニ御就職ニナリマシテ、殊ニ行政ニハ極メテ通曉サレテ居ル人デアリマス、今斯ル人ヲ本院ノ議長トシテ吾ミガ戴クコトハ、極メテ満足ニ存ズル次第デアリマス、茲ニ慣例ニ依リマシテ、諸君ヲ代表シテ謹ンデ、堀切君ノ議長御當選ニ對スル祝辭ヲ申述ベマス、願クハ同君ハ長ク健康ヲ維持セラレテ、憲政ノ上ニ十分ノ御努力アランコトヲ深く熱望シテ已マヌノデアリマス、甚ダ不行届デアリマシタケレドモ、茲ニ祝辭ヲ申上ゲルコト斯ノ如キ次第デアリマス

#### 第五十八回(特別)議會 (昭和五年四月二十二日)

議長藤澤幾之輔君 諸君、不肖ハ諸君ノ御推薦ニ依リマシテ、昨日本院議長ニ任ゼラレマシタ、此上ハ諸君ノ御同情ニ依リマシテ、其職責ヲ全ウ致シタク存ジマス、サレバドウカ切ニ諸君ノ御援助ヲ御願ヒ致シマス、御挨拶ヲ申上ゲマス

副議長小山松壽君 私ハ諸君ノ御推舉ニ依リマシテ、昨日衆議院副議長ニ勅命ヲ拜シマシタ、光榮ニ存ジマス、就キマシテハ幸ニ大過ナク職責ヲ盡シタイト存ジマスガ、何分不行届デアリマスカ

ラ、諸君ノ御鞭撻ト御指導トヲ賜ハリマシテ、其重責ヲ全ウ致シタイト存ジマス、茲ニ御挨拶ヲ申上ゲマス

年長者高木正年君 私ハ、慣例ニ依リマシテ、犬養君ガ祝辭ヲ述ベラレル筈デアリマスルガ、今日御差支ガアリマシタノデ、其順位ニ依リマシテ、諸君ヲ代表シテ當選及任命セラレタル正副議長ニ對シテ祝辭ヲ申ス光榮ヲ有シマス、藤澤幾之輔君ハ、多年憲政ニ貢獻セラレ、曾テハ内務ノ政務官トナリ、又ハ臺閣ニ列シテ、新時代ニ貢獻セラレタコトハ、今更私ガ申上ゲル必要ハナイト思ヒマス、又小山松壽君ハ、矢張前々内閣ニ於キマシテ、政務官ノ一員トナリ、又ハ社會ノ耳目デアル新聞ニ從事セラレテ、能ク憲政ノ發展ニ努力セラレタコトモ、亦私ノ喋々ヲ要シナイコトデアルト思フ、此兩君ガ竝ンデ五十八議會ノ開會ニ當リマシテ、正副議長ニ當選及其任命ヲ受ケラレタコトニ付キマシテハ、最モ諸君ト共ニ喜バネバナラヌト思フノデアリマス、兩君ハ曾ニ本院ノ輿望ヲ荷ハレタバカリデナク、最モ公正ニ選舉ヲ終ツタル普選第二次ノ選舉ニ於テ、其多數ニ依ッテ今日就任セラル、コトハ、寧ロ國民多數ノ希望ニ副フモノト私共考ヘテ居ルノデアリマス、願クハ兩君ガ能ク健康ヲ持セラレテ、議會ノ神聖ヲ其任務中ニ全ウセラレンコトヲ重ネテ希望致スノデアリマス、茲ニ私ハ此機會ヲ利用シマシテ、兩君ニ對シテ深甚ノ敬意ヲ表シタイト思ヒマス、私ノ祝辭ハ是デ結ビマス

## 第六十回議會 (昭和六年十二月二十四日)

議長中村啓次郎君 諸君、私ハ昨日諸君ノ御推薦ニ依リマシテ、衆議院議長ノ重職ヲ拜命致シマシタ、洵ニ光榮ニ存ジマス、是レ全ク諸君御高庇ノ致ス所デアリマシテ、感謝ニ堪ヘナイノデアリマス、就キマシテハ至誠ヲ捧ゲマシテ、公正事ニ從ヒ職責ヲ盡ス考ヘデゴザイマスガ、御承知ノ通りノ淺學短才ノ私デゴザイマスカラ、萬事不行屆勝チノコト、存ジマス、唯諸君ノ御同情ト御後援ニ依リマシテ、此職責ヲ完ウセンコトヲ切望シテ已マナイノデアリマス、茲ニ謹ンデ就任ノ御挨拶ヲ申上ゲマス

副議長増田義一君 諸君、私ハ諸君ノ御推薦ニ依リマシテ、昨日衆議院副議長ヲ拜命致シマシタ、淺學短才、固ヨリ其任デハアリマセヌケレドモ、誠心誠意ヲ以テ職責ヲ盡ス考デアリマスル、何卒諸君ノ深厚ナル御同情ト御援助ヲ賜ハラシテ切ニ希望致シマス、謹ンデ一言御挨拶ヲ申上ゲマス

年長者篠崎豊彦君 諸君、私ハ年長者タル故ヲ以チマシテ、先例ニ依リ議員一同ヲ代表シテ、議長、副議長ニ對シ祝辭ヲ申上ゲマス、御兩君ハ本院多數ノ推薦ニ依リ、中村啓次郎君ハ議長ニ増田義一君ハ副議長ニ勅任セラレマシタコトハ、吾々ノ満足スル所デアリマス、御兩君ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁セラレ、何レモ老練達識ノ方ミデアリマス、此最適任者ヲ得タルコトハ一同ノ大慶ニ存ズル

## 次第デアリマス、茲ニ一言祝辭ヲ申上ゲマス

## 第六十一回(臨時)議會 (昭和七年三月十九日)

議長秋田清君 諸君、私ハ昨日諸君ノ御推薦ニ依リマシテ、衆議院議長ノ重職ヲ拜命致シマシタ、洵ニ光榮ニ存ジマス、是レ全ク諸君御高庇ノ致ス所デアリマシテ、何トモ感謝ニ堪ヘマセヌ、就キマシテハ、至誠事ニ從ヒ、公正ニ職責ヲ盡ス考デアリマスルガ、何分不肖ノ私デゴザリマスルカラ、萬事不行屆勝チノコト、存ジマス、唯諸君ノ御同情ト御援助ニ依リマシテ、此職責ヲ全ウセンコトヲ切望シテ居ル次第デゴザリマス、茲ニ謹ンデ就任ノ御挨拶ヲ申述ベマス

副議長植原悦二郎君 諸君、私ハ昨日諸君ノ御推薦ニ依リマシテ、圖ラズモ本院副議長ニ任命セラレ、ノ光榮ヲ得マシタコトヲ感謝致シマス、御承知ノ如ク、私ハ微力短才ノ者デゴザイマスガ、幸ニ諸君ノ御同情ト御援助ニ依リマシテ、此重責ヲ大過ナク全ウシタイト思ウテ居リマス、將來何分トモ宜シク御願致シマス、茲ニ就任ノ御挨拶ヲ申上ゲマス

年長者高木正年君 私ハ第一ノ年長者ガ差支ガアリマスガ爲ニ、順位ニ依リ、慣例ニ依リマシテ、諸君ヲ代表シテ正副議長ノ御就任ニ對シマシテ、祝辭ヲ申上ゲル光榮ヲ有シマス、秋田清君ハ頭腦明晰ニシテ、屢、政務次官トナリ、又極メテ公正ニ、只今ノ御挨拶ニアリマシタ通り、議長ノ職責ヲ全ウセラレルコトハ信ジテ疑ハヌノデアリマス、又植原悦二郎君ハ、多年外交上ノ事ニ研鑽

ヲ積マレ、屢、日米問題等ニ付テ私共ヲ御指導下サツタコトモ記憶致シテ居ルノデアリマス、兩君共、普選法ノ制定ニ付テハ、私共革新俱樂部ニ居リマシタ當時ヨリ、深く御盡力ニナリシマタコトモ亦、記憶シナケレバナラヌノデアリマス、今回圖ラズモ第三回ノ普選ノ選舉ニ當リマシテ、多數ヲ黨派ガ御得ニナッタ結果、今日正副議長ニ御就任ニナリマシタコトハ、偶然トハ申シナガラ頗ル私共ハ欣快ニ感ズル所デアリマス、茲ニ議員ヲ代表シマシテ、謹ンデ兩君ノ御就任ニ對シテ、祝辭ヲ申述ブル次第デアリマス

#### 第六十七回議會 (昭和九年十二月二十五日)

議長濱田國松君 同僚諸君へ御挨拶ヲ申上ゲマス、私ハ諸君ノ御推舉ニ基キマシテ、昨日當院議長ニ勅任サレマシタ、衷心ヨリ深く光榮ヲ感ジテ居ル次第デアリマス、御承知ノ如ク目下ノ國情多難、我が衆議院ノ國家ニ負フ所益、重キヲ加フルノ際デアリマス、斯ル重大ナル時機ニ於キマシテ、不徳短才ノ身ヲ以チマシテ、議長ノ重任ニ當リマスルコトハ、責任ノ重キヲ痛感スル次第デアリマス、心中私カニ恐竦ニ堪ヘナイ所デアリマス、冀クハ理會アル同僚諸君ノ御同情ト御援助ニ依リマシテ、職務上大過ナキヲ期シタイト存ジマス、今後公私共何分ノ御援助ヲ切望シテ已マナイ次第デアリマス、簡單ナガラ之ヲ以テ御挨拶ト致シマス

年長者高木正年君 私ハ先例ニ依リマシテ——諸君ノ代表者ノ資格ハナイノデスケレドモ、慣例

ニ依ッテ新議長ニ御挨拶ヲ致シマス濱田君ハ長イ議會生活ノ歴史ヲ有セラレテ、殆ド私共ト變リガナイノデアリマス、而モ典故ニ通ズル濱田君ガ、議長ニ當選セラレタコトハ、非常時議會ニ於キマシテ、最モ心強ク感ジマス、茲ニ同君ニ祝辭ヲ呈スルコトヲ得マスコトハ、深く私ノ光榮トスル所デアリマス、一昨日以來私ハ少シク喘息ヲ患テ居リマシテ、感冒ノ爲ニ斯クノ如クナリマシタノデ、甚ダ不十分デ御祝辭ヲ詳シク述べルコトモ出來マセヌガ、何卒同君ノ足ラザル所ヲ補ヒ、同情ヲ以テ同君ガ衆議院議長ヲ完全ニ……御同情ト御援助トヲ願ヒタク思ヒマス、之ヲ以テ私ノ祝辭ト致シマス

#### 第六十九回(特別)議會 (昭和十一年五月二日)

議長富田幸次郎君 私ハ諸君ノ御推薦ニ依リマシテ、衆議院議長ニ勅任セラレマシタノハ洵ニ光榮ノ至リデアリマス、私ハ微力短才デアリマシテ、果シテ議長トシテノ重任ヲ十分ニ竭シ得ルヤ否ヤヲ危ムノデアリマスガ、何卒諸君ノ御鞭撻ト御支援トニ依リマシテ、大過ナキヲ期シタイト思ヒマスル國政ハ民意ヲ基調トセナケレバナラナイ、民意ノ暢達ハ憲法政治ノ理想デナケレバナラヌト云フコトハ、今更申上グル迄モナイ所デアリマスガ、内外時局ノ重大ハ一層此感ヲ深く致スノデアリマス、議員各位ニ於カセラレテハ、此際自肅自彊益々衆議院本然ノ機能ヲ發揮セラレテ、國家難局ノ解決ニ渾身ノ協力ヲ致サナケレバナラナイト思フノデアリマス、私ハ諸君ト共ニ

同心戮力、議會ノ信用ノ向上ニ努力致シ、益々憲法政治ノ發達ニ貢獻致シタイト思フノデアリマス、茲ニ謹ンデ就任ノ御挨拶ヲ申上グル次第デアリマス

副議長岡田忠彦君 諸君、私ハ昨日本院副議長ニ拜命セラル、ノ光榮ニ浴シマシタ、是レ偏ニ諸君ノ御推薦ノ賜デアリマシテ、深ク感謝ノ意ヲ表シマス、然ル上ハ誠心以テ本分ニ循ヒ、御厚意ニ酬ウルノ覺悟デアリマスガ、定メテ不行屆勝チノコトト存ジマス、何卒將來一層ノ御同情ト御後援ノ程ヲ、謹ンデ御願申ス次第デゴザイマス

年長者本多貞次郎君 諸君、私ハ年長者ノ故ヲ以チマシテ、議員一同ヲ代表シ、正副議長御任命ニ付キマシテ一言祝辭ヲ申述べマス、昨日本院ノ大多數ヲ以テ選舉セラレマシタル議長候補者富田幸次郎君ハ議長ニ、副議長候補者岡田忠彦君ハ副議長ニ、各々勅任セラレタルコトハ洵ニ吾々ノ満足スル所デアリマス、兩君ハ孰レモ多年憲政ノ爲ニ盡瘁セラレ、老練達識ノ御方デアリマス、其職責ヲ全ウシ、憲政ノ發達ニ貢獻スル所多カルベキハ信ジテ疑ハザル所デアリマス、茲ニ謹ンデ議員一同ヲ代表シ祝辭ヲ申述べマス

## (二) 議長、副議長辭任ノ挨拶及年長議員ノ謝辭

第二十二回議會 (明治三十九年一月二十二日)

前議長松田正久君 諸君唯今議長ヨリ報告セラレタル通私ハ不肖ノ身ヲモチマシテ大命ヲ蒙リ内閣ノ末班ヲ汚スコトトナリマシテ誠ニ非才微力恐懼ノ至リニ堪ヘマセヌガ此場合唯一身ヲ國家ニ致シ忠誠以テ萬一ヲ報ゼント期スルノミデゴザリマスル從ツテ職務ノ都合上衆議院議長ノ職務ヲ辭退致シタキ旨願出デタルノニ去十九日ヲ以テ願ノ通御裁許ヲ得タノデゴザリマスル諸君ノ之ヲ諒セラレンコトヲ希ヒマス諸議長ノ在職中諸君ノ御助力ヲ受ケマシテ執務ノ上ニ大過失ナキコトヲ得マシタノハ誠ニ私ノ光榮トスルトコロデゴザリマシテ諸君ニ感謝仕ルトコロデアリマス殊ニ兩度ノ軍國議會ヲ重ネマシテ當時政府ガ戰時ニ必要ナル經費及諸般ノ經畫ニ對シ諸君ト與ニ共ニ協贊ノ任務ヲ盡シマシテ其戰爭ノ國民ノ戰爭タル性質ヲ表スルノ點ニ於テ聊カモ遺憾ナカラシムルコトヲ得マシタノハ本院ノ特筆スベキ一大事項デゴザリマシテ此光榮ハ實ニ諸君ニ歸スルノデゴザリマスル而シテ又私モ聊カ之ヲ頌ツコトヲ得マスルノハ大幸ト存ズルノデゴザリマスル今ヨリ姑ラク身ヲ政府部内ニ置キマスルガ憲政ノ美ヲ濟シ代議政體ノ效ヲ擧グルニ努メント欲スルノ精神ニ至ツテハ終始一貫渝ラサルコトハ神明ニ誓フトコロデゴザリマスルガ是又諸君ノ諒セラレンコトヲ希フノデゴザリマスル今ヤ將ニ後任ノ議長ヲ選舉セラレントスルニ當リ私任職中諸君ノ御同情ヲ得テ厚誼ヲ忝ウシタルトコロニ對シ聊カ感謝ノ意ヲ表スルタメニ一言ヲ呈シタノデゴザリマスル

年長者岩本晴之君 私ハ先例ニ從ヒマシテ年長者タルノ故ヲ以テ議員一同ヲ代表シテ謹デ前議長松田正久君ニ御挨拶ヲ申述ベマス君ハ今般内閣ノ更迭ニ際シ入りテ司法大臣ノ顯職ニ御親任ヲ得サセラレマシタル段ハ御光榮ノコトトシテ吾々一同深く祝スルトコロデゴザイマス從テ右御入閣ノ結果トシテ本院議長ヲ辭セラレマシテ御裁可ヲ得サセラレマシタルニ付イテ唯今御鄭重ナル御挨拶ニ與リマシタルハ吾々ノ感激ニ堪ヘザルトコロデアリマス抑君ガ御在職中ハ戰時ノ議會ニシテ上下一致國力傾倒之ニ當ラレシ最モ大切ナル時デアリマシタ此時ニ當リ幸君ハ本院ノ議長トナリ非常ナル熱誠ト老練ナル手腕トヲ以テ能ク敏活ニ公平ニ美事職責ヲ盡サレ毫モ遺憾ナカラシメラレタハ吾々一同ノ厚ク敬謝シ且國民ノ永ク記念ニ存シ忘ルベカラザルコトト存ジマス希クハ國家ノ爲益御奮勵アラシテ

前議長松田正久君 唯今岩本君ヨリ年長者トシテ御鄭重ナル御挨拶ヲ辱ウ致シ感謝ノ至リニ堪ヘマセヌ謹デ御禮ヲ申上ゲマス

### 第二十八回議會 (明治四十四年十二月二十三日)

前議長長谷場純孝君 豫テ敬愛ヲ拂ヒツ、アルトコロノ滿場ノ諸君、本員ハ去ル八月内閣ノ更迭ニ依リ文部大臣ノ大命ヲ拜シマシテ内閣ノ末班ニ列スルコトヲ得タノデゴザイマス固ヨリ不才魯鈍誠ニ恐懼ニ堪ヘマセヌ唯一身ヲ國家ニ捧ゲ忠誠以テ報公ヲ圖ランコトヲ期スルノミデゴザ

イマス随ツテ職務ノ都合ニ據リ衆議院議長ノ辭表ヲ捧呈致シマシタトコロガ御裁可ヲ得マシタノデゴザイマス願ミマスレバ去ル四十一年ノ冬諸君ノ御同情ニ依リ衆議院議長ニ推薦セラレ爾來三箇年ノ間大過無クシテ議長ノ職責ヲ盡シマシタノハ全ク諸君ノ深厚ナル御同情ト御援助ニ依リシコトト信ジマス是ニ對シテハ私ハ衷心ノ至誠ヲ捧ゲ謹デ感謝ノ意ヲ表シマス同時ニ將來ニ於キマシテモ尙一層ノ同情ヲ垂レラレンコトヲ冀ヒマス此場合ニ於キマシテ一言諸君ニ對シテ感謝ノ意ヲ表シ併セテ御挨拶ヲ致シマス

年長者大井ト新君 私ハ前例ニ從ヒマシテ年長者タル故ヲ以テ議員一同ヲ代表シテ謹デ前議長長谷場君ニ御挨拶ヲ申述ベヤウト思ヒマス今般内閣ノ更迭ニ際シマシテ文部大臣ノ顯職ニ御親任セラレタル段ハ御光榮ノコトトシテ吾々一同ノ深く祝スルトコロデゴザイマス從テ御入閣ノ結果トシテ本院議長ヲ辭セラレ御裁可ヲ得サセラレタルニ付テ唯今御鄭重ナル御挨拶ニ與リマシタノハ吾々ノ感激ニ堪ヘザルトコロデアリマス抑君ハ在職中熱誠ト老練トヲ以テ職責ヲ盡サレマシタノハ吾々一同ノ深く感謝スルトコロデゴザイマス冀クハ國家ノためニ益御奮勵アラシテトヲ希望致シマス

前議長長谷場純孝君 唯今本院ヲ代表サレテ年長者ヨリ誠ニ痛入りマシタ御鄭重ナル御答辭ヲ拜承致シマシタ更ニ謹デ感謝ノ意ヲ表シマス

## 第三十一回議會 (大正三年三月七日)

前議長大岡育造君 私ハ昨日揣ラズモ文部大臣ノ大命ヲ拜シマシテ閣班ニ列スルコトナリマシタ誠ニ微力重任ニ堪ヘズ恐懼ノ至リニ堪ヘマセヌ同時ニ昨日職務ノ都合ニ依リマシテ本院議長ノ職務ヲ辭退致シマシタ直チニ御許可ヲ蒙リマシテゴザイマス願ミマスレバ明治四十四年ノ十二月諸君ノ厚キ御同情ニ依リマシテ本院議長ニ御推薦ヲ蒙リマシタ尋デ大正元年八月改選後ノ議會ニ於キマシテ再ビ當選ノ榮ヲ荷ヒマシタ次第ゴザイマス洵ニ微力短才且ツ不徳ニシテ議長ノ職責ヲ盡スニ就キマシテハ一ニ諸君ノ深甚ナル御同情ニ依リ御援助ニ依ルコトゴザイマス殊ニ本期議會ニ於キマシテハ屢、議場ノ紛擾ヲ見マシテ甚ダ遺憾ニ存ジマス次第デアリマス併シ是モ亦諸君ノ御同情御援助ニ依リマシテ兎ニ角議事ノ進行ヲ爲スヲ得マシタ、總テ今日マデノ結果、其ノ多クハ諸君ノ賜トシテ滿腔ノ赤誠ヲ捧ゲテ感謝ヲ表シマスル次第デアリマス、尙今後モ十分ノ御同情ヲ以テ御援助アラシメテ切ニ希望致シマス、玆ニ謹ンデ御挨拶ヲ申上ゲマス年長者長谷川敬一郎君 私ハ年長者ト致シマシテ前議長大岡育造閣下ニ一言ノ御挨拶ヲ是ヨリ申上ゲマス此度文部大臣ニ就任セラレ御入閣ノ爲メ議長ノ職ヲ辭セラレマシタニ付テ唯今鄭重ナル御挨拶ニ接シマシテ恐縮ノ至リニ存ジマス閣下ガ御在職中就中本期議會ハ種々重大ナル問題ガ出來致シマシテ屢、御心配ヲ懸ケマシタガ其都度處置宜シキヲ得テ各派共ニ満足致シテ居

リマスルノハ全ク閣下ガ公明能ク其ノ職責ヲ盡サレタニ依ルモノデアルト信ジマスル吾々感謝ノ至リニ堪ヘマセヌ尙今後幾多大問題ノ横ハツテ居ルニモ拘ラズ此度議長ノ職ヲ辭セラレマシタノハ實ニ吾々遺憾ニ堪ヘマセヌ併シナガラ惟フニ文部大臣ノ榮職ニ就カレマシタ以上ハ一層其技倆ヲ發揮セラレマシテ國家ノ爲ニ本院ガ失ヒマシタコロヲ補フテ餘リアルコトト信ジマスル依テ就職ヲ祝シマスルタメニ玆ニ一言ノ御挨拶ヲ申上ゲマス

## 第三十七回議會 (大正四年十二月二十六日)

前副議長花井卓藏君 諸君、唯今議長ヨリ報告セラレマシタ如ク、本日ヲ以テマシテ辭職ノ御聽許ヲ蒙リマシテゴザイマス、在任中ハ容易ナラザル御援助ニ依リマシテ、幸ニシテ大過ナキヲ得マシタノハ、誠ニ私ニ取リマシテハ諸君ニ厚ク御禮ヲ申上ゲナケレバナラヌ點デアリマス、尙將來トモ相變ラズ御懇情ヲ下サラムコトヲ切望致シマス、玆ニ謹ンデ御挨拶ヲ申上ゲマス年長者市原又次郎君 私ハ年長者ノ故ヲ以テマシテ議員一同ヲ代表シテ謹ンデ前副議長花井卓藏君ニ御挨拶ヲ申述ベヤウト思ヒマス、目下幾多ノ大問題ハ横ハツテ居ルニ拘ラズ、閣下此度ノ御辭職ハ吾々ノ深ク遺憾トスルトコロデアリマス、閣下副議長トシテ御就職ノ日淺キニ拘ラズ、種々御配慮ヲ煩ハシ、常ニ公明、克ク其職責ヲ盡サレタコトヲ感謝致シマス、玆ニ一同ニ代リテ一言御挨拶ヲ申上ゲマス



## 第四十六回議會 (大正十二年二月十三日)

議長奥繁三郎君 議長ハ此際諸君ニ一言御挨拶ヲ申上ゲマス、不肖奥繁三郎諸君ノ推薦ニ依リマシテ衆議院議長ノ宣下ヲ蒙リ、以來茲ニ二年有半、以テ今日ニ至リタルハ熱誠ナル諸君御後援ノ致ス所デアリマス、實ニ感謝ノ至リニ堪ヘマセヌ、而シテ任期ハ尙ホ一年有半餘ニシマシテ、私ノ心ハ窃ニ寒々匪躬ノ節ヲ效サンコトヲ期シテ居リマシタガ、不幸ニシテ昨年春頃二豎ノ冒ス所トナリマシテ、住苒歳ヲ越エテ猶愈ヘマセヌ、屢事ヲ缺キ休養ノ已ムナキニ至リタルモ、一念君國ノ事ニ及ベバ夢寐憂慮ニ堪ヘザルモノガアリマス、病軀ヲ提ゲテ登院致シ、斃レテ後已ムノ決心ナキニアラザリシモ、若シ今日ノ如クニシテ徒ダ曠日彌久セバ、尸位素餐ノ責避クルニ所ナク、延イテハ諸君ノ倚託ニ背カンコトヲ惧レマス、因テ本日ヲ以テマシテ議長ノ重職ヲ辭シマス、是レ敢テ我が一身ノ安ヲ偷ム所以デアリマセヌ、更ニ他日ノ報效ヲ庶幾スルノ微意ニ外ナラヌデアリマス、謹デ諸君ノ高諒ヲ仰ギマス、一言御挨拶申上ゲマス

年長者齋藤壽雄君 私ハ年長者ノ故ヲ以テ議員諸君一同ニ代リマシテ、議長奥繁三郎君ノ御辭任ノ意ヲ表明セラレタルニ對シマシテ、謹デ御挨拶ヲ申上ゲマス、奥議長閣下ハ議員ニ當選セラルルコトガ八回、其間重ネテ議長ノ御重職ニ就カレマシタ、是レ偏ニ衆望ノ繫ル所ニシテ、常ニ熱誠ト老練ナル手腕トヲ以テ、克ク敏活ニ公平ニ其職責ヲ盡サレマシタ、然ルニ承レバ最近兎角

御健康勝レズ、御静養ノ意味ヲ以テ今回議長ノ職ヲ辭退サレルト云フコトハ現時内外諸般ノ事項倍々多事ヲ加フルノ秋ニ際シ、寔ニ遺憾ノ次第デゴザイマス、併ナガラ御病氣ト云フニアレバ、是亦餘儀ナキ次第デアリマス、何卒國家ノ爲メ折角御攝養、一日モ早ク御恢復ノ程ヲ切ニ希望致ス次第デゴザイマス

## 第四十六回議會 (大正十二年二月十七日)

副議長粕谷義三君ノ挨拶ハ同君議長就任ノ挨拶中ニアリ

## 第五十六回議會 (昭和四年三月二十三日)

前議長元田肇君 諸君、私ハ去ル十二日ノ本會議中、扁桃腺炎ノ爲ニ議長席ヲ中坐致シマシテ、遂ニ議長辭任ニ決シ、翌十三日ヲ以テ辭表ヲ呈シ、御聽許ヲ蒙リマシタコトハ御承知ノ通りデアリマス、所勞ノ爲ニ時期甚ダ遅レマシタルモ、此際御許ヲ得テ一言御挨拶ヲ致シタク存ジマス、私ハ曩ニ第五十五回議會召集ニ際シ、圖ラズモ本院議長ノ重職ニ當選シ、勅任ノ恩命ヲ拜シマシテ、深ク光榮ニ感激致シ、非才老軀ヲ顧ミズ駑鈍ニ鞭チ、至誠職ニ殉セント期シタ次第デアリマスガ、曾テ第五十回議會ニ於キマシテ、大紛擾ヲ生ジタル際ニ、私ハ深ク其事態ヲ憂慮致シマシテ、先ヅ粕谷議長、政憲兩黨ノ長老總務、岡崎邦輔、安達謙藏ノ兩君ニ微衷ヲ述ベマシテ、御贊同ヲ得、各派代表者ト會同シテ、決議案、議長黨籍離脱、其他數事項ヲ協定致シマシテ各派議員諸君

亦之ヲ快諾セラレ、大正十四年三月十四日ノ議場ニ於テ、滿場一致該決議案ヲ可決シ、其他ノ事項モ實施セラレ、紛擾一掃シ、圓滿ナル議事ノ進行ヲ見ルニ至リシコトヲ記憶シ、此度議長ノ職ヲ汚スニ至リマシテモ、第一ニ當時私ヨリ披瀝シタル趣旨及決議協定ノ趣旨ニ鑑ミ、専ラ和衷審議ヲ圖リ、院内ハ勿論、院外ニ於キマシテモ、光輝アル結果ヲ舉ゲント期シタノデアリマスガ、事志ト違ヒ、何等成績ノ見ルモノナク、又諸君ノ御希望ニ副フニ至ラズ、病痾ノ爲ニ辭任スルニ至リマシタコトハ、私ノ漸愧ニ堪ヘザル所デアリマス、然ルニ諸君ハ議場ニ於テ紛議ヲ來シマシテモ、退イテ私ヨリ懇請シ、各派ノ御諒解ヲ求ムルニ當リテハ、釋然トシテ忽チ融和解決致シマシタコトハ、私ノ感謝措ク能ハザル所デアリマス、茲ニ議長在職中ノ御厚意ニ對シ、謹デ御挨拶ヲ申上ゲマス

年長者高木正年君 私ハ第二ノ年長者デアリマスノデ、今日ハ犬養君ノ御缺席ノ爲ニ、私ガ代リマシテ元田君ノ只今ノ御挨拶ニ對シマシテ、答辭ヲ申上ゲルコトニナリマシタ、私ハ元田君トハ極メテ厚キ交際ヲ從來辱フシテ居ル一人デアリマス、圖ラズモ議長御當選ノ際ニ私ガ祝辭ヲ申シ、今日又其答辭ヲ申スト云フコトモ、何等カノ深キ因縁デハナイカト私ハ思ッテ居ルノデアリマス、元田君ハ第一期ニ御當選ニナリマシテ、而モ大分縣ノ二區ヨリ最高點ヲ以テ當選セラレタ、若シ當時一縣ノ大選區トスル選舉制度デアリマシタナラバ、惟フニ元田君ハ全國一ノ最高點デ

アラレタト云フコトヲ想像スルニ難クナイノデアリマス、斯ル厚キ信用ヲ以テ二十三年帝國議會ニ列セラレテ、屢日清、日露ノ如キ國難ニ際シテ、能ク其職責ヲ盡サレテ、殊ニ第五十五回ノ議會ニ當リマシテ、其開會ニ先ッテ光榮ヲ擔ウテ議長ニ當選セラレタノデアリマス、元田君ハ御健康ガ餘リ御勝レニナラヌノデアリマス、私ト同ジャウニ矢張極メテ寒氣ニ堪ヘナイ體質ヲ持ッテ居ラルノデアリマス、此困難ナル元田君ノ體軀ガ、苦痛ニ能ク御堪ニナッテ、此極メテ難職デアル議長ノ職ニ居ッテ、且ツ公平ニ能ク議場ヲ整理セラレタコトハ、深ク本院諸君ノ満足セララル、所デアラウト私ハ思ッテ居ルノデアリマス、茲ニ同君ガ議長ヲ辭退セラレテ、再ビ議長トシテ吾ガ之ヲ尊敬スルコトノ出來ナイコトハ、何トシテモ哀惜ニ堪ヘナイノデアリマス、茲ニ本院ヲ代表シテ、元田君ニ對シテ議長ノ當時ニ於ケル御勞苦及其御勤勞ニ對シテ、深ク一感謝ノ意ヲ表スルノデアリマス

#### 第六十回議會 (昭和六年十二月二十四日)

前副議長小山松壽君 諸君、私ハ一昨二十二日ヲ以テマシテ副議長辭職ノ御聽許ヲ蒙リマシタ、此際御許シヲ得マシテ一言御挨拶ヲ申述べタイト存ジマス、去ル第五十八回議會召集ニ際シ、諸君ノ御同情ニ依リ、本院副議長ニ御推薦ヲ蒙リマシテ以來、任期ハ漸ク半バニ過ギマセヌケレドモ、其間前期議會ノ如キ重大ナル議會ヲ經過致シ、又去ル四月ニハ議長藤澤幾之輔君貴族院議員

ニ勅任セラルル爲メ、議長ノ職ヲ辭セラレマシタナドノコトガゴザイマシタニモ拘ハラズ、幸ニ大過ナキヲ得テ今日ニ至リマシタコトハ、偏ニ諸君ノ御援助ニ依ルモノト存ジマシテ、厚ク御禮ヲ申上ゲル次第アリマス、茲ニ謹ンデ御挨拶ヲ申上ゲマス

年長者篠崎豊彦君 私ハ年長者ノ故ヲ以テ議員一同ニ代リマシテ、前副議長小山松壽君ニ對シマシテ御挨拶ヲ申述ベヨウト思ヒマス、小山君ハ去ヌル第五十八回特別議會ニ於キマシテ副議長ノ職ニ御就任以來、前議長藤澤幾之輔君ト共ニ、熱誠ト老練ナル手腕トヲ以テ常ニ公明克ク其職責ヲ盡サレ、又前議會閉會後、藤澤議長貴族院議員ニ勅任後ハ、専ラ議長トシテノ職務ニ當ラレマシタコトハ吾々ノ感謝スル所デアリマス、茲ニ謹ンデ一言御挨拶ヲ申上ゲマス

#### 第六十七回議會 (昭和九年十二月二十五日)

前議長秋田清君 諸君、私ハ本月十二日、身上ノ都合ニ依リマシテ、衆議院議長辭任ノ儀ヲ願出マシタルトコロ、翌十三日依願免職ノ難有御沙汰ヲ拜シマシタ、顧ミマスレバ、去ル昭和七年三月、諸君ノ御推薦ニ基キ、大任ヲ蒙リマシテヨリ三年間、六會期ヲ通ジテ大過ナク終始スルヲ得マシタルコトハ、全ク諸君ノ御同情ニ因ル御援助ノ實デゴザイマシテ、寔ニ感激ニ禁ヘマセス、茲ニ退職ニ際シ、謹デ深厚ナル謝意ヲ表シマス

年長者高木正年君 私ハ慣例ニ依リマシテ、本院ヲ代表スル資格ハアルカナイカ存ジマセヌガ、不

東ナ私ガ是ヨリ前議長ニ謝辭ヲ、皆様ニ代ッテ此席デ申上ゲマス、前議長ハ年來私ノ友人デアリマシタガ、昭和七年ノ選舉ニ當選セラレテ、私ハ其時ニモ、廻合セデアリマセウカ、議長ニ祝辭ヲ呈シマシタ者デアリマス、今日圖ラズモ議長ガ職ヲ辭サレマシテ、此最モ慣レタル、經過ノ好カツタ議長ノ辭職セラレタコトハ、非常ニ残念ニ思ヒマスガ、併シ是モ時勢ノ變化デ已ムヲ得マセヌノデアリマス、今日ハ皆様ヲ代表シテ、前議長ノ此三年間ニ受ケタ皆様ノ御同情ニ對シテ、深ク感謝ノ意ヲ表スルコトヲ申上ゲマス、私ハ少シ病氣デアリマシテ、十分ニ申上ゲルコトモ出来マセヌデ、禮ニ於テ或ハ缺ケル所ガアルカモ知レマセヌガ、是デ御免ヲ蒙ッテ、代表的ナ言葉ヲ止メテ、何卒前議長ニ對シテハ長ク皆様ヲ御同情ヲ完ウセラレテ、御援助下サルコトヲ深ク冀ヒマス

### (三) 任期満限ノ議長、副議長ノ挨拶及年長議員ノ謝辭

#### 第十六回議會 (明治三十五年三月九日)

議長片岡健吉君 (前略) …… 尙ホ諸君ニ一言致シマスノハ、抑々本議會ハ帝國議會開ケマシテ以來始テ四箇年ノ年期ヲ全ウシ圓滿ニ其任務ヲ盡シタノデアリマス、是ハ惟フニ時勢ノ必要ヨリシテ常ニ政府ト議會トガ胸襟ヲ披キ交譲妥協ヲ爲シタル結果ノ然ラシムル所ト信ズルノデアリマ

ス、今其四箇年間ニ於テ本院ノ爲シタル成績ヲ顧ミマスルト時恰モ戦後ノ經營ニ屬シテ歲計豫算ハ大ニ膨脹ヲ致シタノデアリマスガ是モ國家必要ノ經費ニ附イテハ常ニ協賛致シタノデアリマス又立法ノコトニ附イテハ多年本院ノ改正ヲ希望シタル彼ノ衆議院議員選舉法ノ改正ヲ結了致シマシテ是ハ次ノ總選舉ヨリ實施セラルル譯デアリマス、或ハ又府縣制郡制ノ改正北海道會ノ制定等自治ノ改良ヲ爲シ、其他戦後經營ニ關スル所ノ必要ノ増稅案或ハ法典ニ關スル所ノ諸法律案、其他郵便、電信、鐵道、船舶、關稅、漁業銀行ニ關スル諸法律案竝ニ臺灣經營ニ要スル所ノ諸法律案ノ立法ニ協賛ヲ致シ、或ハ議決シタル所ノモノヲ數ヘマスレバ、枚舉ニ遑アラヌノデゴザイマス、議長ニ於キマシテハ斯ク圓滿ニ其任期ヲ盡シテ此成績ヲ見タル上ハ、聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ背カズシテ國運ノ伸暢ヲ致シタノハ誠ニ國家ノタメニ慶賀スル次第デアリマス、年長者寺田彦太郎君 本議會ハ滿期四箇年目出度終了致シマシテゴザイマス、議會開設以來ノ歡デアリマス、是ハ桂内閣諸公ノ名譽ノミデハアリマセヌ、我帝國ノ光榮デアリマスと思ハレル、併ナガラ是ハ氣運ノ順序トシテ運ビマシタモノト私ハ信ジマス、ソレハ何ダト申シマスルニ他ニアラズデアリマス、諸君ト俱ニ憂慮致シマシタ、文明東漸極東ノ問題デゴザイマス、之ヲ大ニ憂慮致シマシタデ、議會開設以來忠勇熱心ノ我國民諸君此極東問題ニ就キマシテ各、憂慮スル所ガアツテ之ヲ研究致シ、古言ニアリマス通所謂三公道ヲ論ズル時ト思ヒマス、ソレガ多事複雑デ

アリマシテ其討論ノ結果、解散又解散ト云フ解散ト云フコトヲ免カレマセヌノハ、已ムヲ得ザルコトト思ヒマス所ガ北清事件、此事件ガ起リマシテ、我國ノ大和魂正義忠勇ノ状態ハ列國ノ認ムル所ト爲リマシタ從ヒマシテ日英ノ同盟モアリマスル、實ニ極東問題、心配致シマシタノガ完全ナル結果ヲ結ビマシテゴザイマス、デゴザイマスルデ此議院モ滿期四箇年目出度終了致シマシタト申スモ恐多イコトデゴザイマスガ、天皇陛下ノ御德澤ニ、諸君ノ熱心ナル忠勤カト思ハレマス、因テ祝辭ヲ申上ゲマス

#### 第二十五回議會 (明治四十一年十二月二十四日)

前議長杉田定一君 諸君私ハ曩ニ短才微力ヲ以テ議長ノ重任ヲ辱ウシ本年春任期滿ツルヤ尙議院法第十五條ノ命ズルトコロニ依リ議長ノ職務ヲ繼續シ其間戦後經營財政整理等ノ時局ニ當リ幸ニ大過ナクシテ職ヲ奉ズルヲ得タルハ是偏ニ前後代議士諸君ノ御援助ノ然ラシムルトコロニシテ深ク感謝スル次第デアリマス願ルニ國家最近ノ大事業ハ舉國一致ノ實ニ成リ舉國一致ハ憲政ノ賜ニシテ將來愈々國民ノ意思堅實ニシテ立法府ノ益、健全憲政ノ益、發達センコトヲ祈リマス、茲ニ謹デ在職中ノ御挨拶ヲ致シマス

年長者岩本晴之君 私ハ本院全員中ノ年長者デアリマスカラ前例ニ依リマシテ前議長杉田定一君副議長箕浦勝人君兩君ニ御挨拶ヲ申上ゲマス兩君ハ戦後ノ經濟又戦後ノ國事多端ノ折柄ニ緩急

其宜シキヲ取り議會ヲ圓滿ニ四箇年無事ニ終リ其間國家ノタメニ盡サレマシタコトハ一點ノ間然スルトコロナク上下大満足ニ一期間ヲ終リマシテ誠ニ吾々一同ニ於キマシテハ非常ニ大慶ニ存ジマス御前任中完ウ御勤メニナリマシタ御禮竝ニ御名譽ノ段ヲ茲ニ併セテ謝シテ置キマス

第二十九回(臨時)議會 (大正元年八月二十二日)

前議長大岡育造君ノ挨拶ハ同君議長就職ノ挨拶中ニアリ

前副議長肥塚龍君 私ハ不肖淺學ヲ以テ既往四年間無事ニ此重要ナル職務ヲ完クサセテ貫ヒマシタノハ、偏ニ諸君ノ御高庇ニ依ルト存ジマス、今日此職ヲ去ルニ臨ミマシテ、既往約四年間ノ諸君ノ御厚意ヲ深ク謝スルトコロデアリマス、尙此上相變リマセズ、御厚誼ノ程ヲ願ヒマス、一言御挨拶ヲ致シマス

年長者藏内次郎作君 …… 又前副議長肥塚君ハ御在職中ハ能ク其職責ヲ完ウセラレ、國家ノタメ御盡力アリシニ對シ、茲ニ謝辭ヲ呈シマス、議員一同ニ代リマシテ、右御挨拶ヲ致シマス

## 一〇 永年在職議員ニ對スル表彰決議竝謝辭

### (一) 第一回議會以來ノ在職議員ニ對スル表彰決議竝謝辭

第六十七回議會 (昭和十年三月十六日議決)

尾崎行雄君ニ對スル表彰文

議員正三位勳一等尾崎行雄君帝國議會開設以來繼續シテ議席ヲ衆議院ニ保チ當選十八回在職四十二年ニ及ヒ恆ニ民意ヲ體シテ公論ノ暢達ニ努ム眞ニ憲政ノ先覺タリ衆議院ハ君カ積年ノ功勞ヲ多トシ特ニ院議ヲ以テ之ヲ顯彰ス

右表彰ニ對スル謝辭

尾崎行雄君 只今ノ御決議ニ對シテ謹デ御挨拶ヲ致シマス、如何ニモ長ク當議場ニ居リハ致シマシタケレドモ、何等勳勞ノ見ルベキモノナキニ對シテハ、常ニ慚愧ノ至リニ堪ヘズ感ジテ居リマス、此場合ニ於テ、私情トシテ遺憾ニ堪ヘナイコトハ、初期以來常ニ兄弟ノ如ク共ニ議場ニモ働キ、議場外デモ働イテ居ッタ所ノ犬養毅君ト共ニ、此喜ビヲ頌ツコトノ出來ナイノハ、實ニ私情トシ

附錄 一〇 永年在職議員ニ對スル表彰決議謝辭

(一)

テ悲ミニ堪ヘマセヌ、併ナガラ憲政ニ功勞ノアツタコトハ、無論私ナドニ勝ルコトハ疑ヲ容レマセヌ、然ルニ生殘ッタ私ダケガ表彰セラレテ、死シタル者ニ付テ何等ノ事モナイト云フコトハ、或ハ生者ニ厚クシテ死者ニ薄イト云フ憾モナイコトハゴザイマセヌ、憲政ノ功勞者ハ、僅ニ犬養君ヤ私バカリデハナク、他ニモ幾ラモアリ、又當院ノ外ニモアリマス、先輩トシテハ大隈、板垣、或ハ伊藤博文諸君ノ如キ、同輩トシテモ既ニ故人トナラレタ者モ幾ラモアル、是等ハ苟モ立憲政治ト云フコトニ重キヲ置ク以上ハ、何レノ場合ニ於テカ、皆表彰セラレナケレバナラヌ筈ノモノト思ヒマス、而シテ憲法實施五十年モ、近ク數年ノ内ニ迫ッテ居リマス、多分議長及本院ノ諸君ニ於テハ、今日ヨリ是等ノコトヲ取調ベル機關ヲ設ケテ、漏レナク、公平ニ、生者ト死者トヲ問ハズ、院ノ内外ヲ問ハズ、苟モ立憲政治ノ實施及運用ニ功勞ノアツタ人ハ、總テ適當ナ表彰ヲ致シ、國家ガ其動勞ヲ認ムルト云フダケノ働キハ、必ず爲サル、コトト信ジ、又本員トシテモ特ニソレヲ切望スルノデアリマス、願クハ院ノ内外ヲ問ハズ、公平ニ御取調アランコトヲ希望致シマス、同時ニ又公ノ場合ニ於テ、一ツ遺憾ニ思フコトハ、元來申ス迄モナク、立憲政治ノ用ハ、健全ナル政黨ト相俟ッテ、初メテ完カルベキ筈ノモノデアリマスガ故ニ、今日若シ我國ノ兩大政黨ヲ初メトシテ、其他ノ政黨ガ皆健全ニ發達シテ、兩黨ガ代ル／＼内閣ヲ組織スルト云フ時代ニナッテ居ッテ、若シ此表彰ニ會ッタナラバ、私ノ喜ビハ今日ニ數倍スルモノデアルノデアリマス、然ルニ殘

念ナルコトハ、政黨及議會ノ信用ガ——地ニ墜チタトハ申シマセヌガ、私四十有餘年ノ議員生活ノ中デ、今日程薄クナッタコトハナイカノヤウニ考ヘルノデアリマス、此場合ニ於テ獨リ表彰セラレルト云フコトハ、私トシテハ實ニ慚愧ニ禁ヘヌノデアリマス、若シ議會及政黨ノ信用ガ薄クナッタト云フコト、私ノ認ムル通りデアルナラバ、其責ノ幾部分カハ、最モ久シク議會ニ居ル私トシテハ、無論雙肩ニ負ハナケレバナラヌ筈ノモノデアリマス、即チ其點ニ於テハ寧ロ懲サレ罰セラレマスルトモ、表彰セラルベキ資格ハナイ筈デアリマスルガ、遺憾ナガラ微力ノ致ス所、議會及政黨ノ信用ノ段々低クナルコトヲ極ヒ得ナカッタコトハ、實ニ議會ニ於ケル一日ノ長者トシテ、私ハ諸君ニ對シテ申譯ナク感ズルノデアリマス、併ナガラ之ニハ色々ナ原因ガアル、振返ッテ見マスルト、如何ニモ一人二人ノ力デ救ヘルモノデハナカッタラウカトモ思ヒマス、殊ニ議會ノ信用ノ段々地ニ墜チタト云フコトニ付テハ、政黨モ責任ガアル、全國人民モ責任ガアル、殊ニ行政部ニ立ッテ居ル所ノ人ハ、一層責任ガアルカト思ヒマス、元來我國ニ於テハ行政部ト立法部ガ權衡ヲ得テ居リマセヌ、世界何レノ優良ナル立憲國ヲ見テモ、斯ノ如ク不權衡ナル状態ヲ、其儘坐視シテ居ルト云フ場所ハ他ニナカラウカト信ズル、極ク其近キ例ヲ申シマシテモ、例ヘバ只今議長及議員諸君ガ、宮中ニ於テ如何ナル席次ヲ有ッテ居ラレルカハ承知致シマセヌ、私モ時々宮中ニハ出マスルケレドモ、僅カニ二三年間行政部ニ居ッタト云フ爲ニ、只今御讀上ゲニナッタ通り、勳

一等ト云フ資格ヲ有ラテ居リマスルガ故ニ、宮中デハ、私ハ議員トシテ列セズシテ、常ニ勳一等ノ位置ヲ列スル、隨テ議長其他ノ諸君ガ如何ナル待遇ヲ受ケテ居ルカヲ只今記憶シテ居リマセヌ、併シ立法部相當ナ待遇ハ與ヘラレテ居ラヌノデハナイカト心配ヲ致シマス、是等モ憲法實施五十年アタリノ機會ニ於テ、匡サナケレバナラヌコトダラウト思ヒマス、英吉利ノ例ヲ申シマスルト、議長ハ無論黨派ノ外ニ立ッテ、全院ノ議長デアアル、決シテ一黨一派ノ議長デハアリマセヌ、故ニ自ラ任ズル所モ、或ハ我國ニ於ケル議長ヨリカ重イカモ知レマセヌケレドモ、世間一般ノ待遇、宮中ノ待遇、我國トハ比較ニナラヌ、普通議長ノ席次ハ、總理大臣ト樞密院議長ヲ除イタ次ガ衆議院議長ノ席次デアッテ、其議長ハ英吉利全貴族ノ上席ヲ占ムルコトニ相成ッテ居ル、一國ノ選良ノ府ノ議長タル者ハ、左モアッテ然ルベキコトデアラウト思フ、今日ハ外國ノ事例ト言ヘバ、事ノ善惡ニ拘ラズ排斥スルト云フヤウナ傾ガアリマスルケレドモ、斯ノ如キヤリ方ハ、寧ロ外國ノ英吉利ノ方ガ合理的デアッテ、日本ガ之ヲ大層輕ク扱ッテ居ルノガ間違デハナイカト思フノデアリマス、斯ノ如クシテ行政部ト立法部ガ權衡ヲ得ナイ、歴史ニ遡ッテ見レバ無理ハゴザイマセヌ、薩長藩閥ノ連中ハ、立法府ノ信用ノ段々高マルコトヲ餘リ好マナカッタ、ソレニ使ハレテ居ル所ノ官僚輩ハ無論ノコト、何トカシテ之ヲ抑ヘルコトヲ、自分ノ立身出世ノ捷徑トスラ考ヘタ時代モアッタノデアリマスカラ、ドウシテモ立法部ノ位置ノ陞ルコトノ邪魔ヲ百方致シマシタ、是ハ宜

シクナイコトデアリマスルカラ、政黨及議會ノ信用ノ墜チタト云フコトヲ咎ムルト同時ニ、此不權衡ハ先ヅ行政部ノ人達モ注意シテ直サナケレバナラヌ筈ノモノト思ヒマス、自分ノコトヲ申スハ甚ダ愧入りマスケレドモ、只今御決議ノ如ク、私ハ立法府ニ於テハ稍々上流ノ位置ヲ占メテ四十有餘年勤メタ、行政部ニ於テハ纔ニ伴食大臣トシテ僅カニ三年居ッタ、其伴食トシテ二三年居レバ正三位勳一等ノ資格ヲ與ヘラレ、此議院ニ於テ一流ノ仲間ニ入ッテ四十餘年勤メタノデハ、マダ何等ノ國家カラハ待遇ヲモ享ケテ居リマセヌ、唯僅ニ氣紛レ同様ニ、時ノ内閣ガ發作的ニ勳章ナドヲ與ヘテ、儲カ議員ヲ長ク勤メタト云フ爲ニ勳三等ニ敘セラレタコトハアルト思ヒマス、元來立法府ニ向ッテ斯ノ如キ待遇ヲ與ヘルコトノ適否ハ問題デアリマス、初カラ勳章トカ位階トカ云フモノヲ與ヘズシテ、國民ノ選良ハ特別ノ表彰ノ仕方ヲシタラ宜カラウト思ヒマシタケレドモ、既ニ與ヘタ以上ハ仕方ガナイカラ、矢張行政部ト權衡ヲ得ナケレバナラヌ、行政部ニ伴食トシテ僅カニ三年居ッテ正三位勳一等ニナルナラバ、コチラニ四十餘年勤メタナラバ、ソレ以上ノモノヲ與ヘルノガ當然デアアル、ソレヲ行政部ノ者モ平氣デ居リ、世間一體モ頓著シナイト云フコトハ、如何ニ我國ニ於ケル憲法政治、即チ人民ノ輿論公義ニ重キヲ置クト云フ政治組織ガ、理解セラレテ居ラヌカト云フコトノ、一ツノ證據ニ確ニナルノデアリマス、若シ私ガ行政部ニ入ラズシテ、議員ダケデ居ッタナラバ、多分勳三等デ終リ、死ンダナラバ高木正年君同様ニ、從

五位カ正五位クライ贈ラレタカモ知レマセヌ、ソレガ國家ノ議員ニ對スル認識ノ仕方デアル、之ヲ當然ト思フ人ハ、官尊民卑ノ弊風ニ飽マデ囚ハレタ人以外ニハ、何人モ當然ト思フコトハナイデアリマセウ、斯ノ如キ官尊民卑ノ弊風ヲ矯メナイ以上ハ、議會ノ信用及議員ヲシテ自ラ重ンズルト云フ精神状態ヲ起サセルコトハ元來無理デアリマス、如何ナル待遇ヲシテモ、斯様ナ考ヲ起ス人ハ、陋巷ノ裡ニ在ッテモ一國ノ重キニ任ズルコトガ出來マスルケレドモ、普通ノ人間ハサウ云フ者デハゴザイマセヌ、國家ノ待遇ニ應ジテ、ソレ相當ノ考ヲ起スノガ普通ノ人情デアリマシテ、議員ト雖モ帝國普通ノ臣民デアル以上ハ、之ニ向ッテハ國家ハ相當ナ待遇ヲ與ヘナケレバナラヌト思フ、此事モ行政部ノ諸君ニ向ッテ、御挨拶ノ序ニ忠告ヲスルト同時ニ、立法部ノ諸君ニ於テモ始終是等ノコトニ注意シ、議長ニ於テハ院ノ事務官ナドヲ指揮シテ、常ニ是等ノ典例ヲ調べテ、有ユル諸外國ノ例、如何ニ取扱ッテ居ルカ、日本ノ如何ニ不適當ナルカト云フコトヲ調べテ、機會アル毎ニ議長ノ地位ヲ陞セ、議員ノ地位ヲ昇セルト云フコトニ御努メニナルコトモ、矢張憲政擁護ノ一端ト心得テ居リマスル、又政黨ガ今日ノ事態ニ陥ッタコトニ付テハ、責任ノ幾何カラ負ハナケレバナラヌ所ノ私トシテハ、實ニ遺憾デハアリマスルガ、之ニ對シテハ可ナリ盡力ハ致シマシタ、政黨ガ信用ヲ失ッタト云フコトハ内部ニ原因ガアル、即チ一言ニシテ言ヘバ、政黨ガ權力金力ヲ濫用シ過ギタ、ソレヲ濫用スル爲ニ、權力金力ヲ得ル目的デ不當ナ手段ヲ執ッタ、是

ガ内部ノ原因デアリマス、此權力金力ノ濫用ヲ自ラ戒メザル以上ハ、此原因ヲ除イテ、政黨ガ改善ノ途ニ就クコトハ出來マセヌ、之ヲ直ス爲ニ、私ハ内ニ於テ色々ナコトヲ致シマシタ、此議會ニ提出シタ、ケデモ、黨費公表議案、或ハ又選舉入費調べ方、黨勢擴張ノ爲ニ公共事業ヲ用フルコトヲ禁ズル法律案、色々ナコトヲヤッテ見マシタケレドモ、ドウモ思ハシク參リマセヌ、又議長ノ職責ナドニ對シマシテモ、私ハ奧議長ヤ粕谷議長ニ肉迫シテ、今ノヤウナやり方ハ行ケヌゾト云フコトヲ、極力忠告シタ揚句、遂ニ政黨以外ニ立ッタ議院ノ議長トナリ、ソレ迄ハ政黨ノ議長デアッタガ、議院ノ議長トナルト云フコトニナッタデアリマスケレドモ、少シク怠ッテ居リマス、ト、動モスレバ復タ後戻リヲスルヤウデアリマス、ソレ等ノコトモオ互ニ改メナケレバナリマセヌ、元來議長ノ選舉ハ、英吉利邊デハ取り合ハ致シマセヌ、譲り合ハ致シマス、何時デモ満場一致デ選ム、ソレハ多數黨、即チ其時ノ政府黨ガ少數黨、即チ反對黨ノ陣營ヲ物色シテ、議長ノ適任者ヲ探シテ、無ケレバ仕方ガナイガ、適任者ガアレバ、反對黨ノ一番適任者ヲ指名致シマス、少數黨ノ中カラ指名ヲ致ス、既ニ指名セラレタ所ノ少數黨ハ、無論反對スルコトハ出來マセヌカラ、ソコデ満場一致ノ議長ガ何時デモ出來ル、一度選マレ、バ、病氣其他ノ事故ガ無い限り、終身其職ニ居ルノガ當リ前デ、議會ガ幾ラ改選セラレヤウトモ、其人ガ居ル間ハ必ズソレヲヤル、是モ議院ノ議長ヲ決メル方法トシテハ、洵ニ左モアルベキコト、思ヒマサガ、日本デハ何時デモ議長ノ



奪ヒ合ヲシテ居ル、奪ヒ合ヲスルト云フコトハ即チ議長ヲシテ不公平ヲサセヨウト云フ意思ガアルカラ取り合ヲスルノデアリマス、公平ニ其職務ヲ行ハントスルナラバ、英吉利ノ如ク譲リ合コソスレ、決シテ取り合ナドヲスル筈ハアリマセヌ、ソレ等ノ點ニ於テハ、精神狀態ガ根本的ニ間違ッテ居リマス、總テノ政黨及議員ガ、議長ノ職務ヲ理解シナイト言ハレテモ、辯解ノ言葉ハアリマスマイ、是等モドウカ機會アル毎ニ改メテ行キタイモノデアリマス、其他色々アリマシガ、今日ハ御禮ガ主デアリマスカラ多クヲ申シマセヌガ、尙ホ外部ノ原因トシテハ、矢張國民全體ヲモットオ互ニ教育シナケレバナリマセヌ、議院制度ト云フモノハ、元來少數ノ權力者、金力者ノ跋扈ヲ匡正スルノガ根本ノ目的デアリマスカラ、何方カト言ヘバ權力者、金力者、即チ時ノ政府ナドニ反對ノ投票ヲ入レナケレバナラヌ筈ノモノガアリマスガ、我國ノ選舉人ハ權力者、金力者ヲ匡正スルノデナクシテ、ソレニ媚ビ諛ッテ投票ヲ入レル、政黨ガ何時デモ多數ニナリマス、是デハ或ハ場合ニ於テハ、立憲政治アルガ爲ニ、全國大多數ノ人間ハ、善キ專制政治ヨリモ、自ラ己レヲ苦メル結果ニ陥ルコトハ當リ前ノコトデアリマス、斯ノ如ク權力、金力ニ反抗スベキ選舉人ガ、之ニ屈服シ服従スルト云フ、卑劣ナ封建的思想ヲ出來ルダケ早ク洗ヒ去ラナケレバ、政黨ダケ良クナル譯ニハ參リマセヌ、極ク有體ニ申シマシレバ、政黨ハ權力、金力ヲ濫用スレバ内閣ガ取レル、黨勢擴張ヲヤッテ内閣ヲ組織スルコトガ出來ル、之ヲ濫用シナケレバ黨勢ハ段々

衰弱スルコトニナツテ居ルノガ日本ノ現状デアル、元來政黨ノ人ハ何處ノ方面ノ人ト較ベテモ、寧ろ優リハスルトモ劣リハセヌ人間ガ集ッテ居ルノデアリマス、然ルニ今日デハ政黨員ト言ヘバ、普通ノ日本人中ノ層デモ集ッテ居ルカノ如ク、動モスレバ世間デ看做シテ居ルノハ、以テノ外ノ心得違デアル、今政黨ノ陣中ヲ御覽ニナリマス、其首領株ハ多クハ官僚出ノ人デアリマス、政黨出身ノ人デ首領株ニナツテ居ル人ハ殆ド少イ、其官僚出ノ政黨員ヲ御覽ニナリマス、行政部ニ於テハ皆指折ノ人デアリマス、伊藤公モ政黨員ニナツタ、是ガ日本人中ノ下等ノ人間デアルトハ誰モ言ハヌデアラウ、原敬君、加藤高明君、軍部カラ言フナラバ桂君、田中義一君、又政黨ノ中ニハ入ラズトモ、政黨ト共ニ事ヲシテ居ル所ノ現首相ヲ初トシテ、前ノ齋藤首相、山本權兵衛伯、幾ラモアルノデアリマス、是等モ決シテソレ等ノ社會ニ於テ優リハスルトモ劣ッタ人間デアリマセヌ、サウ云フ優レタ者ダケガ政黨ニ入ッテ來、若クハソレト事ヲ共ニシテ居ルノデアリマスルカラ、當リ前ナラバ政黨ガ惡クナラウ筈ハナイ、行政部及軍部ニ於テモ稀ニ見ル人ガ政黨ニ入り、若クハ是ト提携シテ居ッタノデアリマス、其政黨ガ惡クナツタト云フコトハ、幾何カノ罪ハ政黨ニアリマスルケレドモ、根本原因ハ外、即チ全國人民ガ之ニ對スル途ヲ知ラナイ、善イ事ヲスレバ投票ヲ入レナイ、惡イ事ヲシテ、金力、權力ヲ濫用スレバ投票ヲ入レル、即チ惡事ヲスレバ黨勢ガ擴張サレ、善事ヲスレバ黨勢ハ衰微スル、黨勢ガ衰ヘテハ、國家ノ爲ニ獻身の働キ

ヲシヨウトシテモ出來ナイカラ、涙ヲ吞デ政黨ノ首領株ハ、已ムヲ得ズ世間ノ非難攻撃ヲ冒シテ不正ナ金ヲ集メル、不正ナ金力ヲ濫用シ、色々ナ事ヲスルト見ルノガ、公平ナ見方ト私ハ思フノデアリマス、故ニ兩方カラ直サナケレバナラス、内カラ直スノ手段トシテ、色々ヤッタガ效能ガナイカラ、私ハ最後ニ逆ノ手ヲ打ッテ、暫ク之ニ政權ヲ渡サズニサヘ居ッタナラバ、彼等ハ悔悟反省スルデアラウト考ヘマシタ爲ニ、遺憾ナガラ十年バカリ前カラ、當分ノ間政黨ニ政權ヲ渡スナト私ガ唱ヘ出シタコトハ、諸君皆御承知デアラウト思ヒマス、今言フ所ノ憲政ノ常道ト云フノハ、正シキ政黨ノアル時ニ於テノ常道デアッテ、今日ノヤウナ惡イ事ヲスル政黨ニ政權ヲ渡スノハ、憲政ノ常道デアリヤウ管ガナイト云フノガ私ノ主張デアリマス、全國私ニハ反對致シマシタガ、偶然ノ結果デ、而モ私ガ最も同意スルコトノ出來ナイ手段ニ依ッテ、政黨内閣ガ一時倒レテ、絶對多數ヲ有ッテ居ル所ノ政友會モ、二度内閣組織ヲスルコトガ出來ナカッタ、失禮ナガラ多分多少思當ルコトガアルダラウカト考ヘマス、アレダケノ多數ヲ以テ政權ガ取レナイ、心アル者ハ何故カト反省セナケレバナラス譯デアリマス、之ヲ反省スル時ニ、ソレハ信用ヲ失ッタ爲デアル、何故信用ヲ失ッタカ、權力、金力ヲ濫用シ、且ツ不謹慎ナコトヲシタ爲デアルトハ、誰デモ氣ガ付クニ決ッテ居ル、氣ガ付ケバ、ソコデ改善ノ途ガ開ケル、私ガ政黨ニ内閣ヲ渡スナト言フノハ、恰モ慈父ガ可愛イ子ノ放蕩道樂ヲ直サウガ爲ニ、小遣錢ヲヤラナイト云フ心持ヲ以テヤッタノデアル、

政黨ヲ憎ムガ爲デハナイ、之ヲ愛スルノ至レルガ爲ニ、暫ク政權カラ遠ザケテ、彼等ヲシテ悔悟反省セシメヨウト云フ意味デアリマス、兩黨ノ諸君ニシテ、苟モ悔悟反省シテ、良クナル道ヲ開クナラバ、私ハ及バズナガラ何時モ死ヌマデ縁ノ下ノ力持チヲ致シマス、決シテ憎ム爲デハナイ、同時ニ全國人民モ良クシナケレバナラスト同時ニ、行政部ト立法部ノ權衡ヲ維持スルコトニシナケレバナラス、是等ノ調子ガ總テ揃ヘバ、議會ノ信用ハ恢復シ、隨テ政黨員自ラ任ズルコトモ高クナルノデアラウカト考ヘマス、故ニ茲ニ御禮ノ御挨拶ヲ兼ネテ、ソレダケノコトヲ申述ベ、殊ニ最初ニ述べタ憲政五十年ノ機會ニ於テ、議院ニ關スル總テノ制度ヲモウ少シ秩序的ニ考ヘ、功勞者ヲ萬遍ナク、今日表彰セラレル人バカリデハナク、有ユル方面ニ向ッテ表彰セラレルコトヲ希望致シマス、同時ニソレハ唯年限ガ長ク居ッタト云フダケデハ困ルカラト思ヒマス、年限ハ如何ニ短クトモ、非常ナ功勞ヲ舉ゲタ人ハ幾ラデモアルベキ譯デアリマスルカラ、ソレ等モ矢張功勞ヲ認識シテ、表彰スルト云フ手續ヲ御執リ下サレマシタナラバ、私ニ取ッテハ實ニ本懐ノ至リ、今日此光榮ニ浴スル以上ノ歡ビデアリマスル故ニ、御禮ノ序ニ併セテ其事ヲ申述ベテ置キマス

## (二) 三十年以上ノ在職議員ニ對スル表彰決議並謝辭

第六十七回議會 (昭和十年三月十六日議決)

附錄 一〇 永年在職議員ニ對スル表彰決議並謝辭

(二)

二百三十一

菅原傳君ニ對スル表彰文

議員正五位勳三等菅原傳君衆議院議員ニ當選スルコト十四回在職三十四年ニ及ヒ恆ニ憲政ノ爲ニ盡瘁シ民意ノ暢達ニ努ム衆議院ハ君カ積年ノ功勞ヲ多トシ特ニ院議ヲ以テ之ヲ顯彰ス

大竹貫一君ニ對スル表彰文

議員勳三等大竹貫一君衆議院議員ニ當選スルコト十四回在職三十二年ニ及ヒ恆ニ憲政ノ爲ニ盡瘁シ民意ノ暢達ニ努ム衆議院ハ君カ積年ノ功勞ヲ多トシ特ニ院議ヲ以テ之ヲ顯彰ス

安達謙藏君ニ對スル表彰文

議員正三位勳一等安達謙藏君衆議院議員ニ當選スルコト十二回在職三十二年ニ及ヒ恆ニ憲政ノ爲ニ盡瘁シ民意ノ暢達ニ努ム衆議院ハ君カ積年ノ功勞ヲ多トシ特ニ院議ヲ以テ之ヲ顯彰ス

望月圭介君ニ對スル表彰文

議員從三位勳一等望月圭介君衆議院議員ニ當選スルコト十一回在職三十一年ニ及ヒ恆ニ憲政ノ爲ニ盡瘁シ民意ノ暢達ニ努ム衆議院ハ君カ積年ノ功勞ヲ多トシ特ニ院議ヲ以テ之ヲ顯彰ス

濱田國松君ニ對スル表彰文

議員正五位勳二等濱田國松君衆議院議員ニ當選スルコト十回在職三十一年ニ及ヒ恆ニ憲政ノ爲ニ盡瘁シ民意ノ暢達ニ努ム衆議院ハ君カ積年ノ功勞ヲ多トシ特ニ院議ヲ以テ之ヲ顯彰ス

右表彰ニ對スル謝辭

菅原傳君、只今ノ大竹貫一君、安達謙藏君、望月圭介君、濱田國松君及不肖ト、五名ニ對スル御鄭重ナル御決議ニ對シ、甚ダ僭越ナガラ私ヨリ一同ヲ代表致シマシテ、一言御挨拶ヲ申上ゲタイト存ジマス、吾々五名ノ政治上ノ意見ハ、必シモ一致致シタルモノデハゴザイマセヌ、併ナガラ孰レモ明治大帝ノ御聖旨ニ依リ、立憲政治ノ布カル、ヤ、先輩ノ驥尾ニ附シ、立憲政治ノ爲ニ三十有餘年間、孜々トシテ努力致シタモノデアリマス、然ルニ今日尙ホ憲政有終ノ美ヲ濟スニ至ラザルハ、眞ニ衷心忸怩タルモノガアルノデゴザイマス、希クハ春秋ニ富マル、諸君ト共ニ、今後益々力ヲ憲政ノ爲ニ盡サンコトヲ期シテ居ルノデゴザイマス、圖ラズモ茲ニ永年在職ノ故ヲ以テ、功勞表彰ノ御決議ニ與リマシタコトハ、誠ニ感銘ニ堪ヘザルト共ニ恐悚ノ至リデゴザイマス、茲ニ一同ヲ代表致シマシテ、謹ミテ感謝ノ意ヲ表スル次第デゴザイマス

第六十八回議會（昭和十一年一月二十一日議決）

西村丹治郎君ニ對スル表彰文

議員正五位勳二等西村丹治郎君衆議院議員ニ當選スルコト十二回在職三十年ニ及ヒ恆ニ憲政ノ爲ニ盡瘁シ民意ノ暢達ニ努ム衆議院ハ君カ積年ノ功勞ヲ多トシ特ニ院議ヲ以テ之ヲ顯彰ス

附錄

一〇 永年在職議員ニ對スル表彰決議並謝辭

(二)

二百三十三

## 右表彰ニ對スル謝辭

西村丹治郎君 一言極メテ簡單ニ御挨拶ヲ申上ゲタイト思ヒマス、只今院議ヲ以テ、不肖私如キ者ニ對シテ、過去三十年間、曠シク議員ノ職ニ在ッタニモ拘ラズ、表彰ノ決議ヲ戴イタト云フコトハ、身ニ餘リ光榮トシテ洵ニ感激ニ堪ヘマセヌ、今後ハ、一層駑才ニ鞭チマシテ、君國ノ爲ニ忠誠ヲ盡シ、憲法政治發達ノ爲ニ微力ヲ捧ゲマシテ、今日ノ此御決議ニ對スル萬分ノ一ノ義務ヲ果シタイト考ヘマス、簡單デハアリマスガ、之ヲ以テ御挨拶ニ代ヘマス

## 第七十回議會（昭和十一年十二月二十七日議決）

## 荒川五郎君ニ對スル表彰文

議員正五位勳二等荒川五郎君衆議院議員ニ當選スルコト十回在職三十年ニ及ヒ恆ニ憲政ノ爲ニ盡瘁シ民意ノ暢達ニ努ム衆議院ハ君カ積年ノ功勞ヲ多トシ特ニ院議ヲ以テ之ヲ顯彰ス

## 右表彰ニ對スル謝辭

荒川五郎君 諸君、茲ニ新ニ儀容ヲ整ヘラレタ新議會ノ而モ開會ノ劈頭ニ於テ、貴重ノ時間ヲ以テ特ニ私ノ爲ニ表彰ノ典ヲ御舉ゲ下サイマシタコトハ、私ノ大ナル光榮トシテ深ク感謝致ス所デアリマス、一言御挨拶申上ゲテ衷心ノ謝意ヲ表シタイト存ジマス、諸君、私ハ明治三十七年三月

初メテ議員ニナリマシテ以來、滿三十年ノ長キ、其間碌々トシテ今日ニ至リマシタコトハ、洵ニ慚愧ノ至リニ堪ヘマセヌ、唯私ハ教育事業ヲ以テ私ノ天職トシ、生命ト致シ、全精神ヲ教育奉仕ニ捧グル者デアリマス、ソレニハ議席ヲ有ツコトガ必要ト認メマシテ、即チ選舉ニ立ツコトモ教育奉仕ノ一ツト考ヘ、自ラ身ヲ以テ教育者タランコトヲ覺悟致シテ居ル者デアリマス、勿論人ノ教育者ト申シテモ、德望ヤ才學等ノ點ニ於テハ、勿論當ル所デアリマセヌ、ガ自ラ守リ自ラ努力シテ出來得ルコトハ、是ハ斷ジテ人ノ指彈ヲ受クルヤウナコトガアツテハ相成リマセヌ、飲食カラ男女ノ關係等、品行上ノコトヨリ、其他義理人情等ノ世事ニ關シテモ、斷ジテ人ノ指彈ヲ受クルヤウナコトガアツテハナリマセヌ、殊ニ立法ノ府ニ立ツテ法律ヲ作ル者ガ、法律ヲ犯シテ相成リマセウカ、法律ニ忠實ナルコトハ國民ノ大切ナ資格ノ一ツト心得マス私ハ此固キ信念ヲ以テ神明ニ誓ウテ諸事ニ當リ、殊ニ毎回ノ選舉ニモ臨ンデ居ル次第デアリマス、今既往三十年ノ跡ヲ顧ミマスレバ、轉ニ感慨ニ堪ヘナイモノガアリマス、從來教育ノコトハ立法ノ府デハ殆ド其聲ヲ聞カナイ、明治三十九年私ガ小學校教員俸給國庫補助ノ案ヲ出シマシタ時ハ議會内外ヲ通ジテ殆ド冷笑ヲ以テ迎ヘラル、有様デアッタノデアリマス、其後政友會ノ三土忠造君等カラ同種ノ案ガ出マシテ、漸次氣運ヲ促シマシテ、遂ニ大正七年ニ至ッテ義務教育費國庫負擔法ト題シテ、政府ノ提案ヲ見ルニ至リマシタ、爾來此問題ハ盛ニ朝野ノ政論ヲ賑ハスニ至ッタ次第デアリマス、勿論此

義務教育ハ全國民本位デアリマスカラ、國費ヲ以テモ十分普及徹底ヲ圖ランケレバナリマセヌガ、中等以上ノ教育ニ至ッテハ、是ハ主トシテ本人本位デアリマスカラ、寧ロ私學ノ經營ニ任ズベキモノデアリマシテ、殊ニ我國ノ如キ物資ノ乏シイ國ニ在ッテハ、艱苦缺乏ニ耐ヘ、惡戰苦闘ヲモノトシナイ獨力奮闘ノ士ヲ特ニ必要ト致シマス、ソレニハ官公立ノ如キ設備内容萬端ガ十分ニ整ウテ、謂ハゞ溫室的ノ教育ヨリモ、野邊ノ草ガ風雨寒暑ヲ凌イデ、踏マレテモ、躪ラレテモ、能ク伸上ラントスルガ如キ世ノ荒浪ニ耐ヘル私學ノ教育ヲ寧ロ必要ト存ジマス、殊ニ官公立ハ其教員ガ皆官吏デアリマシテ、此官吏ニ率キラレルカラ、ソコデ多クハ彼等學生ハ官僚的トナリ、サナキダニ官尊民卑ノ弊風ヲ益々助長シテ、是等卒業生ハ多クハ官吏ヤ其他俸給生活者トナッテ、安キニ就カントスルノ傾ガアルコトハ、注意スベキコトト存ジマス、勿論官公立ニモソレノ特色ガアリマスガ、私ハ此私學ノ特色ヲ大イニ發揮スルコトガ國家ノ大事デアリ、殊ニ國費節約ノ上ニモ重要ナ關係ガアリト考ヘマシテ、此見地カラ私學ノ隆昌發達ヲ圖ルコトガ大イニ必要ト存ジマス、ソレニ付キマシテハ彼等中等教員ノ待遇、殊ニ恩給法ヲ立テテ其老後安定ノ保障ヲ致スコトノ最必要アリト考ヘマシテ、全國私立中等諸學校教職員ノ恩給法ヲ設ケマシテ、爾來努力シテ、今ヤ積立金二百二十餘萬圓ニ達シ、又畏多クモ上 陛下ヨリ有難キ巨額ノ恩賜金ヲ戴クノ光榮ニ浴シタ次第デアリマス、以上ハ學校教育ニ關シテノ事デアリマスガ、廣義ノ教育ハ我が

民族ノ根本ニ遡ッテ、其素質ノ改善ヲ必要ト致シマス、私ハ多年研究ノ結果、先年皆サンノ御盡力ヲ得マシタ少年教護法トナリ、更ニ御願ヒ申シテ二回モ提出致シテ居リマス、民族優生保護法案ノ如キハ、是レ我が民族素質ノ改善ノ根本ヲ成スモノト考ヘマス、斯様ニ教育ノ事タルヤ其範圍ガ極メテ廣ク且ツ重大デアリマシテ、私共教育ヲ以テ生命ト致シテ居ル者ノ、心血ヲ注イデ努力奮勵シナケレバナラヌ問題ハ中々少クアリマセヌ、私ハ酒ヲ廢メ、煙草ヲ廢メ、碁將棋等ヲ斥ケテ、一意専心自彊息マズシテ居リマスケレドモ遺憾ナガラ短才無力ニシテ、事志ニ適フ能ハザルヲ深ク遺憾ト致シマス、冀クバ滿堂忠誠ノ念ニ富マル、諸君ノ御示教御鞭撻ヲ得テ、幸ニ是等国家ノ根本問題ノ實現ノ歩ヲ進メタイト熱心ニ祈ッテ居リマス、今日斯ル皆様ノ偉大ナ御厚意ニ接シテ感慨無量ナルモノガアリマス、謹ンデ深厚ノ敬意ヲ表シ、厚ク御禮申上ゲマス

一一 辭職願、死亡届(例示ニ止ム)

(一) 議長及副議長ノ辭職願竝奏上

(1) 議長辭職奏上ノ件

衆議院議長(位勳功)某議長辭職ノ件  
右謹テ奏上ス

年 月 日

衆議院副議長 某  
衆議院書記官長 某

辭職願

某儀

今般職務ノ都合ニ依リ衆議院議長辭職仕度此段御執奏被下度候也

年 月 日

附錄 一一 辭職願、死亡届 (一)

衆議院副議長

衆議院議長 某

(口) 副議長辭職奏上ノ件

衆議院副議長(位勳功)某副議長辭職ノ件

右謹テ奏上ス

年 月 日

衆議院議長 某  
衆議院書記官長 某

辭職願

某儀

衆議院副議長辭職仕度此度奉願候也

年 月 日

衆議院議長

殿

衆議院副議長 某

(二) 議員ノ辭職願

辭職願

私儀

今般病氣ニ罹リ醫師ノ勸告ニ基キ靜養ノ必要有之到底職務ニ難堪候間辭職仕度此段奉願候也

年 月 日

何縣何區選出

衆議院議員 何 某

衆議院議長

殿

(三) 死亡屆

死亡屆

何縣何區選出何派所屬

衆議院議員(位勳功) 何 某

右何地ニ於テ何々ノ爲 年 月 日午 時死亡致候間此段及御届候也

附錄 一一 辭職願、死亡屆 (一一三)

年 月 日

縣 郡 町村 番地

嗣子 何 某

衆議院議長

殿

### 一二 議員資格ニ關スル報告書並照會往復

#### (一) 議員資格審査ノ報告書

##### 第一 審査ヲ爲シタル場合

##### (一) 西山志澄君資格審査ノ件(第四回議會)

被告議員西山志澄ハ高知市外三箇所ニ於ケル地所四筆ノ外地租金拾參圓五錢六厘ヲ納ムヘキ高知市所在ノ地所ヲ植木家離退ノ際身附所有トシテ持歸リタリト云フト雖其自己ノ名義ニ書換ヘ登記ヲ經タルハ明治二十六年二月九日ニ在ルヲ以テ右地所ノ地租ハ其當日迄ハ被告ノ納稅資格ニ算入スヘキモノニ非ス又被告ハ明治二十五年八月三十日地租金九圓五拾壹錢五厘ヲ納ムヘキ高知市所在ノ地所ヲ購買シタリト云フト雖被告ハ前ニ即チ同月二十七日長岡郡高須介良兩村所在ノ地所二筆ヲ他人ヘ賣却セルヲ以テ同日ヨリ同月二十九日ニ至ル間ハ納稅資格ニ必要ナル期限ヲ中斷シタルモノトセサルヲ得ス然レトモ右地所二筆ノ賣買ハ高知地方裁判所ノ判決ニ依リ全然解除セラレ且ツ其登記ハ取消サレタルヲ以テ全ク原狀ニ復シ期限ヲ中斷スルニ至ラザリシ故ニ被告西山志澄ハ滿一年以上地租拾五圓以上ヲ納ムヘキ土地ヲ所有シ之ヲ納メ仍引續キ所有

附錄

一二 議員資格ニ關スル報告書並照會往復 (一)



シ及ヒ納ムル者ニシテ議員タル資格ニ缺クル所ナキモノトス

(二) 高野孟矩君資格審査ノ件(第十八回(特別)議會)

第一 臺灣法院判官ハ衆議院議員選舉法第十五條ノ制限内ニ入ラス

第二 高野君ハ當初抗議ヲ爲シ本院並貴族院ニ於テ之ヲ相當ト爲シタルニ拘ラス同君ハ其ノ後

ニ至リ自ラ辭表ヲ呈出シ辭任ノ意思ヲ表示シタルノミナラス事實ニ於テモ司法官ト兩立セサ

ル辯護士ノ職ニ從事シタルヲ以テ今日最早臺灣法院判官ノ職ニ在ラサルモノト認ム

(三) 佐竹作太郎君、根津嘉一郎君資格審査ノ件(第二十一回議會)

本件ニ於テハ衆議院議員選舉法第十三條第二項ノ政府ノ爲請負ヲ爲ス法人トアルハ民法第六百

三十二條ニ規定セル請負ト同意義ナルヤ將タ民法規定以外ノ意義ヲ有スルモノナリヤヲ審究ス

ルヲ緊要ナリトス

一 凡ソ公法中特ニ公法ノ語トシテ特有ノ意義ヲ示サスシテ私法中ノ語ヲ引用シタルトキハ其ノ

意義ハ私法中ニ用キタルモノト同一ナリト認ムルヲ當然ナリトス

一 請負ナル法語ハ法律上一定ノ意義ヲ有シ即チ民法第六百三十二條中ニ掲ケタル定義ノ通ニシ

テ他ニ公法中別段ノ定義ヲ有セシメタル例ナシ

一 衆議院議員選舉法ヲ通覽スルニ民法刑法商法及破産法ノ法語ヲ用キタル場合少カラス殊ニ第

二章選舉人被選舉人ノ資格ニ關スル規定ニ於テ然リトス然ルニ此ノ數多ノ法語ハ孰レモ其ノ關係私法ノ定義ナルニ獨リ請負ナル法語ノミ民法商法ノ定義ト異ナル意義ヲ有スルモノト解釋スルハ失當ナリ

一 商法第二百六十四條ニ商行爲ヲ列舉シタル第三ニ電氣又ハ瓦斯ノ供給ニ關スル行爲トアリ其

ノ第五ニ作業又ハ勞務ノ請負トアリテ電氣ノ供給ハ請負ナル法律行爲ト明カニ區別セラル

右ノ諸點ヲ綜合スルニ衆議院議員選舉法第十三條第二項ノ請負ナル法語ハ民法及商法ニ規定ス

ル所ト同一意義ヲ有スルモノト斷定セサルヲ得ス

本件東京電燈株式會社ノ營業ハ電流ヲ供給スルモノニシテ民法ノ所謂或仕事ノ完成ヲ約シ其ノ仕事ノ結果ニ對シ報酬ヲ受クルモノニ非ス況ヤ該株式會社ハ其ノ電流ヲ公衆一般ニ供給スルヲ

以テ目的トスルモノニシテ偶々政府ノ需要ニ應スルニ過キサレハ衆議院議員選舉法第十三條第

二項ノ政府ノ爲請負ヲ爲ス者ニ非サルオヤ

依テ東京電燈株式會社ノ重役タル被告議員佐竹作太郎同根津嘉一郎ハ政府ノ爲請負ヲ爲ス會社

ノ重役ニ非サルヲ以テ衆議院議員ノ資格ニ於テ缺クル所ナキモノト斷定スル所以ナリ

(四) 田坂初太郎君資格審査ノ件(第二十五回議會)

議員田坂初太郎君ハ明治四十一年十二月十九日廣島地方裁判所尾道支部ニ於テ私書變造行使詐

欺取財被告事件ニ付重禁錮一年ノ刑ノ宣告ヲ受ケ其ノ裁判確定セサルモノナレトモ衆議院議員選舉法第十一條第四號ニ該當シ被選舉權ヲ有セサルモノトス

右ノ事實及理由ニ依リ議院法第七十七條ニ則リ退職者トスルヲ相當トス

(五) 高野孟矩君資格審査ノ件(第二十五回議會)

議員高野孟矩君ハ明治四十一年十二月二十六日東京地方裁判所第一刑事部ニ於テ詐欺取財被告事件ニ付重禁錮一年六月ノ刑ノ宣告ヲ受ケ其ノ裁判確定セサルモノナレトモ衆議院議員選舉法第十一條第四號ニ該當シ被選舉權ヲ有セサルモノトス

右ノ事實及理由ニ依リ議院法第七十七條ニ則リ退職者トスルヲ相當トス

(六) 上出長次郎君資格審査ノ件(第二十五回議會)

上出長次郎君ハ明治四十一年七月三十日衆議院議員選舉法第八十七條第一號ニ該當スルモノトシテ金澤地方裁判所ニ於テ輕禁錮四月ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルモ同氏ハ之ニ服セス名古屋控訴院ニ控訴シ其ノ裁判ハ未タ確定セサルモノナリ

衆議院議員選舉法第十一條第四號ニ所謂禁錮ノ刑ナルモノハ同法第一百一條其ノ他ノ條文ニ鑑ミ選舉法以外ノ法令ニ定メタル禁錮ノ刑ヲ指定スルモノト解スルヲ相當トス故ニ上出長次郎君ハ退職者トスヘキモノニ非ス

(七) 中村舜次郎君資格審査ノ件(第二十六回議會)

中村舜次郎君ハ明治四十二年十一月二十二日衆議院議員選舉法第八十七條第一號ニ該當スルモノトシテ横濱地方裁判所ニ於テ輕禁錮一月ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルモ同氏ハ之ニ服セス東京控訴院ニ控訴シ其ノ裁判ハ未タ確定セサルモノナリ

衆議院議員選舉法第十一條第四號ニ所謂禁錮ノ刑ナルモノハ衆議院議員選舉法以外ノ法令ニ定メタル禁錮ノ刑ヲ指定スルモノト解スルヲ相當トス故ニ中村舜次郎君ハ退職者トスヘキモノニ非ス

第二 審査ヲ爲ササリシ場合

(一) 二田是儀君資格審査ノ件(第一回議會)

第一 議員ノ資格ハ議員ノ「クオリフヒケーション」即チ議員ノ具フヘキ必要ノ條件ヲ稱スルモノニシテ議員選舉ノ手續ヲ包含スルモノニアラサルコトハ政府ニ於テ憲法成文ト同時ニ公ニセラレタル英譯憲法中本條ノ資格ナル文字ニ「クオリフヒケーション」ナル英語ヲ用ヒタルヲ以テ知ルヘシ

第二 選舉ノ手續ハ司法ニ屬シテ裁判セシメ議院ハ單ニ議員ノ資格即チ議員ノ具フヘキ必要ノ條件ヲ審査スルニ止マルコトハ彼ノ選舉ノ手續ニ關シテハ選舉法第二十六條第二十七條第五

十二條第六十八條等ノ設ケアリテ或ハ始審裁判所或ハ控訴院ニ投票ノ手續又ハ效力ヲ判決セシメ判然立法司法ノ區別ヲ立テタルヨリ推測シ得ヘシ

第三 投票ノ有效無效ヲ審査セントスレハ勢ヒ其ノ事實ヲ求ムルカ爲ニ人民ヲ召喚シ又ハ議員ヲ派出シテ先ツ其ノ事實ノ眞僞ヲ審査セサルヘカラス然ルニ議院法第七十三條ニ「各議院ハ審査ノ爲ニ人民ヲ召喚シ及議員ヲ派出スルコトヲ得ス」トアリテ議院ハ其ノ手續ヲ盡ス能ハス是レ衆議院ハ其ノ議員タル資格ノ有無ヲ法律ニ據リ審査スルノ職權アルモ事實ニ據リ投票ノ有效無效ヲ審査判定スルノ權限ナキ確證ナリ

第四 貴族院令第九條ニ「貴族院ハ其ノ議員ノ資格及選舉ニ關スル爭訟ヲ判決ス」トアリテ議員ノ資格ト選舉トハ判然タル區別アリ而シテ議院法第七十八條ニハ單ニ衆議院ニ於テ議員ノ資格ニ付云々トアリ然ラハ衆議院ハ選舉ノ事ヲ判定スヘキ權限ナキコト明カナリ

第五 衆議院ニ其議院ノ選舉手續ニ關スル判定權アリトセハ貴族院議員資格及選舉爭訟判決規則ノ如キ規定ナカルヘカラス然ルニ其ノ規定ナキハ其ノ權限ナキ一證ナリ

第六 選舉法第七十八條ニ當選訴訟ノ期限ヲ制限シテ當選人ノ姓名告示ノ日ヨリ三十日以内トセリ若シ選舉ノ有效無效ノコトヲ資格審査トシテ衆議院カ判定スルノ權限アリトスレハ何時ニテモ議員ヨリ異議ノ申立アルニ於テハ當選ノ有效無效ヲ判定シ得ヘキモノトナリ三十日ノ

制限ハ實際冗文トナルヘシ立法者ノ立法ノ精神豈ニ如斯冗文ヲ設ケタルモノト解釋スルヲ得ンヤ若シ此ノ七十八條ヲ有效ナラシムル様解釋スレハ衆議院ニ於テ資格審査ヲ名トシ投票ノ有效無效ヲ判定スヘキ權限ナキモノトセサルヘカラス

第七 憲法議院法選舉法等ノ大體ヨリ解釋スレハ選舉ノ手續ヲ履行スルハ行政部内ニ屬シ選舉手續ノ有效無效ヲ判決スルハ司法部内ニ屬シ正當ノ手續ヲ履ミ議員トナリタル後其ノ人ノ議員タル資格即チ身分ヲ具備スルヤ否及其ノ資格ヲ失ハサルヤ否ヲ審査スルノ權ハ議會其レ自身ニ屬シ三種各區分ヲ爲ササルヘカラス而シテ選舉ノ手續即チ投票ノ有效無效ヲ判決スルハ其ノ性質司法ノ權内ニ屬スヘキモノナリ

第八 選舉ノ手續ニ付議院ト裁判所ト抵觸シタル場合ニ如何ナル手續ヲ履ムヘキヤノ規定ナシ今若シ同一ナル選舉ノ手續ニ付裁判所モ衆議院モ判定ノ權限アリトセハ雙方ノ意見抵觸スル場合ニ如何トモスル能ハス蓋シ如斯不都合ナル規定ヲ立法官ニ於テ設ケタルモノト解釋スヘカラス果シテ然ラハ選舉ノ手續及投票ノ效力等ニ付裁判所カ判定ノ權限アリトスレハ衆議院ハ其ノ判定ノ權限ナキヲ推測シ得ヘシ

第九 投票有效無效ハ單ニ被選人タル議員ノ權利ノミニ關係スルモノト看做スヘカラス之ヲ投票シタル選舉人ノ選舉權ノ消長ニ影響スルコト大ナリ若シ衆議院ニ投票ノ有效無效ヲ判定ス

へキ権限アリトスレハ衆議院ハ議院ノ外ニ於テ選舉人ノ權利ニ就キ裁判權ヲ有シ其ノ權利ヲ消長シ得へキモノトナルヘシ衆議院カ院外人ノ權利ヲ裁判スルカ如キハ決シテ爲シ能ハサルナリ

(二) 赤松新右衛門君資格審査ノ件(第一回議會)

一本案ハ明治二十三年七月一日茨城縣第四區衆議院議院選舉會ニ於テ選舉長ハ森隆介君ノ得點六百二十一點ヲ以テ最高點ヲ得タルモノト宣告シ同年七月六日同縣知事ハ其ノ當選確定ノ告示ヲ發シ尙同月十一日當選證ヲ森隆介君ニ付與シタリシカ是レヨリ先キ選舉長カ明治二十三年七月三日赤松新右衛門君ノ得點ニ係ル投票廿七點ヲ無効ト決定シ及投票一點ヲ他人ノ得點ニ計入シ合計廿八點ヲ減シタルニ付新井球三郎君外一名ハ其處分ニ付異議ヲ爲シ同月九日選舉長ヲ對手トシテ投票效力決定ノ件ヲ水戸始審裁判所下妻支廳へ起訴シ水戸始審裁判所下妻支廳ハ同月廿二日右廿八票ヲ以テ何レモ赤松新右衛門君ノ得點ト判定シタルヲ以テ赤松新右衛門君ノ得點ノ合計六百三十七點トナリ森隆介君ノ得點ニ勝サル十六點トナルノ結果ヲ生シタリ

一選舉長長河田景雄君ハ明治廿三年七月廿四日前項ノ結果及赤松新右衛門君ノ當選人タルコトヲ茨城縣知事安田定則君ニ届出テ明治廿三年八月一日茨城縣知事安田定則君ハ一方ニ於テ森

隆介君ノ當選ヲ取消シ一方ニ於テハ赤松新右衛門君ノ當選ヲ告示シ同人へ當選狀ヲ付與シタリ

一森隆介君ハ前項ニ掲ケタル茨城縣知事ノ取消處分ヲ不法トシ明治二十三年八月日未詳東京控訴院へ不法告示取消ノ訴訟ヲ提起セリ然ルニ東京控訴院ハ茨城縣知事カ森隆介君當選告示ヲ取消シタルハ不法ニアラスト判決セリ

一本案ニ於テ論争スル處ハ異議申立書及答辯書ニ審カナル如ク左ノ數項ニ外ナラス

第一 行政官カ一旦當選確定ノ告示ヲナシ當選狀ヲ付與シタル後他ニ高點者アリトシテ其處分ヲ取消スノ権限アリヤ否ヤ

第二 東京控訴院ニ於テ内閣ノ裁可ヲ經スシテ茨城縣知事ノ當選取消處分ヲ不當ニアラスト裁判セシハ正當ナリヤ否ヤ

第三 茨城縣知事ノ當選取消處分及東京控訴院ノ裁判ニ依リ其取消處分ヲ正當ナリト認メラレタルニ係ラス森隆介君ニ於テ當選狀ヲ有スル以上ハ當選訴訟ヲ以テ取消ササルニ非ラサレハ當選者ト認ム可キヤ否ヤ

以上ノ論點ヲ按スルニ第一第二ハ何レモ當選ノ手續ニ付キ行政官ノナシタル行政處分ノ當否司法官ノナシタル裁判ノ正當不正當ニ付キ争フモノ又ハ第三ハ行政司法ノ處分ヨリ及ホシテ

當選ノ效力如何ヲ論スルモノニ止リ議員ノ資格即チ議員ノ具フヘキ必要ノ條件ヲ具備スルヤ否ヤニ付異議アルモノト認メサルニ付キ本院ハ之ヲ議員ノ資格トシテ議院法第七十八條ニ依リ審査スヘキ限リニアラストス何トナレハ若シ夫レ議院法第七十八條ニ所謂議員ノ資格ナル文字中ニ正當ナル選舉手續有效ナル投票ノ多數等當選ニ關スル一切ノ事柄ヲ包含スルモノトシ本案争點ノ如キ行政官ノ行政處分ノ當否司法官ノ確定裁判ノ正當不正當迄ヲ審査スルニ至テハ單ニ議員而已ノ權利ニ關セス行政官ノ行政權限司法官ノ裁判ノ效力ヲ左右スルニ至リ三權分立ノ精神ニ背反スルニ至ル可ク立法ノ精神決シテ如斯キモノト解釋スルヲ得サレハナリ

(二) 議員資格ニ關スル裁判確定ノ通報方ニ關スル回答

議員資格ニ關スル裁判ノ言渡通報方ニ關シ林田書記官長ヨリ平沼司法省民刑局長へ照會ニ對スル回答

衆議院議員ニシテ禁治産準禁治産ノ宣告ヲ受ケ其ノ裁判效力ヲ生シタルトキ家資分散又ハ破産ノ宣告確定シタルトキ及禁錮以上ノ刑ノ言渡ヲ受ケタル場合ニ於テ貴官ニ通報方ノ儀ニ付本日別紙寫ノ通裁判所ニ訓令相成候條右様御了知相成度此段及通候也

(別紙)

司法省民刑甲第五一號

裁判所

衆議院議員ニシテ左記第一乃至第三ノ各號ノ所ニ該當スルモノアルトキハ第一第二ニ付テハ確定ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ長又第三ニ付テハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ長(區裁判所ノ一人ノ判事又ハ監督判事ヲ包含ス)ヨリ其都度速ニ衆議院書記官長ニ通報スヘシ

明治四十二年三月五日

司法大臣 子爵 岡部長 職

左記

- 一、禁治産又ハ準禁治産宣告ヲ受ケ其裁判效力ヲ生シタルトキ
- 二、家資分散又ハ破産ノ宣告確定シタルトキ
- 三、禁錮以上ノ刑ノ言渡ヲ受ケタルトキ

(此ノ項ハ明治四十三年法律第六十號ヲ以テ衆議院議員選舉法第十一條第四號削除ノ結果明治四十三年十二月九日司法省民刑丙第四六一號ニ依リ「禁錮以上ノ刑ノ言渡確定シタルトキ」ニ訂正)

附錄 一二 議員資格ニ關スル報告書並照會往復 (二)

四、帝國議會閉會中選舉訴訟若ハ當選訴訟ニ關スル裁判確定シタルトキ

(此ノ項ハ大正五年十一月九日司法省法務局民第一七〇一號ニテ追加)

五、衆議院議員選舉法第一百一條ニ該當スルトキ及同法ニ依ル選舉犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレ被選舉人タルコトヲ禁スルノ裁判確定シタルトキ

(此ノ項ハ大正八年十二月二十四日司法省刑事局刑甲第一四五五號ニテ追加)

### (三) 補闕選舉ノ請求ニ關スル照會及回答

林田書記官長ヨリ内務次官宛照會 (明治四十二年六月十八日)

衆議院議員ニシテ選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ結果ニ依リ當選無効トナリタルトキ又ハ其選舉ニ關スル罰則ニ依リ處罰セラレタル結果當選無効トナリタルトキハ選舉ノ日ヨリ一箇年以内ナルト以後ナルトニ不拘衆議院議員選舉法第七十條ニ依リ直ニ補充ノ手續ヲ爲スヘキモノニシテ議院法第八十四條ニ依リ衆議院議長ヨリ補闕ノ請求ヲ爲スヲ要セサル儀ト存候得共爲念御省議承知致度此段及御照會候也

右ニ對スル内務次官ノ回答 (明治四十二年六月十九日内務省衆甲第二七號)

衆議院議員ニシテ選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ結果ニ依リ當選無効トナリタルトキ又ハ其選舉ニ關ス

ル罰則ニ依リ處罰セラレタル結果當選無効トナリタルトキニ於ケル補充方法其他ノ件ニ就キ御照會ノ趣了承右ハ本省ニ於テモ御來旨ノ通省議決定致居候間右様御承知相成度此段及御回答候也

### 一三 懲罰事犯ニ關スル件

#### (一) 議長宣告ニ依ルモノ

議會回次	宣告年月日	氏名	懲罰事犯會議年月日	結果
第十三回 (特別) <small>(通常)</small>	明治三年二月二十五日	門馬尙經君	三年二月十七日	三日間出席停止
第三十一回	大正三年二月二十四日	綾部惣兵衛君	三年二月二十八日	謝辭朗讀
第三十六回 (特別)	四、六、九	武藤金吉君	四、六、九	一日間出席停止
第三十七回	四、二、七	佐々木安五郎君	四、二、二	譴責
第三十九回 (特別)	六、七、三	横山勝太郎君	六、七、四	譴責
第四十四回	一〇、一、二七	鈴木富士彌君	一〇、二、一	五日間出席停止
同	一〇、三、一七	中野寅吉君	一〇、三、三	譴責
同	一〇、三、一七	三木武吉君	一〇、三、三	四日間出席停止
同	一〇、三、一八	横山勝太郎君	一〇、三、三	三日間出席停止

議會回次	宣告年月日	氏名	懲罰事犯會議年月日	結果
第四十四回	大正一〇年三月二十四日	佐々木千秀君	一〇、三、二五	謝辭朗讀
第四十五回	一一、一、二三	中野寅吉君	一一、一、二五	三日間出席停止
同	一一、二、一四	三木武吉君、木槍三四郎君、中野寅吉君	一一、二、一六	二週間出席停止 十日間同 二週間同
同	一一、二、二三	清瀬一郎君	一一、三、二	懲罰事犯ニ非ス
第四十六回	一二、二、二七	樋口伊之助君	一二、三、三	譴責
同	一二、三、二六	佐々木安五郎君	委員會ノ報告ヲ經ルニ至ラス	
第四十九回(特別)	一三、七、一五	田淵豊吉君	一三、七、一五	四日間出席停止
第五十回	一四、二、三	猪野毛利榮君	一四、三、一四	懲罰事犯ニ非ス
同	一四、二、五	吉良元夫君、寺田市正君、原惣兵衛君、中山貞雄君、大石大君、佐藤重遠君	一四、二、一〇	二週間出席停止 同 同 同
第五十一回	一五、二、一	田淵豊吉君	一五、二、九	譴責
同	一五、三、二〇	海原清平君、志賀和多利君、西方利馬君	委員會報告ハ孰レモ三十日間出席停止 本會議未決(會期終了ノ爲)	

同	一五、三、二五	高橋熊次郎君	委員會ノ報告ヲ經ルニ至ラス	
第五十六回	昭和四、一、二九	佐藤實君	四、三、二三	譴責
同	四、二、九	山崎傳之助君	四、三、二三	譴責
同	四、三、七	野田文一郎君	四、三、二三	譴責
第五十八回(特別)	五、五、二三	深澤豊太郎君	委員會ノ報告ヲ經ルニ至ラス	
同	五、五、二三	森本一雄君	委員會ノ報告ヲ經ルニ至ラス	
第六十五回	九、三、三	岡本一巳君	九、三、一〇	二週間出席停止
第七十回	一一、三、一九	前田幸作君	一一、三、二三	三日間出席停止
同	一一、三、一九	龜井貫一郎君	一一、三、二三	二日間出席停止

【備考】

猪野毛利榮君懲罰事犯ノ件ハ大正十四年二月四日委員會ハ同君ヲ二週間ノ出席停止ヲ命スヘキモノト議決シ報告書ヲ提出シタルモ三月十四日ノ本會議ニ於テ再審査ニ付セラレ同日委員會ハ同君カ懲罰事犯ニ非スト議決シ報告書ヲ提出シ院議委員會報告通議決セリ



(二) 院議ニ依ルモノ

(1) 議院ノ體面ヲ汚シタル爲

議會回次	動議議決年月日	動議提出者	事犯者	懲罰事犯會議年月日	結果
第五回	明治二年二月二日	鳩山和夫君 外三名	星 亨君	明治二年二月五日	一週間出席停止
同	二六、一二、一二	高田早苗君	星 亨君	二六、一二、一三	除名
第十三回(特別)	三一、一二、一六	井上角五郎君	田中正造君	三一、一二、一七	一週間出席停止
第二十五回	四二、三、二四	日向輝武君	藏原惟郭君	四二、三、二四	謝辭朗讀
第二十八回	四五、二、二三	齋藤宇一郎君	遠藤良吉君	四五、二、二〇	懲罰事犯ニ非ス
第四十二回	大正 九、二、二四	古島一雄君 外一名	赤尾彦作君	大正 九、二、二九	譴責
第四十三回(特別)	九、七、九	鶴澤總明君	永井柳太郎君	九、七、一四	五日間出席停止
同	九、七、二四	高見之通君	三木武吉君	九、七、二四	五日間出席停止
第四十五回	一一、二、二六	井上剛一君	西川嘉門君	一一、三、一	懲罰事犯ニ非ス

第五十一回	一五、二、二三	丸山浪彌君	高橋熊次郎君	一五、三、二五	謝辭朗讀
第五十八回(特別)	昭和 五、五、一三	一松定吉君	東 武君	委員會ノ報告ヲ經ルニ至ラス	
第五十九回	六、一、二三	一松定吉君 外一名	深澤豊太郎君 藤井達也君	委員會報告ハ孰レモ一週間出席停止本會議未決	

【備考】

赤尾彦作君懲罰事犯ノ件ハ委員會ノ報告ハ出席停止一週間ナリシモ譴責ト修正議決セリ

(口) 議院ノ騷擾ヲ醸シタル爲

議會回次	動議議決年月日	動議提出者	事犯者	懲罰事犯會議年月日	結果
第五回	明治二年二月二日	大岡育造君	星 亨君	明治二年二月五日	各一日間出席停止
第三十六回(特別)	大正 四、六、九	小林勝民君	齋藤珪次君 藏内次郎君	大正 四、六、九	各一日間出席停止
第三十七回	四、一二、一八	福田又一君	武藤金吉君、小林源藏君、廣岡宇一郎君、秦助君、鳩山一郎君、岩本平藏君	十日間出席停止 武藤君、鳩山君、岩本君、小林君、秦君、廣岡君	各一日間出席停止
第四十五回	一一、二、二六	熊谷直太君 外一名	中野寅吉君 金澤安之助君	一一、三、二	各二週間出席停止

議會回次	動議議決年月日	動議提出者	事犯者	懲罰事犯會議 年月日	結果
第五十回	大正一年四月三日	横山金太郎君	原物兵衛君 牧山耕藏君	大正一年四月五日	各二週間出席停止
第五十八回(特別)	昭和五年五月三日	岡本實太郎君	一瀬一三君、中島 君、藏國三四郎 君、青木精一君、 深澤豐太郎君、土 倉宗明君、上田孝 吉君、寺田市正 君、井上知治君	委員會ノ報告ヲ經ルニ至ラス	

【備考】

大岡育造君提出動議ニ係ル星亨君懲罰事犯ノ件(委員會報告ハ譴責)ハ高田早苗君提出動議ニ係ル星亨君懲罰事犯ノ件(委員會報告ハ除名)ト共ニ院議ニ付シ後者議決ノ結果採決セス

(八) 議院ノ命令ニ抵抗セル爲

議會回次	動議議決年月日	動議提出者	事犯者	懲罰事犯會議 年月日	結果
第三十一回	大正三年三月二十二日	奥繁三郎君	藏原惟郭君	大正三年三月二十二日	二週間出席停止
第四十三回(特別)	九、七、二七	川原茂輔君	島田三郎君	委員會報告ハ除名 本會議未決(會期終了ノ爲)	
第四十五回	一、二、一六	清瀬一郎君	春日俊文君	一、二、二二	三日間出席停止

(二) 無禮ノ言語ヲ用ヒタル爲

同	一、二、二五	渡邊 外三名	佐々木安五郎君	一、二、三、二二	日間出席停止
議會回次	動議議決年月日	動議提出者	事犯者	懲罰事犯會議 年月日	結果
第三十九回(特別)	大正六年六月七日	横田千之助君	齋藤隆夫君	大正六年六月七日	謝辭朗讀
第四十回	七、二、二三	望月長夫君	紫安新九郎君	七、二、二六	謝辭朗讀
第四十四回	一〇、一、二七	龍野周一郎君	鈴木富士彌君	一〇、二、一五	日間出席停止
第四十六回	一三、二、二七	高見之通君	山道襄一君	一三、三、一四	日間出席停止
第四十九回(特別)	一三、七、八	志賀和多利君	田淵豐吉君	一三、七、一五	謝辭朗讀
同	一三、七、二二	樋口秀雄君	武藤山治君	一三、七、一六	譴責
第五十六回	昭和四年三月九日	原物兵衛君	工藤鐵男君	昭和四年三月三日	懲罰事犯ニ非ス

【備考】

田淵豐吉君ハ謝辭朗讀ノ命ニ服セサルニ依リ副議長(小泉又次郎君)ハ院議ヲ無視シタルモノトシテ同君ヲ懲罰委員ニ付スルノ宣告ヲ爲セリ

附錄 一三 懲罰事犯ニ關スル件 (二)

(木) 無届開席ノ爲

議 會 回 次	動議議決年月日	動議提出者	事 犯 者	懲罰事犯會議 年 月 日	結 果
第 一 回	明治 年 月 日 二四、三、一	高梨哲四郎君	陸奥宗光君	明治 年 月 日 二四、三、六	委員報告ハ懲罰 事犯ニ非ス、本會議 未決(會期終了ノ爲)

(謝辭參照)

藏原君ノ謝辭 (第二十五回議會)

本員カ先刻「而シテ此内契約ノ成リ立ツ間ニ於テハ二萬五千圓ノ金カ何者乎ニ支出セラレタト云フコトハ我輩ハ知テ居ルノデアアル名前ヲ云フ必要ハナイ名前ヲ云ハヌデ分ラヌ様ナ不賢明ナル代議士ハ此處ニナイト信ズル吾々ハ併シナガラ其間ニ立ッタ仲介者タル其尊敬スヘキ政治家ガ其二萬五千圓ノ金ヲ受取ッタガ其一部分ヲ懐ニシタト云フコトハ斷ジテ言ハナイコトヲ諸君記憶セヨ併シナガラ其二萬五千圓ノ金ハ關ヨリ關ニ出デテ何レニカ彷徨シテ居ルト云フコトハ私ハ信スルコトガ出來ヌカラ何處ラカ二萬五千圓ハ安全ニ歸著シテ居ルダラウト信ズル是ハ如何ナル趣意デアリマスルカ」ト述ヘタルハ本院ノ體面ヲ汚シタル放言ニシテ恐縮ニ堪ヘス茲ニ前言ヲ取消シ謹テ謝意ヲ表ス

綾部君ノ謝辭 (第三十一回議會)

本員カ大正三年二月十四日ノ營業税法廢止法律案外九件地租條例中改正法律案ノ討議中議事時間延長ノ討論終結ノ動議ニ付議長カ其ノ可否ヲ決セムトスル場合議員十數名ト共ニ議長席ニ進ミタルニ偶々演壇ノ下ニ既ニ何人ニカ破壞セラレタル投票函アルヲ認メ幾回モ之ヲ踏躐リタルハ議院ノ體面ヲ汚シタルモノニシテ恐縮ニ耐ヘス謹テ茲ニ謝意ヲ表ス

齋藤君ノ謝辭 (第三十九回(特別)議會)

本月十二日本會議ニ於ケル決議案提出理由説明中予カ爲シタル不穩ナル言動ハ議員ノ體面ヲ損シ議會ノ神聖ヲ汚シタルモノニシテ今ニ於テ之ヲ顧レハ洵ニ慚愧ノ至ニ堪ヘス茲ニ誠意ヲ披瀝シテ謹テ謝意ヲ表ス

紫安君ノ謝辭 (第四十回議會)

大正七年二月二十一日衆議院本會議ニ於テ議員村松恆一郎君ニ對シテ爲シタル言辭ハ無禮ニシテ議會ノ品位ヲ損スルモノナルニ因リ茲ニ謹テ之ヲ陳謝ス

佐々木君ノ謝辭 (第四十四回議會)

自分儀大正十年三月二十四日ノ會議中議長ノ發言禁止ノ命令ニ從ハス更ニ退場ヲ命セラレタルモ尙之ニ從ハス議場ノ秩序ヲ紊亂シタルハ議院ノ神聖ノ爲ニ恐縮ノ至リニ堪ヘス茲ニ謹テ謝辭

ヲ表ス

田淵君ノ謝辭 (第四十九回(特別)議會)

本員カ大正十三年七月五日ノ本會議ニ於テ議長ヲ罵詈スル言辭ヲ爲シタルハ議院ノ體面ヲ汚シタルモノニシテ議員ノ職分ニ顧ミ慚愧ノ至リニ堪ヘス謹テ誠意ヲ以テ茲ニ陳謝ス

(備考) 田淵君ハ朗讀ヲ拒ミ更ニ懲罰委員ニ付セララル

高橋君ノ謝辭 (第五十一回議會)

本員カ大正十五年二月二十一日ノ本會議ニ於テ不穩當ノ言辭ヲ爲シタルハ議員ノ職分ニ顧ミ慚愧ノ至ニ堪ヘス謹テ誠意ヲ以テ茲ニ陳謝ス

(備考) 高橋君ハ朗讀ヲ拒ミ更ニ懲罰委員ニ付セララル

一四 政府ノ覆牒又ハ特殊事件ニ關スル政府ノ報告

(一) 憲法第六十七條ニ依レル修正議決ニ對スル政府ノ覆牒

第一回議會 (明治二十四年二月二十四日)

衆議院ハ明治二十四年度歲計豫算ニ對シ確定議ノ前ニ當リ憲法上ノ手續ニ隨ヒ政府ニ同意ヲ求メタリ

政府ハ之ヲ審査スルニ修正案ハ官制ヲ變革セントスルノ點ニ於テ豫算議定權ノ區域ヲ超越シタリ法律ノ結果ニ關スル歳出及契約ノ義務ニ屬スル歳出ヲ廢除削減セントシタルハ政府ノ同意セサル所ナルノミナラス法律ノ正文ヲ以テ規定シタル事件ヲ豫算ニ依リテ變革セントスルハ又其ノ分界ヲ誤マレリ

況ンヤ削減セル金額ニ對シ政府ハ及フ丈ケ議院ノ議決ヲ敬重スルノ方向ヲ取ルコトヲ怠ラサルヘシト雖モ此ノ如キ豫算ノ變更ハ行政ノ責ニ當ルモノノ實施シ能ハサル所ナリ茲ニ議院ノ再考ヲ望ム

第四回議會 (明治二十六年一月十七日)

附錄 一四 政府ノ覆牒又ハ特殊事件ニ關スル政府ノ報告 (一)

政府ハ憲法第六十七條ノ歳出ニ關スル衆議院ノ要求ニ對シ不同意ヲ表シタルニ拘ラス今復タ政府ノ再考ヲ求メラレタルモ政府ハ斷シテ不同意ヲ表セサルヲ得ス

同議會 (同日)

憲法第六十七條ノ歳出ニ關シ政府ハ既ニ憲法ノ明許セル權能ニ依リ不同意ヲ表シタルニ拘ラス政府ノ再考ヲ請求セラレタルニ因リ政府ハ再應不同意ヲ表シタルニ今復五日間休會シテ政府ノ處置ヲ待ツヘシトノ決議通牒ニ接セリ政府ハ憲法保障ノ歳出ニ付不同意ノ理由竝政府自ラ處置スルコトナキ理由ハ既ニ之ヲ辯明シタル以上政府ノ意見ハ終始一貫更ニ異動ナキ事ヲ斷言ス

(二) 書類提出ニ關スル決議ニ對スル政府ノ覆牒

第五十二回議會 (昭和二年一月二十日)

昭和二年一月二十日

内閣總理大臣 若槻禮次郎

衆議院議長 粕谷義三殿

本月十九日付ヲ以テ朴準植及金子文子ニ對スル減刑奏請書類等提出ノ件ニ付御照會ノ趣了承右ハ議院法第七十四條ニ依リ祕密ニ涉ルモノニ付御要求ニ應シ難ク候條此段及回答候

(三) 國務大臣出席ノ要求ニ對スル政府ノ覆牒

第一回議會 (明治二十三年十二月十八日)

昨日貴院ノ決議ニ依リ更ニ答辯御請求有之候處本大臣ニ於テハ既ニ昨日答辯シ盡キタリト信シ候ニ付御求メニ應シ難ク此段及回答候也

同議會 (明治二十四年二月三日)

政府ハ豫算問題ノ範圍外ニ於テ工商諸會社ニ對スル保護政策ノ方針如何ノ質問ハ議院法第四十八條ニ依リ主意書ヲ以テ質問アラシコトヲ望ム

政府ハ議院ト共ニ法律ノ明文ヲ遵守スルノ義務ヲ有ス前陳ノ覆牒ニ及フモノナリ

第四回議會 (明治二十五年十二月七日)

二十五年十二月三日及同月五日ノ通牒ニ於テ貴院ハ國務大臣ノ出席ヲ請求セラレタリ國務大臣ハ何時ニテモ衆議院ニ出席スルノ權ヲ有スルカ故ニ其ノ出席ノ爲ニ特ニ貴院ノ請求ヲ煩ハスヲ要セス此段覆牒ニ及候也

第五回議會(明治二十六年十二月十六日)

二十六年十二月十五日ノ通牒ニ於テ貴院ハ國務大臣ノ出席ヲ請求セラレタリ國務大臣ハ何時ニテ

モ各議院ニ出席ノ權ヲ有スルカ故ニ其ノ出席ノ爲ニ特ニ貴院ノ請求ヲ煩ハスヲ要セス此段覆牒ニ及ヒ候也

第六回(特別)議會 (明治二十七年五月二十八日)

鈴木充美君外二名提出判事ノ退職ニ關スル質問ニ對スル本大臣答辯ノ旨趣ハ曩ニ提出シタル答辯書ニ盡シタルコトヲ信スルヲ以テ更ニ議院ニ出席シテ辯明スルノ必要ヲ認メス

(四) 政府委員交換ノ要求ニ對スル政府ノ覆牒

第一回議會 (明治二十四年二月二日)

政府委員ハ其ノ權限内ニ於テ答辯シ又ハ答辯セサルノ自由ヲ有スル者ニ就キ政府ハ一ツノ政府委員カ議員ノ問ニ答辯セサルヲ以テ理由トナシ之ヲ交換スルコト能ハス

(五) 勾留中ノ議員ニ關スル決議及司法大臣ノ覆牒並通知

第一回議會 (明治二十三年十二月四日)

衆議院議員ニシテ會期前ニ逮捕セラレ開會ノ後仍勾留中ノ者ハ衆議院ノ許諾アルニ非サレハ引續キ勾留スルコトヲ得ス

右決議(議長ヨリ司法大臣ニ送付セリ)ニ對スル司法大臣ノ覆牒

本大臣ハ憲法ノ明文ニ從ヒ司法權ノ施行ヲ爲サシムルノ外已ニ著手シタル刑事訴追ヲ停止セシムルノ權ヲ有セス從テ他ノ權勢ノ諾否ニ因リ司法權ノ必要ナル處分ヲ張弛セシムルコト能ハス故ニ議會ノ議決ニ對シテ何等ノ關係ヲ有スルコトナシ

召集ノ前日右勾留中ノ議員ニ對スル通知

衆議院議員當選者森時之助ハ當今委託物費消被告事件ニ付東京地方裁判所ニ於テ審問勾留中ニ有之候依ツテ此段及通知候也

明治二十三年十一月二十四日

司法大臣 伯爵 山田 顯 義

衆議院書記官長 曾 禰 荒 助 殿

同上議員刑ノ宣告ヲ受ケタルトキノ通知

去月二十四日付衆議院書記官長宛ヲ以テ及御通牒置候森時之助被告事件ハ本日落著依託金費消罪ニシテ刑法第三百九十五條ニ依リ重禁錮一箇年ノ刑ニ處セラレ候此段及御通知候也

明治二十三年十二月四日

司法大臣 伯爵 山 田 顯 義

衆議院議長 中 島 信 行 殿

附 錄 一四 政府ノ覆牒又ハ特殊事件ニ關スル政府ノ報告 (四、五)

(六) 特殊ノ事件ニ關スル報告又ハ演說一覽表

議會回次	年月日	事件ノ摘要	報告者又ハ演說者
第九回	明治二十九年一月一日	日清講和始末附遼東半島還付始末ニ付報告	伊藤内閣總理大臣
第十五回	三四、二、九	北清事件ニ關スル外交ノ經過ニ付報告	加藤外務大臣
第十六回	三四、二、二六	清國事件ニ關スル償金特別會計法案ニ關スル演說	桂内閣總理大臣
同	三五、二、一二	帝國政府ト英國政府トノ間ニ成立シタル協約ニ關スル顯末報告	小村外務大臣
第二十回(臨時)	三七、三、二三	日露交渉ノ開始ヨリ斷絶ニ至ル迄ノ經過ニ付報告	小村外務大臣
第二十四回	四一、一、二八	加奈陀移民協商ニ關スル報告	林外務大臣
同	四一、三、二六	第二辰丸抑留事件ニ付報告	林外務大臣
第二十六回	四三、二、五	内國債ノ借款ニ關スル演說	桂大藏大臣
第二十七回	四四、一、二四	帝國ト米國トノ條約締結ニ關スル演說	小村外務大臣
第三十一回	大正三、二、二一	シメンスン事件ニ關スル海軍査問委員會ノ大要ニ付報告 同 司法官憲ノ取調顯末ニ付報告	齋藤海軍大臣 奧田司法大臣
第三十四回(臨時)	三、九、九	英、佛、露三國間ニ於ケル講和條件ニ關スル協約成立ニ關スル報告	加藤外務大臣

第三十五回	三、一二、八	山東省ニ於ケル帝國陸軍ノ作戦行動經過ニ付演說 開戦以來帝國海軍ノ作戦行動ノ經過及日英兩國海軍協同作戦行動ノ經過ニ付演說	岡陸軍大臣 八代海軍大臣
第四十回	七、三、二六	露獨單獨講和ノ結果極東ノ時局進展ニ關スル演說	寺内内閣總理大臣
第四十一回	八、三、二六	最近ニ於ケル西伯利ノ狀況ニ付報告	田中陸軍大臣
第四十二回	九、一、二三	西伯利出征軍隊ノ概況ニ付演說	田中陸軍大臣
第四十三回(特別)	九、七、三	大正八年末ヨリ最近ニ至ル西伯利出征軍隊ノ概況ニ付演說	田中陸軍大臣
第四十五回	一一、二、七	北信方面鐵道乗客雪崩遭難事件ニ付報告	元田鐵道大臣
同	一一、三、一八	二重橋附近ニ起リタル事件ニ關スル緊急質問ニ對シ事實ノ真相犯人ノ身分ニ關スル報告 犯人ノ所持セシ上奏文朗讀(秘密會)	床次内務大臣 湯地政府委員
第四十八回	一二、一二、二七	虎ノ門附近ニ於ケル容易ナラサル事件ニ付報告 事件ノ顯末報告(秘密會)	山本内閣總理大臣 平沼司法大臣
第五十二回	昭和三、三、八	關西地方ノ震災ニ付報告 鐵道ニ關スル被害ニ付報告	安達内務大臣臨時代理 井上鐵道大臣
同	二、三、一〇	關西地方ノ震災ニ付救恤金御下賜及被害救護ノ概況報告	安達内務大臣臨時代理
第五五回(特別)	三、四、二五	共產黨事件ニ關スル報告(秘密會)	鈴木内務大臣 原司法大臣
同	三、五、四	山東派遺軍ノ狀況ニ付報告	白川陸軍大臣
同	三、五、五	同	同

議會回次	年月日	事件ノ摘要	報告者又ハ演說者
第五五回(特別)	三、五、六	支那事件ニ付報告	田中外務大臣
第五十六回	四、三、六	議員山本宣治君不慮ノ兇刃ニ斃レタル件ニ付報告	望月内務大臣
同	四、三、一六	富海、戸田間ノ姥石隧道ニ於ケル列車顛覆事件ニ付報告	小川鐵道大臣
第五十九回	五、二二、二六	天皇陛下開院式ヨリ御還幸ノ途次惹起セル事件ニ付報告	安達内務大臣
第六三回(臨時)	七、八、二七	五月十五日事件ニ付報告(秘密會)	小山司法大臣
同	七、九、一	滿洲方面ノ治安狀況ニ關スル報告	荒木陸軍大臣
第六十四回	八、一、二四	共產黨檢舉ニ關スル件竝昨年五月十五日事件ニ付報告(秘密會)	小山司法大臣
同	八、二、二一	國際聯盟會議ニ付報告(秘密會)	齋藤内閣總理大臣 内田外務大臣
同	八、三、四	東北地方被害狀況ニ關スル報告	山本内務大臣
同	八、三、七	米國金融界ノ變動ニ關スル報告	高橋大藏大臣
同	同	長野長崎兩縣下ニ於ケル事件ニ付報告(秘密會)	鳩山内務大臣 鳩山文部大臣 小山司法大臣
同	八、三、一六	熱河方面ノ狀況ニ關スル報告	荒木陸軍大臣

第六十五回	九、二、二二	對露外交關係ノ經過ニ關スル報告	廣田外務大臣
同	九、三、二三	水雷艇友鶴ノ遭難ニ關スル報告	大角海軍大臣
同	九、三、二三	函館市ノ火災ニ關スル報告	山本内務大臣 林陸軍大臣 大角海軍大臣
第六十七回	一〇、三、二四	北滿鐵道讓渡交渉成立ニ關スル報告	廣田外務大臣
第六十九回(特別)	一一、五、六	二月二十六日事件ニ關スル報告	寺内陸軍大臣

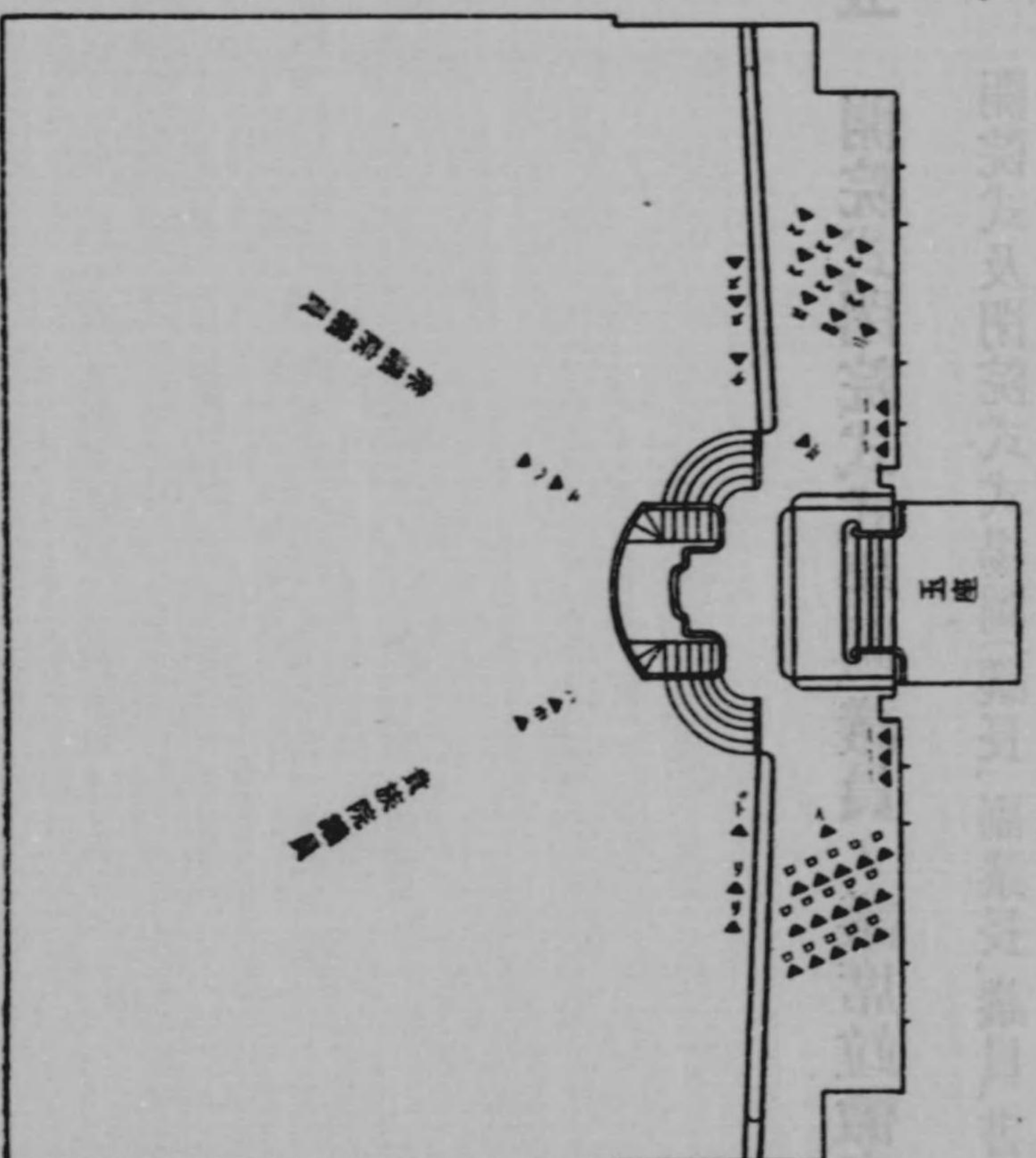


**一五 開院式閉院式式場圖、議員ノ議席並徽章**  
**(一) 開院式及閉院式式場圖(議長、副議長、議員、書記官長及書記官ノ席次)**



附錄 一五 開院式閉院式式場圖、議員ノ議席並徽章 (二)

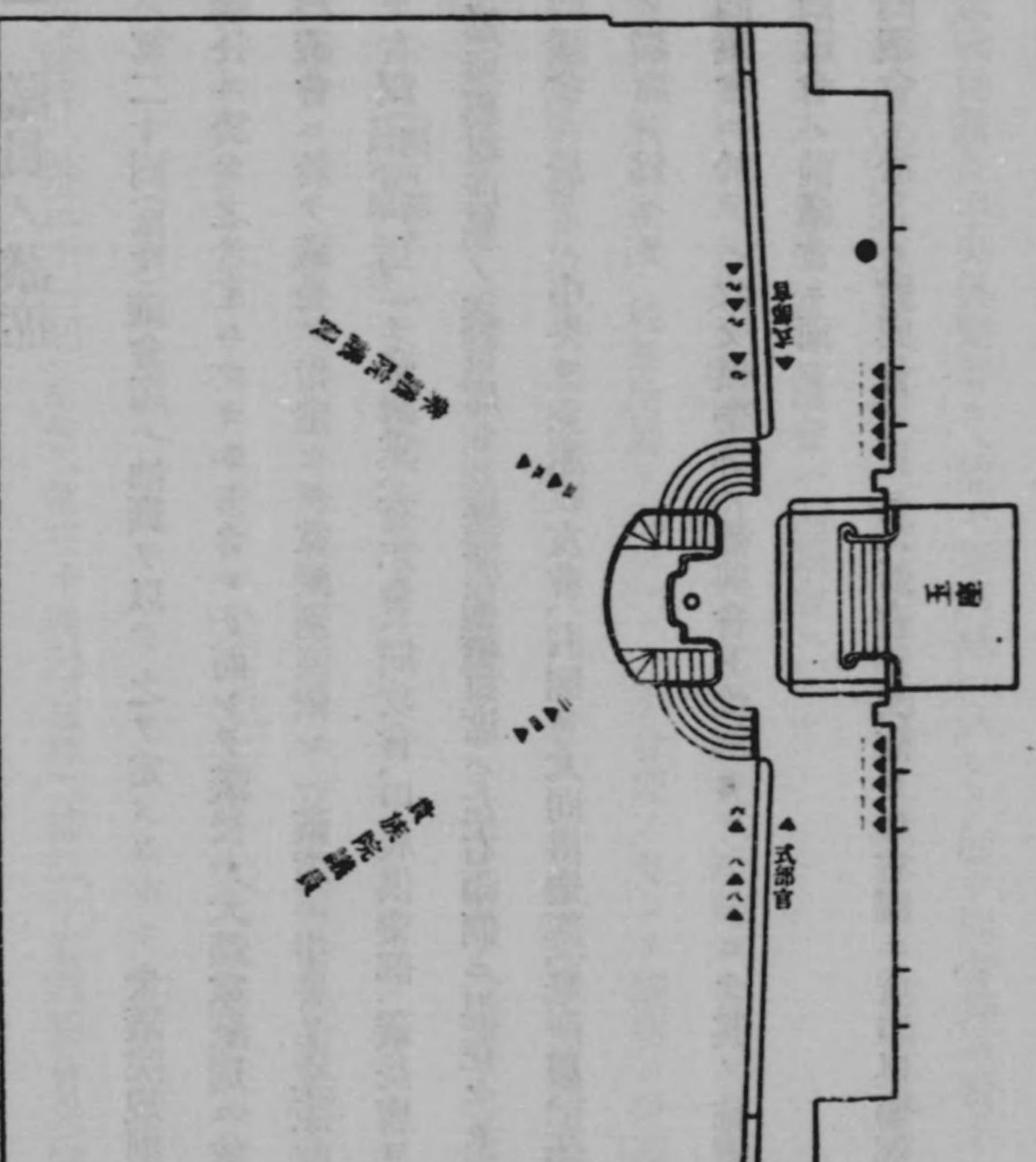
### 開院式場式圖



- (備考)
- イ 内閣總理大臣
  - ロ 樞密院議長
  - ハ 貴族院議長
  - ニ 衆議院議長
  - ホ 貴族院副議長
  - ヘ 衆議院副議長
  - ト 貴族院書記官長
  - チ 衆議院書記官長
  - リ 貴族院書記官
  - ヌ 衆議院書記官

- 一 親王
- 二 宮内大臣
- 三 式部
- 四 侍從
- 五 侍從武官
- 六 侍從武官長

### 閉院式場式圖



- 一 國務大臣
- 二 貴族院議長
- 三 衆議院議長
- 四 貴族院副議長
- 五 衆議院副議長
- 六 貴族院書記官長
- 七 衆議院書記官長
- 八 貴族院書記官
- 九 衆議院書記官

(二) 議員ノ議席

議員ノ席次ハ第二十回(臨時)議會迄ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定メタルモ衆議院規則ノ改正ノ結果第二十一回議會以來議長ニ於テ之ヲ定ムルコトナレリ而シテ議長ハ大體黨派別ニ依リ之ヲ定ム左ノ如シ

第二十一回議會ニ於テ議長ノ指定セル黨派別ニ依レハ議席ハ中央ヲ立憲政友會、憲政本黨、議長席ヨリ見テ右側(以下單ニ右側ト稱ス)ヲ帝國黨、有志會、同政會、甲辰俱樂部、議長席ヨリ見テ左側(以下單ニ左側ト稱ス)ヲ自由黨、無所屬組所屬ノ議員席トシ無所屬議員席ハ左右兩側ニ混在セシメタリ

第二十二回議會ニ於テハ中央ヲ立憲政友會、右側ヲ大同俱樂部、無所屬、左側ヲ憲政本黨、政交俱樂部議員ノ議席ト爲セリ

第二十三回議會ニ於テハ政交俱樂部ノ猶興會ト改稱セルノミニテ其ノ位置ハ前議會ニ同シ

第二十四回議會ハ前議會ニ同シ

第二十五回議會ニ於テハ猶興會ハ更ニ又新會ト改稱シ又右側ニ戊申俱樂部ヲ加ヘタルノ外前議會ニ同シ

第二十六回議會ニ於テハ會期ノ央ヨリ大同俱樂部、戊申俱樂部ハ合同シテ中央俱樂部トナリ又憲政本黨ノ全部、又新會及戊申俱樂部一部ノ合同ニ依リ立憲國民黨ヲ組織セラレタルモ其ノ位置

ハ變更セス

第二十七回議會ニ於テハ無所屬ノ位置左端立憲國民黨ノ後列ニ移リ又新會解散ノ爲其ノ部員ノ一部ハ立憲國民黨及中央俱樂部ニ、他ハ無所屬ニ入レリ即チ同會期ニ於テハ立憲政友會ハ中央及右端ノ一部、中央俱樂部ハ右端ノ一部、立憲國民黨及無所屬ハ左端ヲ占ム

第二十八回及第二十九回(臨時)議會ハ前議會ニ同シ

第三十回議會ニ於テハ召集ニ際シ無所屬ノ有志同志會ヲ組織シ會期ノ前半ニ於テ國民黨ノ一半及中央俱樂部ハ無所屬團(純無所屬ト別ツ)トナリ會期ノ央ヨリ議席ノ位置ヲ變更シテ立憲國民黨ヲ左側、立憲政友會ヲ中央、無所屬ハ右側、同志會ヲ立憲政友會ト無所屬トノ間トシ又會期ノ後半ニ於テ立憲政友會ノ一部政友俱樂部ヲ組織セルヲ以テ其ノ位置ヲ立憲國民黨ト立憲政友會トノ間トセリ同志會ハ後ニ亦樂會ト改稱セララル

第三十一回議會ニ於テハ會期ノ始ニ於テ無所屬團ハ立憲同志會ヲ組織シ又亦樂會、政友俱樂部合同シテ假ニ亦政會ト名ツケ次テ中正會ト改ム、立憲同志會、無所屬及中正會ノ位置ハ前會期ニ同シ

第三十二回(臨時)、第三十三回(臨時)、第三十四回(臨時)、第三十五回議會異動ナシ

第三十六回(特別)議會ニ於テハ中央ヲ立憲同志會、左側ヲ立憲國民黨、中央ト左側トノ間ヲ立憲政

友會、右側ヲ公友俱樂部、中央ト右側トノ間ヲ中正會所屬議員ノ議席ト爲セリ

第三十七回議會ハ前議會ニ同シ

第三十八回議會ニ於テハ中正會解散シ、公友俱樂部ハ公正會ト改稱シ、立憲同志會ハ中正會及公友俱樂部ノ一部ト合シテ憲政會ト改稱セシ外議席ニ於テ前議會ト變ルコトナシ

第三十九回(特別)議會ニ於テハ中央ヲ立憲政友會、左側ヲ立憲國民黨、右側ヲ憲政會、中央ト左側トノ間ノ上部ヲ維新會下部ヲ無所屬議員ノ議席ト爲セリ

第四十回議會ニ於テハ維新會ハ無所屬ノ議員ニ合シテ新政會ト改稱スルノ外議席ニ於テ變ルコトナシ只議會ノ半ニ於テ新政會ノ一部分レテ清和俱樂部ヲ組織シ其ノ議席ハ中央ト左側トノ間ノ上部右側ト爲セリ

第四十一回議會ニ於テハ清和俱樂部ヲ正交俱樂部ト改稱スルノ外議席ニ於テ變ルコトナシ

第四十二回議會ハ前議會ニ同シ

第四十三回(特別)議會ニ於テハ中央ヲ立憲政友會、左側下部ヲ無所屬俱樂部(交渉團體ト認メス)及無所屬トシ上部左端ヲ立憲國民黨、左端ト中央部ノ間上部ヲ庚申俱樂部、右側ヲ憲政會ノ議席ト爲セリ

第四十四回議會及第四十五回議會ハ前議會ニ同シ

第四十六回議會ニ於テハ立憲國民黨全部及無所屬俱樂部、無所屬ノ各一部ヲ以テ革新俱樂部ヲ組織シタルモ議席ニ變動ナシ

第四十七回(臨時)議會ハ前議會ニ同シ

第四十八回議會ニ於テハ立憲政友會ノ大半去リテ政友本黨ヲ組織セル結果中央線ノ右側ヲ憲政會、其ノ右側ヲ政友本黨トシ、中央線ノ左側ヲ立憲政友會、其ノ左上部ヲ革新俱樂部、其ノ左端上部ヲ庚申俱樂部トシ下部ヲ無所屬ノ議席ト爲セリ

第四十九回(特別)議會ニ於テハ中央ヲ憲政會、右側ヲ政友本黨左側ヲ立憲政友會トシ政友會ノ左上部ヲ中正俱樂部、左端上部ヲ革新俱樂部、下部ヲ實業同志會及無所屬ノ議席ト爲セリ

第五十回議會ハ前議會ニ同シ

第五十一回議會ニ於テハ中央ヲ憲政會、右側ヲ政友本黨、左側ヲ立憲政友會トシ立憲政友會ノ左上部ヲ新正俱樂部、左端上部ヲ實業同志會トシ下部ヲ無所屬ノ議席ト爲セリ

第五十二回議會ハ前議會ニ同シ

第五十三回(臨時)議會ニ於テハ憲政會及政友本黨所屬議員ヲ以テ新黨俱樂部ヲ組織セル結果右側ヲ新黨俱樂部左側ヲ立憲政友會トシ立憲政友會ノ左上部ヲ新正俱樂部、下部ヲ無所屬トシ其ノ中間ヲ新黨俱樂部ニ加入セサル政友本黨所屬議員ヲ以テ組織セル昭和俱樂部(交渉團體ト認メス)トシ左端